太陽電池モジュール
パワーコンディショナ
蓄電池本体／蓄電池モジュール
マルチエネルギーモニタ JH-RWL7

太陽光発電システム
蓄電池システム

取 扱 説 明 書

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書および別冊の「取扱説明書 追補版(仕様)」「使いかたガイド」は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保管してください。

もくじ

Web モニタリングサービスを使う

便利に使える
サービスが知りたい！

このようなときは

停電時に電気を
使いたい！

こんな表示は
故障かな？

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

🚫 記号は、してはいけないことを表しています。

❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

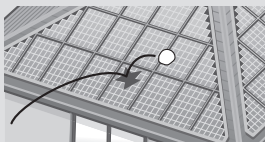
太陽光発電システム・蓄電池システムの取扱いについて

（以後、蓄電池本体と蓄電池モジュールを合わせて、蓄電池と表します。一体型パワーコンディショナ、太陽電池パワーコンディショナ、蓄電池パワーコンディショナを合わせて意味する場合は、パワーコンディショナと表します。）

⚠警告

異常状態のまま放置しない。

以下の場合には、ただちにパワーコンディショナの運転を緊急停止（☞87ページ）して、お買い上げの販売店、または修理相談センター（☞108ページ）にご連絡ください。

- パワーコンディショナから煙が出たり、変な音やにおいがするなどした場合
- 太陽電池モジュールが飛来物などで破損や落下した場合
- 設置場所または隣接する建物で火災や浸水が発生した場合

なお、停止した後、パワーコンディショナ、蓄電池、太陽電池モジュールなどにはさわらないでください。感電・けがの恐れがあります。

自立運転用コンセントまたは専用コンセントに以下の製品をつながない。

- 人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
- 灯油やガスを用いた暖房機器

自立運転用コンセント（☞91ページ）は太陽光発電の電力を使用しますので、天候により供給できる電力が変動します。太陽光発電の発電量が自立運転用コンセントにつないだ電気機器の消費量より小さいときは電力の供給を停止します。専用コンセント（☞89、90ページ）は蓄電池からも電力を供給しますが、蓄電池残量がなくなると、電力の供給を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある機器はご使用にならないでください。

また、自立運転の自動切り替え（☞58ページ）を設定している場合は、自動で給電された場合に不安定になる可能性がある機器もご使用にならないでください。

自立運転出力を商用電力線につながない。

自立運転用コンセントや専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで接続しないでください。予期せぬ感電・発火・発煙の恐れがあります。

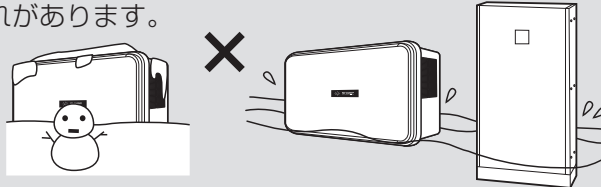
⚠警告

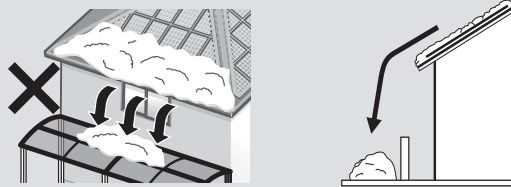
自立運転用コンセントには、自立運転時以外は電気機器を接続しない。

熱を発生する電気機器等のスイッチがONの状態で接続されている場合、自立運転時に意図せずに動作し、発火の恐れがあります。

積雪、浸水のおそれのある場所にパワーコンディショナ、蓄電池を設置しない。

万一、浸水した場合はただちにパワーコンディショナの専用ブレーカーを切り、お買い上げの販売店、または修理相談センターにご連絡ください。

発火・感電・けがの恐れがあります。

太陽電池モジュールの設置後、設置屋根の軒下に、落雪によって被害を受けるものを置かない。

太陽電池モジュールの表面は、滑らかなガラスで覆われており、一般の屋根材（瓦等）と比較すると積もった雪が滑り落ちやすい状態になっています。このため、気象条件によっては屋根の上から勢いよく落雪したり、予想以上に遠くに落雪したりする場合があります。物損の恐れがあります。また、けがの恐れがあるため通行時の落雪にご注意ください。

パワーコンディショナの正面・底面・側面のパネルを開けない。
パワーコンディショナ、マルチエネルギーモニタ、売買センサー、ケーブルの分解、改造、加工や、ご自身での修理をしない。

感電・けがの恐れがあります。

蓄電池の正面・側面のパネルを開けない。
蓄電池の分解、改造、加工や、ご自身での修理をしない。

感電・けが・電解液の漏液のおそれがあります。

雷が鳴り出したらパワーコンディショナ、蓄電池、ケーブルに触れない。

感電の恐れがあります。

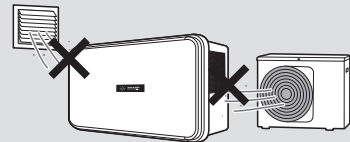
一体型パワーコンディショナ、太陽電池パワーコンディショナは、太陽光発電システム以外には使用しない。

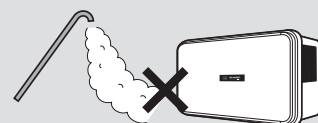
安全が保証できなくなり危険です。

一体型パワーコンディショナ、蓄電池パワーコンディショナ、蓄電池は、蓄電池システム以外には使用しない。

安全が保証できなくなり危険です。

パワーコンディショナ、蓄電池付近に湯気、水蒸気、冷気、油煙、腐食性ガスを出す機器を置かない。

絶縁が悪くなり、発火・感電の恐れがあります。

太陽電池モジュール、パワーコンディショナ、蓄電池付近で薬剤散布をしない。

絶縁が悪くなり、発火・感電の恐れがあります。

太陽電池モジュール、パワーコンディショナ、蓄電池に接続されているアース線は外さない。

発火・感電・けが・故障の恐れがあります。

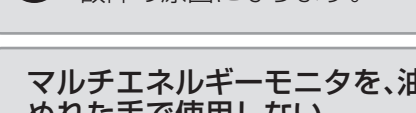
⚠注意

パワーコンディショナの周辺（上下20cm 以内、左右 15cm 以内）に物を置かない。通気口をふさがない。
内部の放熱が不十分となり、発煙・発火の恐れがあります。また、点検時の作業のため、前面 70cm 以内に物を置かない。

パワーコンディショナが運転中、または運転停止後しばらくは、パワーコンディショナに触れない。
パワーコンディショナが高温になり、けがの恐れがあります。

パワーコンディショナ､蓄電池に火気を近づけない。
石油ストーブ等に排気の風があたると、炎が大きくなり危険です。

パワーコンディショナ、蓄電池を薬品（シンナー等）や、ぬれた雑布で拭かない。
内部に水が入り、感電・漏電・焼損する恐れがあります。

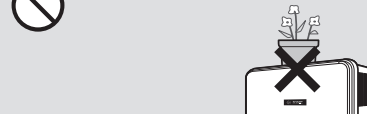
パワーコンディショナ、蓄電池を塗装しない。
日射によりケース内温度が異常に上昇し故障の原因になります。

マルチエネルギーモニタを､油のついた手、ぬれた手で使用しない。
火災・感電・故障の原因となります。

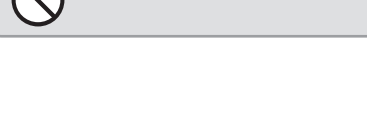
パワーコンディショナ、蓄電池の中に物を入れない。
故障の原因になります。

アンテナや木など太陽電池モジュールに影がかかるような状態にしない。
発電量低下の原因になります。

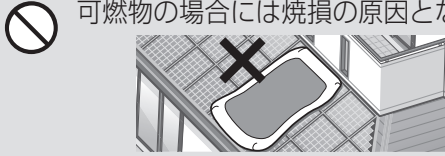
パワーコンディショナ、蓄電池、マルチエネルギーモニタは､高温になる場所または､閉め切った狭い場所で使用するような状態にしない。
発電量低下・充放電の停止の可能性があるとともに、部品が劣化して発煙・焼損する恐れがあります。

ラジオ、テレビなど、電波を利用する機器はパワーコンディショナ、蓄電池、マルチエネルギーモニタから3m以上離す。
機器への受信障害の原因になります。

パワーコンディショナ、蓄電池、マルチエネルギーモニタの上に乗ったり、ぶらさがったり、物を置いたりしない。
落下・転倒・けがの恐れがあります。

マルチエネルギーモニタをアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤で拭かない。
マルチエネルギーモニタ付近で、エアゾール製品（消臭剤､ヘアスプレーなど）を使用しない。
変色･変形･変質や故障の原因になります。

太陽電池モジュールのケーブルを引張ったり、曲げたり等、ケーブルにダメージを与えない。
断線や漏電の恐れがあります。

⚠注意

太陽電池モジュールに物を接触させない。（布団をかけるなど）

発電量の低下や故障(発熱)の原因となります。可燃物の場合には焼損の原因となります。

太陽電池モジュールのガラス面に乗らない。雪かきをしない。

故障の原因になります。また、ガラスが割れて、感電･漏電･けがの恐れがあります。

次の場所では無線 LAN を利用しないでください。

- **医療機関（病院など）の中**
- **医療用電気機器の近く**
- **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器（火災報知器など）の近く**

電子機器が誤作動するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器、その他の医療用電気機器、火災報知機、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器、その他の医療用電気機器をご使用される方は、当該の各医療用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

付属の microSD メモリーカードは乳幼児の手の届かない場所に保管する。

誤って飲み込んだり、けがの原因になることがあります。

※ microSD メモリーカードは一部の蓄電池システムご購入時に付属されます。

蓄電池を次のような場所には設置しない。

・標高 1,000m を超える場所
・振動、衝撃を受ける場所
故障の原因になることがあります

太陽電池モジュールのガラス面に物を投げたり、落としたりしない。

ガラスが割れたり、故障の原因になります。

パワーコンディショナのお手入れの際は、パワーコンディショナの運転を停止する。

感電の恐れがあります。またパワーコンディショナの運転停止後しばらくは、パワーコンディショナが高温になり、けがの恐れがあります。

起動中や動作中に、手や導電性異物（金属など）をマルチエネルギーモニタのディスプレイに接触させたままにしない。

ディスプレイの誤作動の原因となります。

マルチエネルギーモニタのディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先のとがったもので操作しない。

ディスプレイが破損する原因となります。

マルチエネルギーモニタのディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけない

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

爪先でマルチエネルギーモニタのディスプレイの操作をしない

爪が割れたり、突き指などけがの原因となることがあります。

屋外設置用蓄電池は、海岸線から 500m 以内、または潮風の影響を受ける地域の屋外には設置しない

故障の原因となることがあります。

屋内設置用蓄電池は、液体が触れる場所や湿気が多く風通しが悪い場所には設置しない

故障の原因となることがあります。

もくじ / はじめに / 各部の名前とはたらき / システムを使う / 発電実績 / 設定する / Webモニタリングサービス / このようなときは / 索引

⚠ 注意

アマチュア無線のアンテナをパワーコンディショナの近くに設置すると、パワーコンディショナや配線から漏れる電気的雑音がアマチュア無線に受信障害を与える場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

長く上手にご使用いただく為に、定期点検されることをおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。

台風シーズンの前後や、地震、強風の後は、架台などの固定ネジにゆるみや異常がないかサービス会社またはお買い上げの販売店にご相談ください。

エラーや誤操作によってパワーコンディショナが停止することがあります。定期的にマルチエネルギーモニタにエラー表示が出ていないかを確認することをおすすめします。

無線 LAN を利用する場合、下記の条件では、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり通信速度が遅くなることがありますのでご注意ください。
・コンクリート、鉄筋、金属が使われている構造物での利用
・障害物の近くへの設置
・同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉がある場合
・電子レンジなどの機器からの磁場、静電気、電波障害が発生するところでの利用

当社の電力見える化システムは、ECHONET Lite 対応です。
他社製 ECHONET Lite 対応蓄電池システムの操作については、ご使用になる蓄電池システムの取扱説明書に従ってください。
他社製蓄電池システムの動作について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

蓄電池システムはリチウムイオン電池を使用しております。
資源の有効活用のため、リチウムイオン電池は廃棄せず、リサイクルにご協力をお願いします。
リチウムイオン電池のリサイクル、その他蓄電池システム機器の取りはずしの際には、お買い上げの販売店、またはお客様相談センター (☞ 108 ページ) にお問い合わせください。

⚠ 付属のmicroSDメモリーカードご使用上のご注意

microSD メモリーカードは、一部の蓄電池システムご購入時に付属されます。
・microSD メモリーカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
故障の原因になります。
・端子はいつもきれいな状態でご使用ください。
・端子を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
・microSD メモリーカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因になります。
・microSD メモリーカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因になります。
・microSD メモリーカードにラベルやシールを貼った状態で、使用しないでください。
故障の原因になります。

製品と取扱説明書について

・ 本マルチエネルギーモニタでは、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店またはもよりの修理相談センター (☞ 108 ページ) まで、ご連絡ください。
・ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
・ マルチエネルギーモニタのディスプレイは抵抗膜方式のタッチパネルを採用しているため、ディスプレイを同時に 2 箇所以上タップすると正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
・ マルチエネルギーモニタのディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・ 本マルチエネルギーモニタは、Wind River Linux OS を搭載しております。Wind River Linux OS は、Wind River 社が開発した商品です。
・ 本マルチエネルギーモニタは、ECHONETLite 規格に準拠した製品として認証を取得しています。

FONT LC® 本マルチエネルギーモニタでは、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計した LC フォントが搭載されています。ただし、一部 LC フォントでないものも使用しています。

■ 取扱説明書について

・ 各システムには○印の取扱説明書、保証書などが付属します。

	太陽光発電システム	蓄電池システム
取扱説明書（本書）	○	○
取扱説明書追補版（仕様）	○	○
使いかたガイド	○	○
電波干渉に関するご注意	○	○
マルチエネルギーモニタ保証書	○	○
太陽光発電システム／パワーコンディショナ保証書	○	○ (※ 1)
蓄電池パワーコンディショナ保証書		○ (※ 1)
蓄電池システム保証書		○
microSD メモリーカード（保証対象外）		○ (※ 2)
補足説明書		○ (※ 2)

※ 1）パワーコンディショナの機種により、いずれかの保証書が付属します。
※ 2）一部の蓄電池システムをご購入の方にのみ付属します。

・太陽光発電システム、蓄電池システムともに日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書などはございません。This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.
・本書の記載内容、各種サービスなどの内容は、制作時点のものです。改良のため予告なく変更することがあります。
・本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
・本取扱説明書に記載されているイラストや画面例は説明用のものであり、実物とは異なることがあります。

■ システム構成

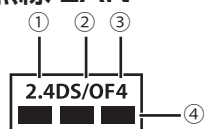
各システムは、以下の機器で構成されます。
システムを併設される場合、マルチエネルギーモニタ、一体型パワーコンディショナ、売買センサーは共用できます。

● **太陽光発電システム**
・太陽電池モジュール
・一体型パワーコンディショナまたは太陽電池パワーコンディショナ
・マルチエネルギーモニタ
・売買センサー
・接続用ケーブル類など

● **蓄電池システム**
・蓄電池
・一体型パワーコンディショナまたは蓄電池パワーコンディショナ
・マルチエネルギーモニタ
・売買センサー
・RPR センサー
・接続用ケーブル類など

■ 電波法に基づく適合証明について

・マルチエネルギーモニタは、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、日本国内のみ使用できます。
・技術基準適合証明を受けていますので、分解／改造をすると法律で罰せられることがあります。
・マルチエネルギーモニタが使用する周波数帯は、2.4GHz 帯です。
・マルチエネルギーモニタには、本体にも使用する周波数帯が記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

無線 LAN

①「2.4」	：使用する周波数帯域を表します。（2.4GHz 帯）
②「DS/OF」	：変調方式を表します。（OFDM 方式 /DS-SS 方式）
③「4」	：想定される与干渉距離（約 40m）
④「■■■」	：2.4GHz 帯の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能である　ことを表します。

■ 電波干渉に関するご注意

2.4GHz 機器使用上の注意事項

2.4GHz 使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにご使用中のルーターより使用チャンネルを変更するか、この機器の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
3. その他、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 電波障害に関するご注意

マルチエネルギーモニタは、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが､この装置がラジオやテレビに近接して使用されると､受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビの受信に影響を及ぼすことがあります。
そのようなときには、次の点にご注意ください。
・ラジオ、テレビをマルチエネルギーモニタから十分に離してください。
・ラジオ、テレビをマルチエネルギーモニタとは別のコンセントに接続してください。
・使用されるケーブルは指定のものを使用してください。

■ 登録商標、商標

・LC フォント /LCFONT 及び LC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。
・AOSS は株式会社バッファローの商標です。
・らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。
・Wi-Fi Protected Setup （WPS) は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
・JpGraph は Aditus Consulting 社の登録商標です。日本では、アシアル株式会社のもとに販売しています。
・Wind River は、Wind River Systems Inc. の登録商標または商標です。
・「ECHONETLite」はエコーネットコンソーシアムの商標です。
・その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

特長

この製品は太陽光発電システムと蓄電池システムを組み合わせて使用できるシステムです。

電力をつくる

太陽光発電システム

太陽光エネルギーを家庭で使える電力に変換します。
発電した電力で、使用する電力をまかなうとともに、余った電力は売電できます。

電力をためる

蓄電池システム

停電時に備えて電力を蓄えます。
平常時は夜間の割安な電力を蓄え、発電量の少ない時間帯に使用することができます。

一体型パワーコンディショナ

太陽光発電システムの運転や蓄電池の充放電など、システム全体の電力を制御します。
太陽電池パワーコンディショナ・蓄電池パワーコンディショナの場合もあります。

太陽電池モジュール

太陽光を受けて発電します。

マルチエネルギーモニタ

表示ディスプレイを兼ねた操作パネルです。

屋内分電盤

発電した電力をご家庭の各コンセントに分配します。

電力量計

売電用と買電用の２種類があり、電力会社に売った余剰電力と、電力会社から買った電力を計量します。

売買センサー

マルチエネルギーモニタに表示する売電量／買電量を計量します。

ＲＰＲセンサー

蓄電池にためた電力を売電しないようにするためのセンサーです。

蓄電池

リチウムイオン蓄電池に電力を蓄えて使用します。

※イラストは設置の一例です。

太陽光発電システムと蓄電池システムを組み合わせることで、太陽光発電と蓄電池システムをより便利に活用することができます。

太陽光発電システムと蓄電池システムのリモコン機能を搭載

マルチエネルギーモニタ 1 台で、太陽光発電システムも、蓄電池システムも操作することができます。

停電時に大活躍

太陽光発電と蓄電池を組み合わせると、長時間の停電時にも、電気製品を使いながら、蓄電池に充電することができます。
また、一体型パワーコンディショナと蓄電池をお使いの場合は、停電時でも自動で自立運転に切り替わるので、煩わしい操作なく電気製品をお使いいただけます。
※初期設定では、自立運転自動切り替えは設定されていません。自動で切り替えるためには、設定が必要です（☞ 58 ページ）。また、専用コンセントのみに電力が供給されます。

Web モニタリングサービス（☞ 59 ～ 83 ページ）

ご家庭とモニタリングセンターの間で自動通信をおこない、定期的なシステムチェックや、ネットワークを利用したサービスが受けられる「Web モニタリングサービス」をご提供しています。
万一の故障などにも、すばやい対応が受けられます。
ご利用には、別途サービス加入のお申し込みが必要です。

メモ

- 蓄電池システムをご使用になる場合には、売買センサーが必要です。
- 電力量計は有効期限があり、定期的に交換が必要です。お住まいの地域によっては売電電力量計の交換費用がお客様負担の場合があります。交換に関しては、電気工事店または電力会社にお問い合わせください。電力量計と売買センサーの計量値は、製品ごとに計測精度が違うため、表示が異なる場合があります。
- 太陽電池モジュール、パワーコンディショナ、マルチエネルギーモニタ、ケーブル等機器を同じ製品でシステム構成した場合でも、設置条件、各機器の個体差により若干発電量がばらつきます。そのため総発電量にも若干の差が出ることをあらかじめご了承ください。
- 太陽電池モジュールが薄膜太陽電池モジュールのとき、出荷直後は最大出力が公称値より 20%程度大きくなります。約 1 ヶ月ほどで公称値へ収束します。
- 当社のクラウド HEMS と接続できます。詳細は、クラウド HEMS の取扱説明書を参照ください。

各部の名前とはたらき

各部の名前とはたらき

マルチエネルギーモニタ

マルチエネルギーモニタは、表示ディスプレイとパワーコンディショナのコントローラを兼ねています。発電履歴の閲覧、各種の設定などのおもな操作は、マルチエネルギーモニタでおこないます。

◆前　面

リセットボタン
マルチエネルギーモニタの再起動をします。

ディスプレイ（タッチパネル）
運転状態、発電状態などを表示するとともに、画面をタップすることで操作ができます。

運転切替ボタン
パワーコンディショナ運転状態（運転 / 停止）、運転モード（連系運転 / 自立運転）の切り替えをおこないます。

今日の実績ボタン（☞ 28 ページ）
今日の実績画面を表示します。

ホームボタン（☞ 20 ページ）
ソーラーのトップ画面に戻ります。
周辺部の LED でシステムの運転状態を表示します（右表参照）。
売買センサーを取り付けていない場合は橙色点灯します。自立運転中は青色点灯します。

ホームボタン周辺部のＬＥＤ	運転状態
青色点灯	売電中（発電しているとき）
橙色点灯	買電中（発電しているとき）
橙色点滅	点検
消灯	上記以外の状態

運転状態表示ランプ
パワーコンディショナごとの運転状態を表示します。

運転状態表示ランプ	運転状態		
	太陽電池パワーコンディショナ	蓄電池パワーコンディショナ	一体型パワーコンディショナ
緑色点灯	連系運転中	連系運転中（放電中、充電中）	連系運転中（発電しているとき）
緑色点滅	連系準備中 連系手動停止中	連系運転中（待機中）	－
赤色点灯	自立運転中		自立運転中 連系運転中（発電していないとき）
赤色点滅	自立準備中、自立手動停止中、点検		
消灯	自動停止中	連系準備中、連系手動停止中、自動停止中	

左側から 1 台目、2 台目、3 台目のパワーコンディショナの状態を表示しています。

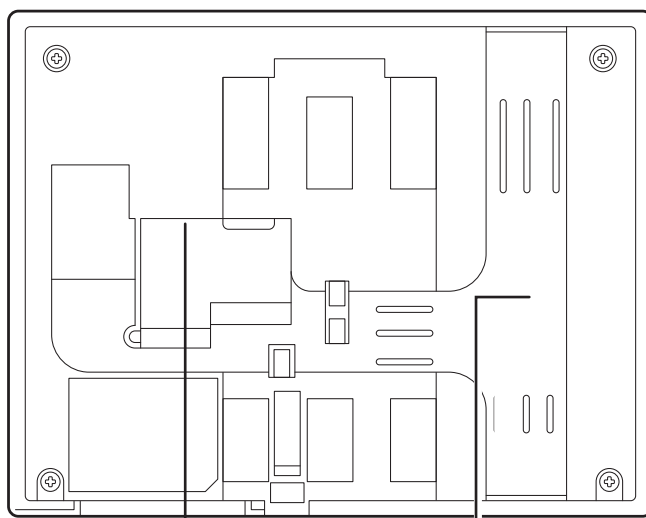
◆ 左側面

リセットボタン
マルチエネルギーモニタの再起動をします。

◆ 右側面

運転切替ボタン（☞ 87、92 ページ）
パワーコンディショナ運転状態（運転 / 停止）、運転モード（連系運転 / 自立運転）の切り替えをおこないます。

[運転切替ボタンロック機能]
このボタンを 5 秒以上長押しすると、運転切替ボタンはロック状態となります。運転切替ボタンのロック状態を解除するためには、このボタンを 5 秒以上長押しすると、解除されます。運転切替ボタンがロック状態でも、他の操作は可能です。

◆ 背面

LAN コネクタ
有線接続で Web モニタリングサービスをご利用になるときに、LAN ケーブルを接続します（☞ 62 ページ）。

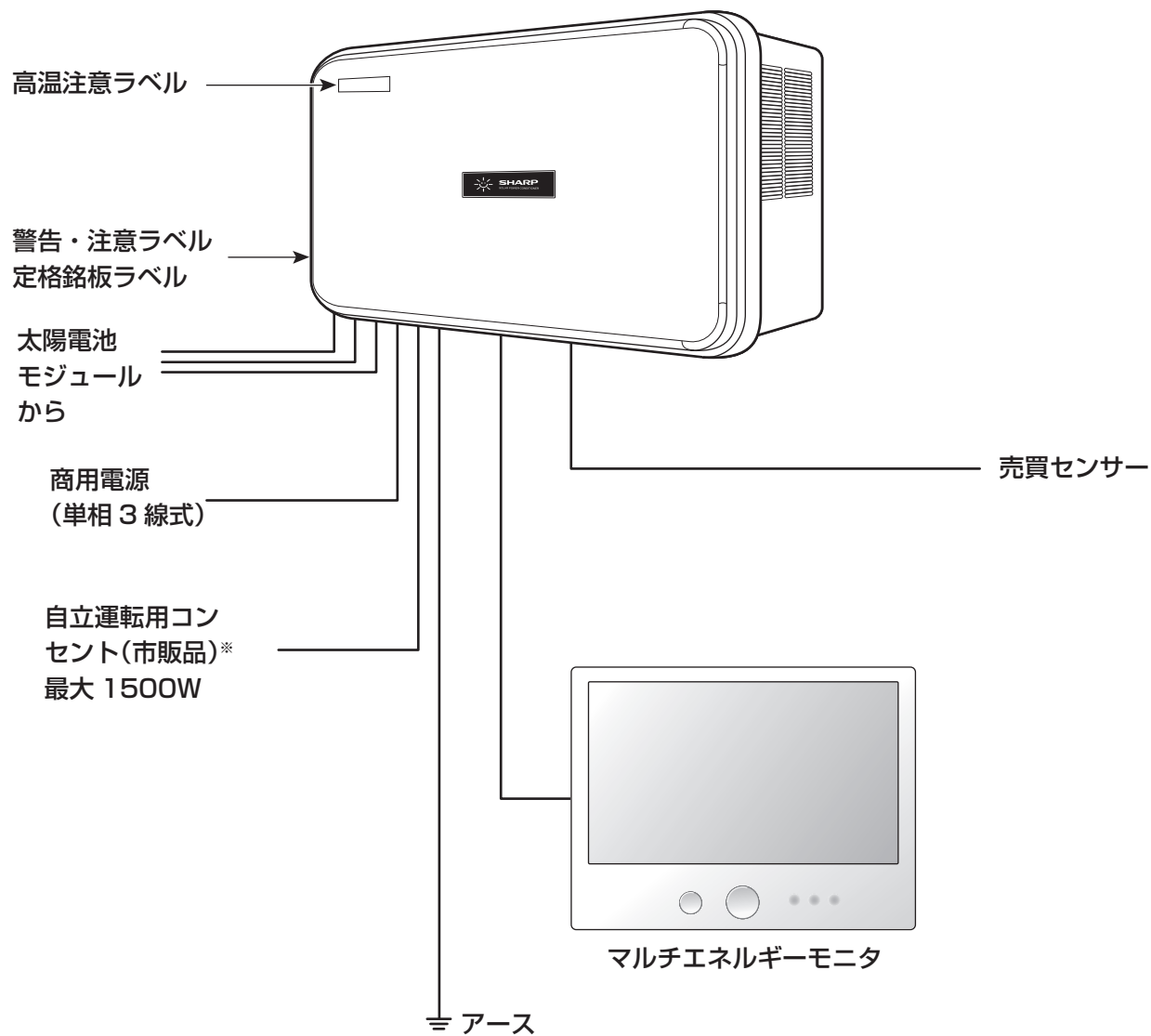
配線用溝
パワーコンディショナとの通信ケーブルを通す溝です。また、Web モニタリングサービス用の LAN ケーブル（☞ 62 ページ）もここに通します。

お願い

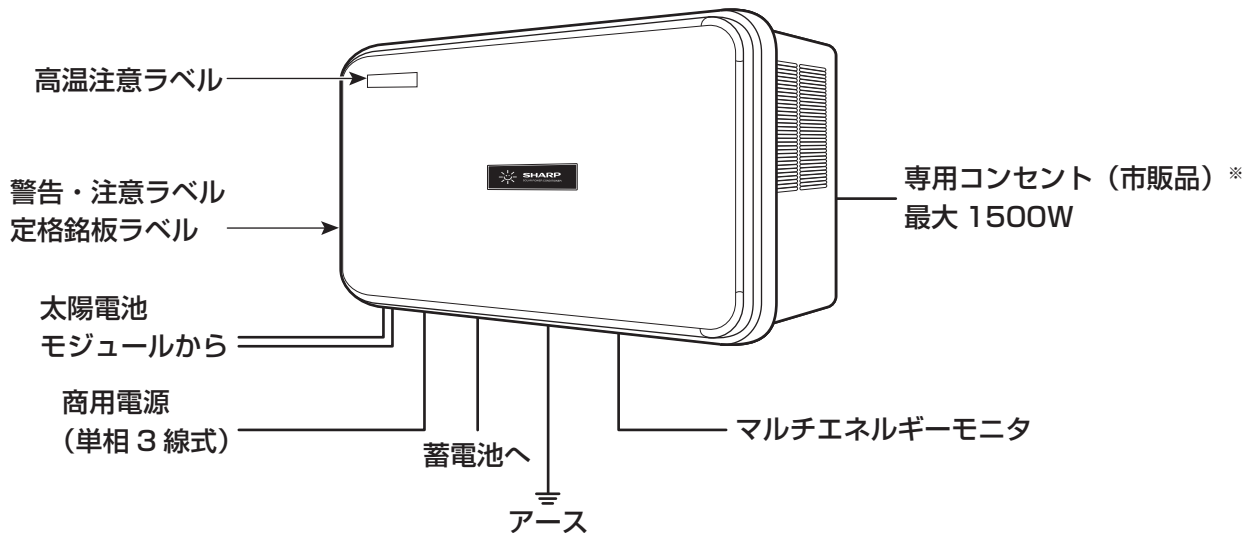
- ●マルチエネルギーモニタは水のかからない所に取り付け、水をかけないでください。また、油などついた汚れた手、水で濡れた手でさわらないでください。
  防水タイプではありませんので、故障の原因になります。
- ●タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先のとがったもので操作しないでください。
  タッチパネルが破損する原因となります。
- ●マルチエネルギーモニタには保護フィルムが貼ってあります。ご使用の際にははがしてください。
  タッチパネルの感度が悪くなります。

もくじ
はじめに
各部の名前とはたらき
システムを使う
発電実績
設定する
Webモニタリングサービス
このようなときは
索引

太陽電池パワーコンディショナ

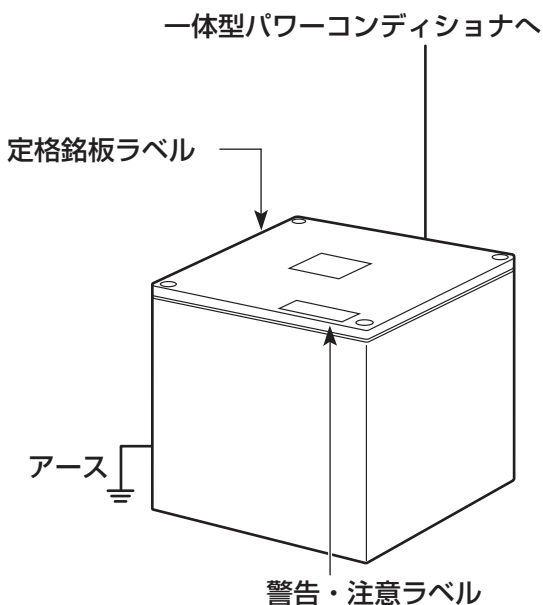
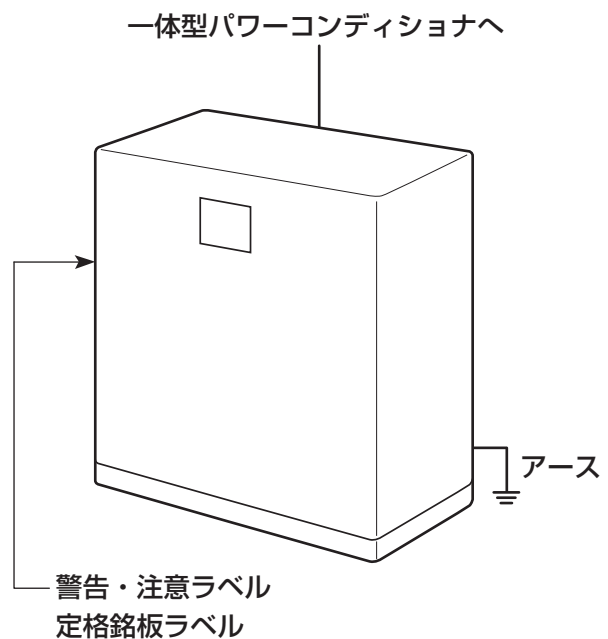
太陽電池パワーコンディショナは、太陽電池モジュールで発電された直流の電力を、ご家庭で使える交流に変換します。

●図は一例です。
※太陽光発電システムのみ、または蓄電池システムと連携せず独立に設置された太陽光発電システムをお使いの場合には、自立運転用コンセントを設置することができます。

一体型パワーコンディショナ

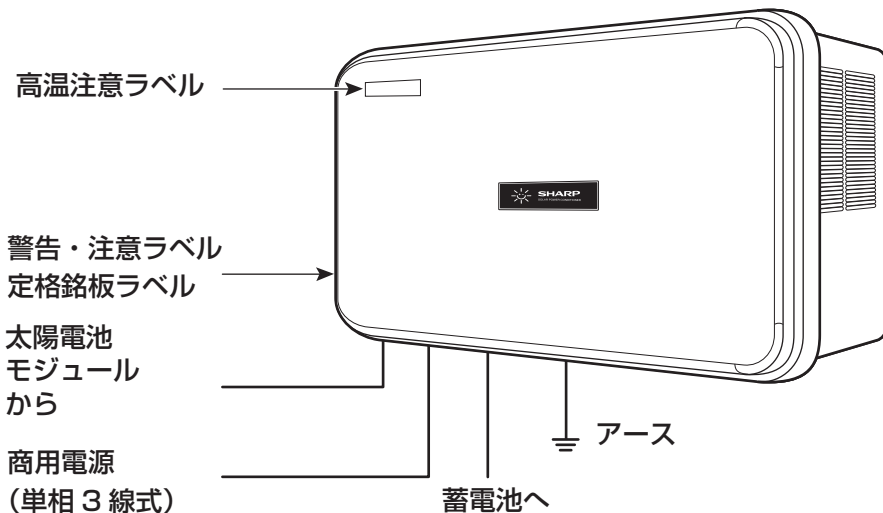
一体型パワーコンディショナは、太陽光発電システムの運転や蓄電池の充放電など、システム全体の電力を制御します。太陽電池で発電した直流電力を、ご家庭で使える交流に変換、または蓄電池に充電します。蓄電池に充電した電力はご家庭で使える交流に変換します。

●図は一例です。
※専用コンセントは、平常時は電力会社からの電力が供給されます。停電時には自立運転により、太陽光発電で発電した電力や蓄電池に蓄えた電力が供給されます。

蓄電池（一体型パワーコンディショナ対応）

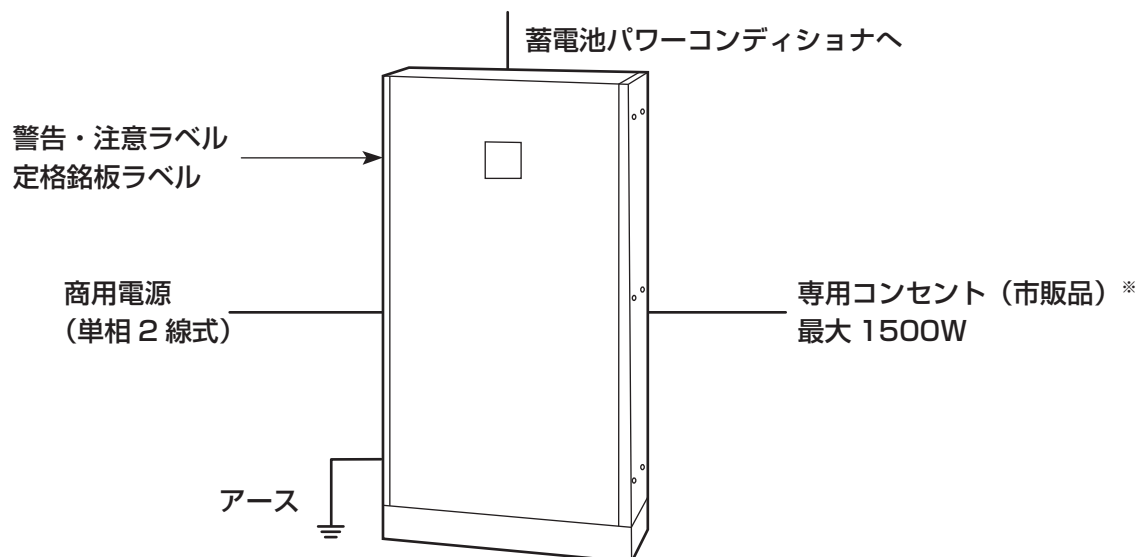
蓄電池に内蔵のリチウムイオン蓄電池に電力を蓄えて使用します。

●屋内設置用蓄電池

●屋外設置用蓄電池

●図は一例です。

蓄電池パワーコンディショナ

蓄電池パワーコンディショナは、蓄電池の充放電を制御します。蓄電池に蓄えた直流の電力を、ご家庭で使える交流に変換します。

●図は一例です。

蓄電池（蓄電池パワーコンディショナ対応）

蓄電池に内蔵のリチウムイオン蓄電池に電力を蓄えて使用します。

●図は一例です。
※専用コンセントは平常時は電力会社からの電力が供給されます。停電時には自立運転により、蓄電池に蓄えた電力が供給されます。

太陽光発電・蓄電池システムを使う

マルチエネルギーモニタの使いかた

運転時に表示されるソーラートップ画面の見かたと、おもな操作について説明します。

ソーラートップ画面の見かた / 操作のしかた

ソーラーのトップ画面には現在の発電電力、電力会社へ売っている余剰電力、蓄電池の残量、充放電状態などが表示され、システムの状態がひと目で確認できます。
※ 表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。

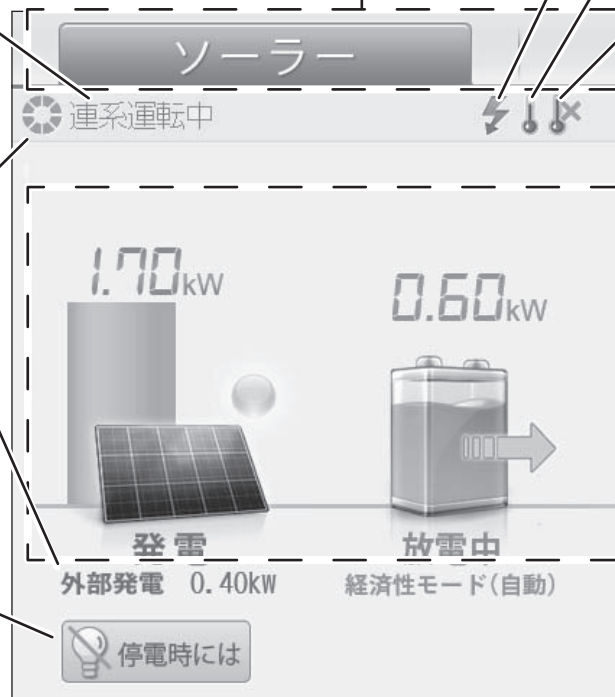
タブ（ソーラー、設定、履歴）
タブをタップすると、選択された画面のトップ画面へ移行します（☞ 27、41 ページ）。
設定、履歴のタブをタップすることで、各種設定の変更、履歴の確認をおこないます。

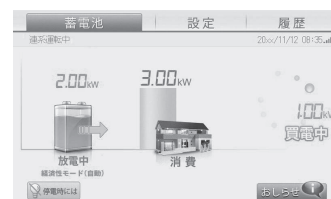
運転状態
パワーコンディショナを 1 台のみ接続している場合、パワーコンディショナの運転状態を表示します。
複数台接続しているときは非表示となります（☞ 24 ページ）。

モニタリング通信アイコン（☞ 69 ページ）
Web モニタリングサービスが利用可能になると点灯します。

外部発電（☞ 47 ページ）
外部発電センサーを取り付けている場合に、その発電電力を表示します。
外部発電機とは、この製品と合わせて使用できる燃料電池やガス発電機などです。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

停電時には（☞ 88 ページ）
タップすると、停電時の操作方法が表示されます。

ソーラー
連系運転中
1.70kW
0.60kW
発電
放電中
外部発電 0.40kW
経済性モード(自動)
停電時には

※太陽光発電システム、蓄電池システムの片方だけをお使いの場合は、マルチエネルギーモニタの表示は右の図のように変わります。利用するシステムだけが表示されます。蓄電池システムのみの場合は「ソーラー」タブは「蓄電池」タブに変わります。

太陽光発電のみ

蓄電池のみ（1 台）

メモ

- 売電力 / 買電力および消費電力の表示には、売買センサーが必要です（☞ 11 ページ）。
- この製品は計量法の対象製品ではありません。発電電力、消費電力、売電力／買電力などの各電力値は目安であり、電力量計や電力会社からの請求書の値とは異なることがあります。
- 消費電力は発電電力、外部発電電力、売買電力、蓄電池の充放電電力から計算しています。
- 現在日時の表示と実際の日時が異なるときは、正しい日時に設定してください（☞ 42 ページ）。
- 「設定」からトータル表示（外部発電を含む）を選択すると、外部発電電力を発電電力に加えることが可能です。その場合、外部発電電力は、トップ画面から表示が消えます（☞ 47 ページ）。
- ディスプレイが消えているときは、ディスプレイに触れると、ソーラーのトップ画面を表示できます。
- ご家庭の負荷の状況により、放電量が 0kW になる場合が有ります。
- 「タップ」とは、画面を軽く押して、すぐに指を離す操作のことです。

もくじ
はじめに
各部の名前とはたらき
システムを使う
発電実績
設定する
Webモニタリングサービス
このようなときは
索引

電圧アイコン（☞ 93 ページ）
家庭内に供給される電圧が高くなりすぎると、家庭内の電気機器に悪影響を与えることがあります。　電圧の上昇を抑えるために、パワーコンディショナーの出力を一時的に抑えています。

温度アイコン（☞ 94 ページ）
パワーコンディショナーの内部温度が高くなりすぎると、機器に悪影響を与えることがあります。　温度上昇を抑えるために、パワーコンディショナの出力を一時的に抑えています。

温度範囲外アイコン（☞ 94 ページ）
蓄電池の内部温度が動作温度範囲外のため一時的に、充電または放電を停止しています。

蓄電池のみ（2 台）

（☞ 25 ページ）
発電量ベスト５記録や、運用開始記念日などのおしらせを確認できます。新しいおしらせがある場合は、おしらせアイコンを表示します。

現在日時（☞ 42 ページ）
現在の日付と時刻を表示します。

電波強度アイコン
電波強度は５段階で表示します。表示は目安です。無線の設定がおこなわれていない場合、または、有線接続の場合は非表示となります（☞ 63 ページ）。

（左から）

発電
現在発電している電力を表示します。
ただし、自立運転中は発電量が 0kW と表示されることがあります（☞ 98 ページ）。

充電中 / 放電中 / 待機中 / 停止中 / 診断中（☞ 22 ページ）
蓄電池の状態とその時の充放電電力、蓄電池運転モード（☞ 23 ページ）を表示します。
蓄電池の残量はアイコンで５段階表示します。自立運転中は、蓄電池運転モードは非表示になります。

消費
現在ご家庭で消費している電力を表示します。
売電センサーを取り付けていない場合は、値が表示されません。

売電中 / 買電中（☞ 22 ページ）
電力会社に売っている余剰電力、または電力会社から買っている不足電力を表示します。
状態によって下記のように表示が変わります。売買センサーを取り付けていない場合は値が表示されません。
状態によって下記のように変わります。

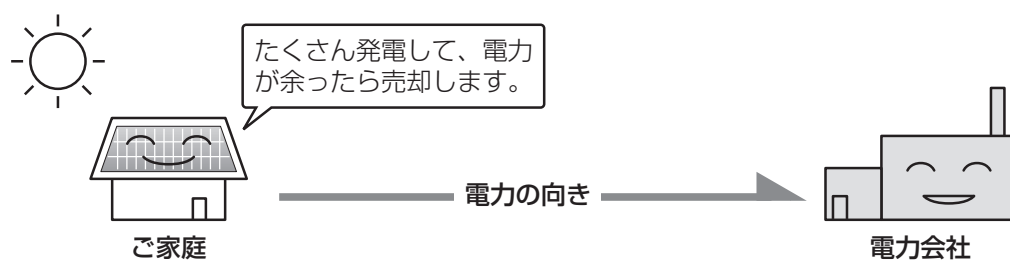
電力を売っているとき	電力を買っているとき
1.80kW 売電中	0.30kW 買電中
売買電力が０のとき	
0.00kW 買電中	

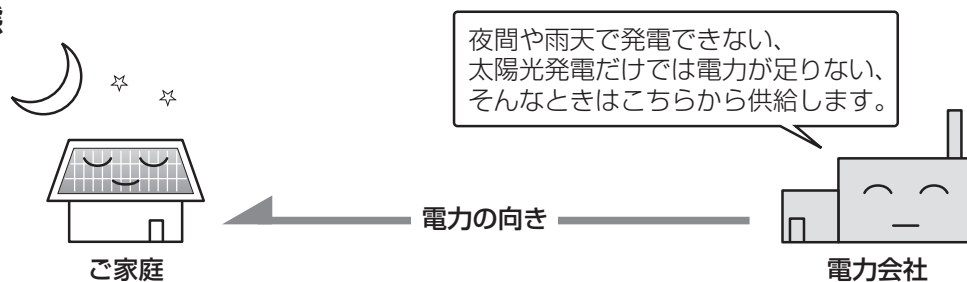
■電力と電力量

電力とは、ある瞬間の電流の力です。単位は「kW」です。
電力量とは、ある時間内の電力の合計値です。単位は「kWh」です。
例として、２kW の電力を３時間使い続けると、消費された電力量は６kWh になります。

売電（売り電力）と買電（買い電力）について

発電電力が多く、使用している電力を上回っているときは、余った電力を電力会社に売ります。この状態を売電状態と呼びます。逆に、発電電力が少なかったり、夜間や雨天などで発電していなかったりすると、電力会社から不足している電力の供給を受けます。電力を電力会社から購入しているため、この状態を買電状態と呼びます。

売電状態

※売電状態では、蓄電池からの放電はおこないません。蓄電池システムは待機状態になります。

買電状態

蓄電池の状態について

蓄電池の状態は充電中、放電中、待機中、停止中、診断中で表示します。

充電中：電力会社からの電力または太陽光発電の余剰電力を蓄電池に蓄えています。
放電中：蓄電池に蓄えた電力を交流に変換して家庭内に供給しています。
待機中：充電も放電もおこなっていない状態です。
停止中：エラーが発生し、停止している状態です。
診断中：蓄電池実容量診断（☞ 57 ページ）をおこなっている状態です

蓄電池運転モードと充電／放電について

連系運転状態では、蓄電池の充電 / 放電は以下６つの蓄電池運転モードに従って制御されます。
蓄電池実容量診断（☞ 57 ページ）をおこなっているときは、蓄電池運転モードによる制御はおこなわれません。

●経済性モード（自動）
夜間時間帯（☞ 54 ページ）に充電をおこない､夜間時間帯以外の時間帯の買電中に放電をおこないます。

●経済性モード（時刻指定）
夜間時間帯外で放電開始時刻を設定します。夜間時間帯に充電をおこない、設定した放電開始時刻以降の買電中に放電をおこないます。

●クリーンモード（夜間充電なし）
太陽光発電の余剰電力で充電をおこない、買電中に放電をおこないます。電力会社からなるべく電力を買わないようにします。
ただし、蓄電池残量が少ない状態が続くと、蓄電池保護のため、自動的に電力会社からの電力で充電することがあります。

●クリーンモード（夜間充電あり）
太陽光発電の余剰電力または夜間時間帯に充電をおこない、夜間時間帯以外の買電中に放電をおこないます。

●充電モード
蓄電池への充電を優先的におこないます。蓄電池残量が少ない場合や、非常時に備えて、蓄電池残量を増やす場合に使用します。充電完了後、待機状態となり、24 時間経過すると、経済性モード（自動）に移行します。

●ECHONET Lite 機器専用モード
ECHONET Lite 対応機器から充電・放電の制御を受け付けることができます。操作方法については、対応機器の取扱説明書をご覧ください。

また、蓄電池残量が蓄電池キープ残量（☞ 56 ページ）以下になると、放電は停止します。ただし、蓄電池保護のため、設定した蓄電池キープ残量になる前に放電を停止する場合があります。
蓄電池運転モードによらず、充電時に蓄電池残量が 100%近くになると、自動で充電量の減少・充電停止をおこない蓄電池を保護します。充電⇔待機を繰り返すことがありますが、蓄電池の自動調整動作であり故障ではありません。

なお、売電中には放電をおこないません。買電量が少ない（0.1kW 未満）ときは、放電をおこなわない場合があります。
本システムは商用電源と連系しているため、蓄電池からの電力供給においては電力会社が設ける運用規定に準じております。そのため、家電製品のご使用状況によっては蓄電池から家電製品への供給電力が減少し、買電量が増加する場合があります。(☞ 99 ページ)
長期間不在が続く場合は、経済性モード（自動）に切り替えておいてください。

メモ

● 「ECHONET Lite」は、HEMS（Home Energy Management System）と、家電機器、太陽光発電システム、蓄電池などの機器間の情報のやりとりや制御を規定した、スマートハウスを構築するための通信規格です。
●夜間時間帯とは、蓄電池の設定における、電力会社との契約で電力が割安な夜間の時間帯のことです（☞ 54 ページ）。

運転状態表示について

パワーコンディショナが1台のみ接続されている場合、画面上部に、パワーコンディショナの運転状態を表示します。

運転モード		太陽電池 パワーコンディショナ	蓄電池 パワーコンディショナ	一体型 パワーコンディショナ
連系	連系運転中	日中、太陽光発電がおこなわれている状態です。	商用電源と連系して蓄電池の充放電がおこなわれている状態、または、待機中の状態です。	太陽光発電がおこなわれているか、商用電源と連系して蓄電池の充放電がおこなわれているか、待機中の状態です。
	連系準備中	運転の開始または停止を準備している状態です。		
	連系手動停止中	連系運転を手動で停止した状態です。		
自立	自立運転中	太陽光発電で発電した電力を、自立運転用のコンセントにのみ供給している状態です。(*1)	蓄電池に蓄えた電力を専用コンセントにのみ供給している状態です。	発電した電力や蓄電池に蓄えた電力を、専用コンセントにのみ供給している状態です。
	自立準備中	自立運転の開始または停止を準備している状態です。(*1)		
	自立手動停止中	自立運転を手動で停止した状態です。(*1)		
その他	自動停止中	夜間など、日照がなく発電を停止している状態です。	マルチエネルギーモニタとパワーコンディショナが通信できない。	
	点検	パワーコンディショナの異常を検出し、エラーコードが出ているときに表示される状態です（☞100～106ページ)。		

*1 太陽電池パワーコンディショナの自立運転は、太陽電池パワーコンディショナのみご使用の場合に設定できます。

メモ

- 停電時などは非常用「自立運転」に切り替えることができます。自立運転では、自立運転用コンセントまたは、専用コンセントのみに電力が供給されます。停電時にその他のコンセントは使用できません。自立運転については☞88～92ページをご覧ください。
- 手動で停止しなくても、「連系手動停止中」や「自立手動停止中」と表示される場合があります。

おしらせの内容を見る

最大発電量の記録が更新されるなど、新しいおしらせがあると、おしらせアイコン がトップ画面に表示されます。
以下の操作でおしらせの内容を確認できます。 が表示されている項目のすべての画面を表示するとアイコンは消えますが、おしらせの内容を再確認するときも操作は同じです。

1 トップ画面で [おしらせ] をタップする

おしらせ画面が表示されます。

2 見たいおしらせを選ぶ

確認していないおしらせには が表示されます。

- 戻る ：
  ソーラーのトップ画面に戻ります。

※モニタリング会員未登録の場合は、「おしらせ」は表示されません。

おしらせの内容が表示されます。各おしらせの内容は、下表の参照先をご覧ください。

項目	内容とアイコン表示の条件	参照先
発電量 ベスト 5	発電量のベスト 5 を確認できます。 発電量の最大値が更新されるとアイコンを表示します。	☞ 25 ページ
運用開始 記念日	運用開始日から経過した年数と、積算発電量を確認できます。 運用開始日から 1 年経過するごとにアイコンを表示します。	☞ 26 ページ
おしらせ	モニタリングセンターからおしらせを受信するとアイコンを表示します。 この項目は Web モニタリングサービス（☞ 59 ～ 83 ページ）をご利用の場合に表示されます。	☞ 26 ページ

発電量ベスト5

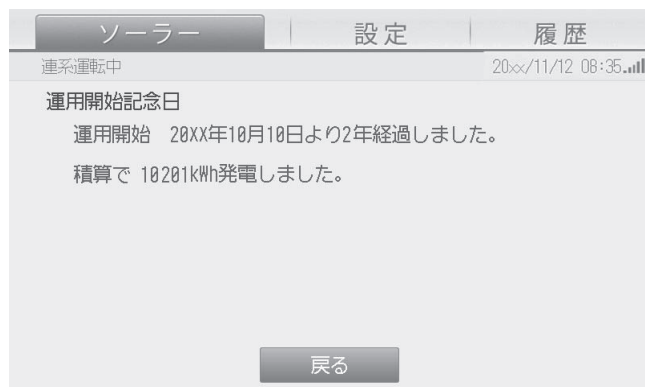
発電量ベスト 5 画面では、 1 日の発電量の大きいものから上位 5 番目までを確認できます。
記録を達成した日付と、達成した値を表示します。未読の最新のデータには が表示されます。

- 戻る ：
  おしらせのトップ画面に戻ります。
- すべて 今年 今月 ：
  ボタン名に対応した期間のベスト 5 記録を表示します。

メモ

●パワーコンディショナを複数台設置している場合は、発電量は総発電量で記録されます。

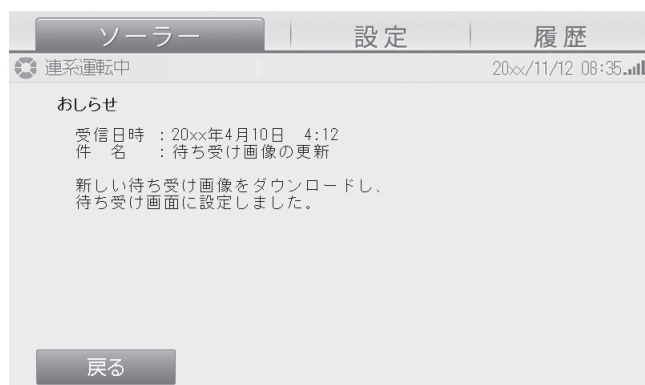
運用開始記念日

運用開始日から1年経過するごとに更新され、経過した年数と積算発電量を確認できます。

- 戻る：
  おしらせのトップ画面に戻ります。

●運用開始日は変更することもできます（☞44ページ）。

おしらせ

モニタリングセンターからのおしらせを確認できます。この項目は、Webモニタリングサービスをご利用の場合に表示されます。
モニタリングセンターからおしらせを受信した日時と、受信したおしらせの件名が表示されるので、見たいおしらせをタップして、おしらせの内容を確認します。

- 戻る：
  おしらせのトップ画面に戻ります。
- 前へ 次へ：
  1画面に6件ずつ表示されます。
  ボタンを押すと、前の6件、次の6件に移行します。

- 戻る：
  一つ前の画面に戻ります。

発電などの実績・履歴を見る

※電圧上昇抑制については、93 ページをご確認ください。

今日の実績をみる

当日０時からの発電や消費などの実績を確認できます。

1 今日の実績 を押す

今日の実績画面が表示されます。

2 今日の実績を確認する

◆ボタンの機能（グラフ表示）

- 日間 月間 年間：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の３種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る：履歴のトップ画面に戻ります。
- 前日との比較：表示形式を比較表示に切り替えます。表示しているグラフの期間によってボタンの名前が変わります。
- パワコン別：表示形式をパワーコンディショナ別の表示に切り替えます。パワーコンディショナを複数台ご使用の場合に表示されます。
- 数値：表示形式を数値表示に切り替えます。

◆画面の説明（グラフ表示）

- 発電／消費量グラフ：
  発電量を棒グラフで、消費量を折れ線グラフで表示します。
- 積算発電量：
  期間の初めからの積算発電量です。
- 積算外部発電量：
  期間の初めからの外部発電機の発電量です。外部発電機をお使いの場合に値が表示されます。
- 積算消費量：
  期間の初めからの積算消費量です。
- 自給率：
  期間の初めからの電力自給率です。（発電量＋外部発電量）÷消費量× 100 の値になります。

メモ

● 「今日の実績」「1 時間ごとの履歴」表示では、ある時間のデータは、その時間の 00 分から 59 分までの積算データとなります。
例えば、９時のデータは、９時 00 分から９時 59 分までの積算データです。

●トップ画面の消費電力と履歴の消費量では計算式が異なるため、蓄電池システムを設置されている場合、トップ画面に表示される消費電力と履歴の消費量の値が異なることがあります。

履歴の種類

発電量や売電量／買電量などの履歴を確認できます。
履歴には以下の種類があり、表示期間を選ぶ、グラフと数値を切り替えるなど、さまざまな形で確認できます。

発電量／消費量履歴：☞ 30 ～ 32 ページ

過去に発電した電力量と、消費した電力量を確認できます。

（数値表示に切り替えることもできます）

パワーコンディショナ別発電量履歴：☞ 32 ページ

パワーコンディショナごとの発電量を確認できます（太陽電池を接続したパワーコンディショナを複数台お使いの場合に表示）。

（数値表示に切り替えることもできます）

売電量／買電量履歴：☞ 33 ～ 34 ページ

過去に電力会社へ売った電力量と、電力会社から買った電力量を確認できます。

環境貢献：☞ 35 ページ

太陽光発電によって、どれだけ CO_2（二酸化炭素）排出量を削減できたかを確認できます。

電気料金換算：☞ 36 ページ

発電量や売電量を電気料金に換算して確認できます。

省エネナビ：☞ 37 ページ

月ごとの省エネ率を確認できます。

蓄電池残量履歴：☞ 38 ページ

蓄電池残量の変化を確認できます。

運用開始からの積算履歴：☞ 39 ページ

この製品で発電を開始してからの積算発電量や積算消費量、積算売電量／買電量などを確認できます。

以下の操作で各種の履歴を確認できます。

発電量／消費量の履歴を見る

発電量および消費量の履歴を確認できます。

1 履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で [発電／消費量] をタップする

発電／消費量実績が表示されます。
(今日の実績)を押すことでも、発電／消費量を表示できます。

2 履歴を確認する

◆画面の説明（グラフ表示）

- 発電／消費量グラフ：
  発電量を棒グラフで、消費量を折れ線グラフで表示します。
- 積算発電量：
  期間の初めからの積算発電量です。
- 積算外部発電量：
  期間の初めからの外部発電機の発電量です。外部発電機をお使いの場合に値が表示されます。
- 積算消費量：
  期間の初めからの積算消費量です。
- 自給率：
  期間の初めからの電力自給率です。（発電量＋外部発電量）÷消費量× 100 の値になります。

◆ボタンの機能（グラフ表示）

- [日間] [月間] [年間]：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- [戻る]：履歴のトップ画面に戻ります。
- [今月との比較]：表示形式を比較表示に切り替えます。表示しているグラフの期間によってボタンの名前が変わります。
- [パワコン別]：表示形式をパワーコンディショナ別の表示に切り替えます。パワーコンディショナを複数台ご使用の場合に表示されます。
- [数値]：表示形式を数値表示に切り替えます。

メモ

● 「日間の履歴」表示では、ある時間のデータは、その時間の 00 分から 59 分までの積算データとなります。例えば、 9時のデータは、 9時 00 分から9時 59 分までの積算データです。

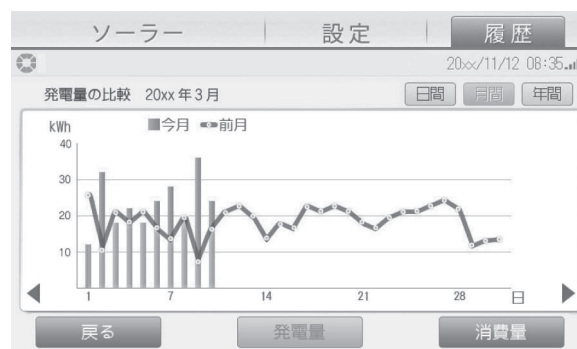
●トップ画面の消費電力と履歴の消費量では計算式が異なるため、蓄電池システムを設置されている場合、トップ画面に表示される消費電力と履歴の消費量の値が異なることがあります。

	発電量 (kWh)	ピーク発電 (kW)	外部発電量 (kWh)	消費量 (kWh)	自家消費量 (kWh)	自給率 (%)
1日	13.1	2.3	5.2	10.5	5.3	174
2日	13.5	2.8	6.2	18.5	4.7	106
3日	15.2	2.7	5.8	16.2	3.1	130
4日	14.8	2.5	5.3	14.6	3.6	138
5日	13.5	2.6	7.6	20.3	9.5	104
6日	17.5	2.4	5.7	25.8	5.2	90
当月	405.0	2.8	195.0	600.0	200.0	100

◆画面の説明（数値表示）

- 発電量：
  期間あたりの発電電力量です。
- ピーク発電：
  1 日の瞬間最大電力の値です。「月間」でのみ表示されます。
- 外部発電量：
  期間あたりの外部発電機の発電電力量です。外部発電機をお使いの場合に表示されます。
- 消費量：
  期間あたりの消費電力量です。
- 自家消費量：
  発電した電力量のうち、自家で消費した分の電力量です。
- 自給率：
  期間の初めからの電力自給率です。（発電量＋外部発電量）÷消費量× 100 の値になります。

◆ボタンの機能（数値表示）

- 日間 月間 年間 ：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る ：発電／消費量グラフ表示に戻ります。
- 前へ ：前の期間（6 時間前／6 日前／6 ヶ月前）の履歴に表示を切り替えます。
- 次へ ：次の期間（6 時間後／6 日後／6 ヶ月後）の履歴に表示を切り替えます。

◆画面の説明（比較表示）

- 比較グラフ：
  選択している期間の発電量または消費量を棒グラフで、比較対象の同期間の発電量または消費量を折れ線グラフで表示します。

◆ボタンの機能（比較表示）

- 日間 月間 年間 ：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る ：発電／消費量グラフ表示に戻ります。
- 発電量 ：発電量の比較グラフに切り替えます。
- 消費量 ：消費量の比較グラフに切り替えます。

メモ

● 日間表示の時間ごとのデータの 1 日分の合計と、月間表示の日ごとのデータとは合わない場合があります。同様に月間表示の日ごとのデータの 1 ヶ月分の合計と、年間表示の月ごとのデータとは合わない場合があります。

■パワーコンディショナ別に発電量の履歴を見る

複数のパワーコンディショナをお使いの場合に、パワーコンディショナごとの発電量を確認できます。
蓄電池のみ接続しているパワーコンディショナは表示されません。

ソーラー　設定　履歴

20xx/11/12 08:35

パワコン別発電量　20xx年11月10日　日間　月間　年間

	パワコン1 (kWh)	パワコン3 (kWh)
6時	0.1	0.2
7時	0.3	0.3
8時	0.5	0.6
9時	0.7	0.8
10時	1.5	1.3
11時	2.1	2.0
当日	13.2	12.0

戻る　前へ　次へ

◆画面の説明（パワーコンディショナ別表示（グラフ））

- 発電量（パワーコンディショナ別）グラフ：
  選択されているパワーコンディショナの発電電力量を折れ線グラフで表示します。

◆ボタンの機能（パワーコンディショナ別表示）

- 日間 月間 年間：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る：発電／消費量グラフ表示に戻ります。
- パワコン○：表示しているパワーコンディショナを切り替えます。
- 数値：表示形式を数値表示に切り替えます。

◆画面の説明（パワーコンディショナ別表示（数値））

- 発電量表：
  各パワーコンディショナの期間あたりの発電電力量を示します。

◆ボタンの機能（パワーコンディショナ別表示（数値））

- 日間 月間 年間：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る：パワコン別表示（グラフ）表示に戻ります。
- 前へ：前の期間（6時間前／6日前／6ヶ月前）の履歴に表示を切り替えます。
- 次へ：次の期間（6時間後／6日後／6ヶ月後）の履歴に表示を切り替えます。

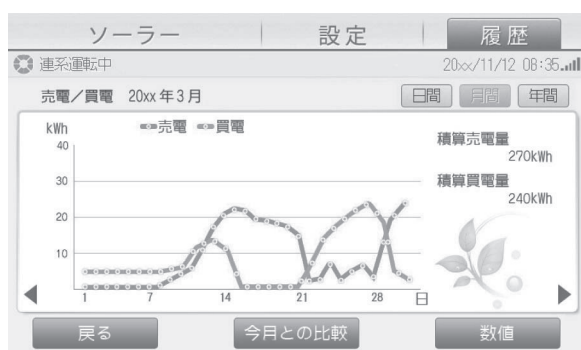
メモ

●画面内で、パワーコンディショナのことを、パワコンと表記している箇所があります。

■ 売電量（うりでん）／買電量（かいでん）の履歴を見る

売電量および買電量の履歴を確認できます。

1 **履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で［売電／買電］をタップする**

売電 / 買電が表示されます。

2 **履歴を確認する**

◆画面の説明（グラフ表示）

- 売電／買電グラフ：
  売電量および買電量を折れ線グラフで表示します。
- 積算売電量：
  期間の初めからの積算売電量です。
- 積算買電量：
  期間の初めからの積算買電量です。

◆ボタンの機能（グラフ表示）

- ［日間］［月間］［年間］：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- ［戻る］：履歴のトップ画面に戻ります。
- ［今月との比較］：表示形式を比較表示に切り替えます。表示しているグラフの期間によってボタンの名前が変わります。
- ［数値］：表示形式を数値表示に切り替えます。

◆画面の説明（数値表示）

- 売電量：
  期間あたりの売電電力量です。
- 買電量：
  期間あたりの買電電力量です。

◆ボタンの機能（数値表示）

- 日間 月間 年間：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の３種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る：売電量／買電量グラフ表示に戻ります。
- 前へ：前の期間（６時間前／６日前／６ヶ月前）の履歴に表示を切り替えます。
- 次へ：次の期間（６時間後／６日後／６ヶ月後）の履歴に表示を切り替えます。

◆画面の説明（比較表示）

- 比較グラフ：
  選択している期間の売電量または買電量を棒グラフで、比較対象の同期間の売電量または買電量を折れ線グラフで表示します。

◆ボタンの機能（比較表示）

- 日間 月間 年間：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の３種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る：売電量／買電量グラフ表示に戻ります。
- 売電量：売電量の比較グラフに切り替えます。
- 買電量：買電量の比較グラフに切り替えます。

環境貢献度の履歴を見る

発電量から換算した CO_2（二酸化炭素）削減量の履歴を確認できます。さらに、それを樹木の本数や石油消費の削減量に置きかえた環境貢献度を確認できます。

1 履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で［環境貢献］をタップする

環境貢献度が表示されます。

2 履歴を確認する

◆画面の説明

- CO_2 削減量：
  太陽光発電を石油火力発電と比較した場合の排出 CO_2 の削減量です。
- 成木にすると：
  CO_2 削減量の値が、樹木何本分の CO_2 の吸収量に相当するかを示したものです。
- 石油にすると：
  CO_2 削減量の値から、火力発電で使用する石油をどれだけ節約できたかを求めたものです。

◆ボタンの機能

- ［戻る］：履歴のトップ画面に戻ります。

メモ

● CO_2 削減量、成木換算値、石油換算値の計算式は以下のとおりです。
CO_2 削減量 ：「太陽電池の発電量（kWh）」×「0.5045kgkg-CO_2/kWh」※
成木換算値 ：「CO_2 削減量 (kg-CO_2)」/「14(kg-CO_2/ 本)」
石油換算値 ：「太陽電池の発電量（kWh）」×「0.227（ℓ /kWh）」
※ CO_2 削減量の表示は目安であり、結晶太陽電池をもとにした換算係数（0.5045kg-CO_2/kWh）で計算されております。

電気料金換算値を見る

電気料金に換算した自家消費量、売電量、買電量の各値を確認できます。グラフ表示では１年ごとの表示、数値表示では６ヶ月ごとの表示になります。
また、電力量および料金の値は目安です。設定された電気料金換算値にもとづいて計算するため、実際の電気料金とは異なります。

初期設定では、換算用の電気料金は設定されていません。確認するには、あらかじめ換算料金を設定しておく必要があります。（☞ 48 ページ）

1 **履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で 電気料金換算 をタップする**

電気料金換算画面が表示されます。

2 **履歴を確認する**

	自家消費量換算 (円)	売電量換算 (円)	買電量換算 (円)
1月	7500	11000	17000
2月	7500	10000	14000
3月	9500	9000	13000
4月	10000	16000	12000
5月	11000	14000	11000
6月	9000	11000	8000
当年	45200	124000	146000

◆画面の説明（グラフ表示）

- 電気料金換算（めやす）グラフ：
  換算料金を棒グラフで表示します。
- 自家消費量換算：
  発電した電力量のうち、自家で消費した分の電力量を料金に換算した値です。
- 売電量換算：
  売電電力量を料金に換算した値です。
- 買電量換算：
  買電電力量を料金に換算した値です。

◆ボタンの機能（グラフ表示）

- ◀：前の期間（前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る：履歴のトップ画面に戻ります。
- 数値：表示形式を数値表示に切り替えます。

◆画面の説明（数値表示）

- 自家消費量換算：
  発電した電力量のうち、自家で消費した分の電力量を料金に換算した値です。
- 売電量換算：
  売電電力量を料金に換算した値です。
- 買電量換算：
  買電電力量を料金に換算した値です。

◆ボタンの機能（数値表示）

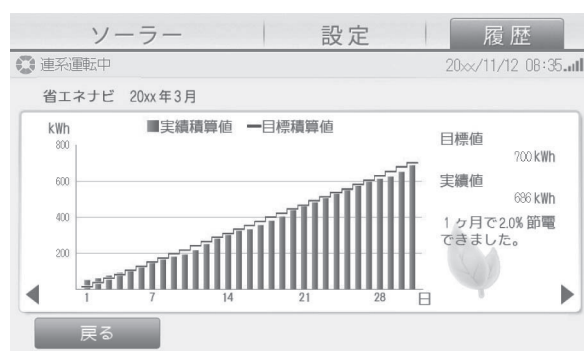
- ◀：前の期間（前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る：数値表示からグラフ表示に戻ります。
- 前へ：前の期間（６カ月前）の履歴に切り替えます
- 次へ：次の期間（６カ月後）の履歴に切り替えます
- 積算：自家消費量換算値と売電量換算値の積算値を表示します。この製品で発電を開始してからの総計になります。
  戻る で数値表示に戻ります。

メモ

●従量電灯契約には対応していません。

●電気料金の計算は実際の電気料金の計量期間とは異なりますので、計算した金額と実際の料金は異なります。

省エネナビの履歴を見る

設定した目標消費量に対して、どれだけ省エネを達成できているか確認できます。1ヶ月ごとの表示になります。
初期設定では、目標消費量は設定されていません。省エネ目標設定で目標消費量を設定してください。(☞51 ページ)

1 **履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で 省エネナビ をタップする**

省エネナビ画面が表示されます。

2 **省エネナビを確認する**

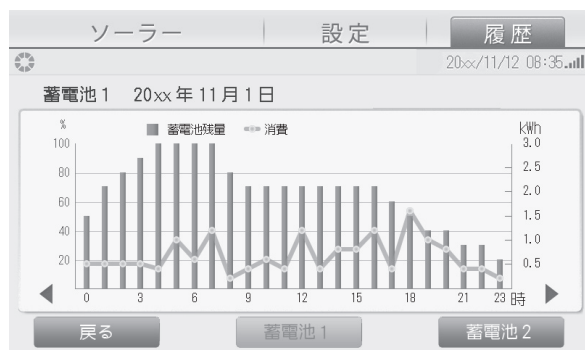
◆画面の説明(比較表示)

- 省エネナビグラフ：
  目標値を折れ線グラフで、実績値を棒グラフで表示します。
- 目標値：
  設定した目標消費電力量(☞51 ページ)です。
- 実績値：
  その月で実際に使用した電力量です。

◆ボタンの機能

- ◀：前月の表示に切り替えます。
- ▶：翌月の表示に切り替えます。
- 戻る：履歴のトップ画面に戻ります。

蓄電池残量の履歴を見る

蓄電池残量の履歴が確認できます。

1 履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で［蓄電池残量］をタップする

蓄電池残量が表示されます。

2 履歴を確認する

◆画面の説明

- 蓄電池残量
  日間の蓄電池残量、消費量を表示します。
  蓄電池残量を棒グラフで表示し、
  消費量を折れ線グラフで表示します。
  目盛り補助線は左側縦軸の蓄電池残量に基づいて引かれています。
  蓄電池残量は 10%刻みで表示します。

◆ボタンの機能

- ◀：前日の表示に切り替えます。
- ▶：翌日の表示に切り替えます。
- ［戻る］：履歴のトップ画面に戻ります。
- ［蓄電池○］：蓄電池残量の履歴を確認する蓄電池を選択します。
  蓄電池を 1 台のみ接続している場合は表示されません。

運用開始からの履歴を見る

本製品で運用を開始してからの積算発電量や積算消費量、積算売電量／買電量などを確認できます。

1 履歴のタブをタップして、履歴のトップ画面で［運用開始からの積算］をタップする

運用開始からの積算量が表示されます。

2 履歴を確認する

◆画面の説明

- 発電量：
  運用開始からの積算発電電力量です。
- 消費量：
  運用開始からの積算消費電力量です。
- 売電量：
  運用開始からの積算売電電力量です。
- 買電量：
  運用開始からの積算買電電力量です。
- 自給率：
  運用開始からの電力自給率です。
  （発電量＋外部発電量）÷消費量× 100
  の値になります。
- 外部発電量：
  運用開始からの外部発電機の積算発電電力量です。外部発電機をお使いの場合に表示されます。

◆ボタンの機能

- ［戻る］：履歴のトップ画面に戻ります。

メモ

●運用開始からの積算量（発電量）と運用開始記念日の積算発電量は異なる場合があります。

各種の設定をする

※蓄電池システムを接続している場合は、蓄電池運転モード、蓄電池運転情報、蓄電池キープ残量、蓄電池実容量診断の設定ができます。

※一体型パワーコンディショナと蓄電池を接続している場合は、自立運転自動切替の設定ができます。

※ネットワーク設定は 63 ～ 72 ページをご確認ください。

日時の設定を修正する

マルチエネルギーモニタにはあらかじめ日付が設定されていますが、実際の日時と異なるときは、以下の操作で修正してください。

ご注意

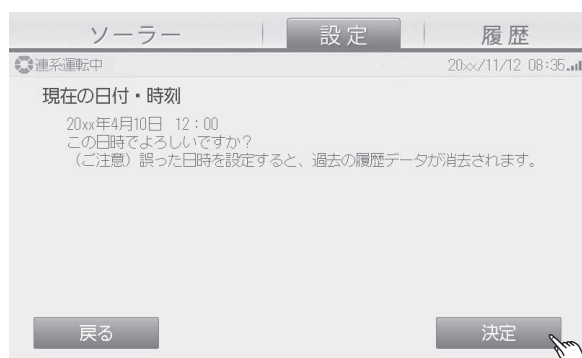
◆日時の修正時に、誤った日時を設定すると、履歴データが消えてしまうことがあります。消えた履歴データは元に戻せませんのでご注意ください。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 日付・時刻 をタップする

日付・時刻の設定画面が表示されます。

2 日時を修正して、 決定 をタップする

「年」の入力枠をタップし、右のテンキーで年を入力します。次に「月」の入力枠をタップし、右のテンキーで入力します。同様に、「日」「時」「分」を入力し、設定が完了したら、 決定 をタップします。

- 戻る ：設定内容を反映せずに、設定のトップ画面に戻ります。

3 画面の内容を確認して 決定 をタップする

日時を修正して、設定のトップ画面に戻ります。修正した日時が画面右上に表示されます。

- 戻る ：日付・時刻設定画面に戻ります。

メモ

● Web モニタリングサービスをご利用の場合は、モニタリングセンターと通信したときに、自動的に日時が修正されることがあります。

ディスプレイの明るさと点灯時間を設定する

ディスプレイ表示は、見やすい明るさに設定できます。
また、ディスプレイには、一定時間マルチエネルギーモニタを操作しないと、省エネのため自動的に表示を消す機能があります。表示を消すまでの時間は、使いやすい長さに設定できます。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 明るさ点灯時間 をタップする

明るさと点灯時間の設定画面が表示されます。

2 画面の明るさと点灯時間を選択して、 決定 をタップする

画面の明るさは５段階に変わります。初期設定では明るさ４に設定されています。
＋ をタップすると、明るくなり、
− をタップすると、暗くなります。
スライダーを指で操作することもできます。

点灯時間は初期設定では「１分」に設定されています。

点灯時間を３分以上に設定した場合、１分間マルチエネルギーモニタを操作しないと、画面の明るさが半減します。

- 決定 ：設定内容を反映して、設定のトップ画面に戻ります。
- 戻る ：設定内容を反映せずに、設定のトップ画面に戻ります。

● 待ち受け画像（☞ 45 ～ 46 ページ）を表示させるときは、点灯時間を 10 分以上に設定してください。

運用開始日を変更する

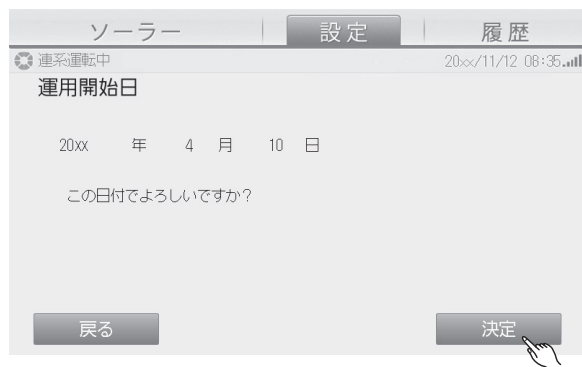
最初に通電された日付が自動で設定されています。運用開始日を変更したいときは、以下の操作をしてください。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 運用開始日 をタップする

運用開始日の設定画面が表示されます。

2 運用開始日を入力し、 決定 をタップする

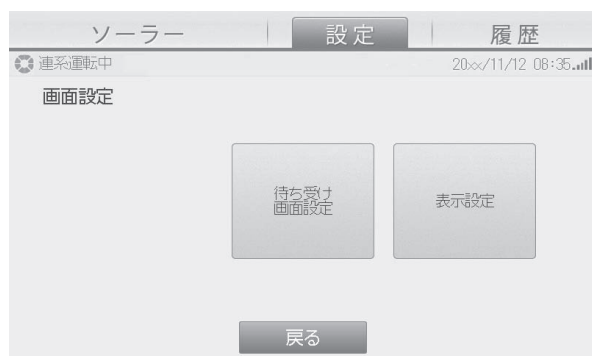
「年」の入力枠をタップし、右のテンキーで年を入力します。
次に、「月」の入力枠をタップし、右のテンキーで月を入力します。最後に､「日」の入力枠をタップし、右のテンキーで、日を入力します。設定が完了したら、 決定 をタップします。

- 戻る ：設定内容を反映せずに、設定のトップ画面に戻ります。

3 画面の内容を確認して 決定 をタップする

運用開始日が設定され、設定画面に戻ります。

- 戻る ：運用開始日入力画面に戻ります。

画面設定をする

待ち受け画面、ソーラートップ画面の発電電力の表示形式を設定します。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 画面設定 をタップする

画面設定のメニュー画面が表示されます。

※以下の条件では、待ち受け画面設定に直接移行します。

- 太陽電池を接続したパワーコンディショナ１台のみ、または、太陽電池を接続したパワーコンディショナ１台と蓄電池システムを接続しているとき
- 蓄電池システムのみ、または蓄電池システムと外部発電機のみ接続しているとき

2 設定する項目をタップする

（1）待ち受け画面設定（☞ 46 ページ）

（2）表示設定（☞ 47 ページ）

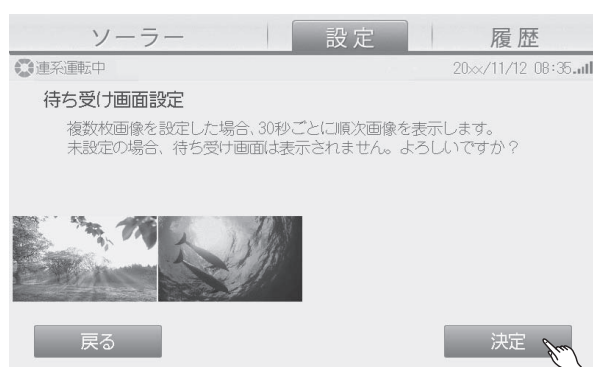
もくじ
はじめに
各部の名前とはたらき
システムを使う
発電実績
設定する
Webモニタリングサービス
このようなときは
索引

(1) 待ち受け画面設定

待ち受け画像を表示させるときは、ディスプレイの点灯時間(☞ 43 ページ)を 10 分以上に設定してください。
約 5 分間マルチエネルギーモニタを操作しないと、ディスプレイに待ち受け画像が表示されます。表示できる画像はあらかじめ 2 種類用意されており、Web モニタリングサービス(☞ 59 ~ 83 ページ)をお使いのときは、さらにお好きな画像を 4 種類使用できます。
初期設定では、待ち受け画像を表示しない設定になっています。

1 **表示種別および画像を選択して、決定 をタップする**

「表示しない」を選んだときは、待ち受け画像を表示しない設定になります。
「プリセット画像」を選んだときは 2 種類の画像が表示され、「ダウンロード画像」を選んだときは最大 4 種類の画像が表示されます。
画像を複数枚選択することで、待ち受け画像を自動切替表示することができます。

- 戻る :設定内容を反映せずに、画面設定選択画面に戻ります。

2 **決定 をタップする**

「複数枚画像を設定した場合、30 秒ごとに順次画像を表示します。未設定の場合、待ち受け画面は表示されません。

- 決定 :設定内容を反映して、設定のトップ画面に戻ります。
- 戻る :待ち受け画面設定に戻ります。

メモ

- パソコン用サイトから登録された待ち受け画像は、夜間(22 時~ 4 時)のモニタリング定期通信でマルチエネルギーモニタに転送されます。そのため、夜間に待ち受け画像を登録すると、翌日の夜間までデータ転送されないことがあります。また、アップロードした画像によっては待ち受け画面に正しく表示されないことがあります。
- ダウンロード画像は最大 4 枚まで登録されます。4 枚を超える画像をダウンロードした場合は、登録の古い順に削除されます。

(2) 表示設定

太陽電池を接続したパワーコンディショナを複数台お使いの場合は、トップ画面の発電電力値を各パワーコンディショナの合計で表示するか、パワーコンディショナごとに表示するかを選択できます。
なお、パワーコンディショナを 1 台のみお使いの場合は、「個別表示」は表示されません。

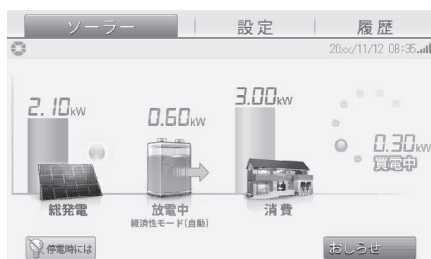
1 表示設定を選び、タップする

- トータル表示（外部発電含まず）
  発電電力値を各パワーコンディショナの合計で表示するときは、この項目を選びます。
- トータル表示（外部発電含む）
  発電電力値を各パワーコンディショナと外部発電機の合計で表示するときは、この項目を選びます。
- 個別表示
  発電電力値をパワーコンディショナごとに表示するときは、この項目を選びます。

初期設定では「トータル表示（外部発電含まず）」に設定されています。

- 戻る ：画面設定画面に戻ります。

外部発電機が接続されていないときは､「トータル表示（外部発電含む）」「トータル表示（外部発電含まず）」は表示されず、「トータル表示」と表示されます。

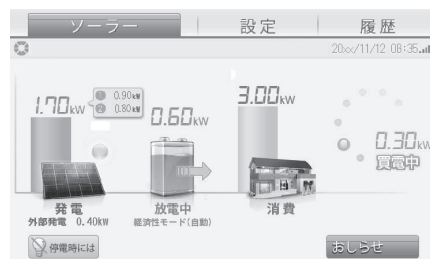
トータル表示（外部発電含まず）

各パワーコンディショナの合計で表示

個別表示

パワーコンディショナごとに表示

トータル表示（外部発電含む）

各パワーコンディショナと外部発電機の合計で表示

メモ

● 複数のパワーコンディショナを接続しているときは、トップ画面左上の運転状態は表示されません（☞ 24 ページ）。運転状態表示ランプで各パワーコンディショナの運転状態を表示します（☞ 14 ページ）。

料金換算を設定する

初期設定では、換算用の電気料金は設定されていません。電力量を電気料金換算値で見る（☞ 36 ページ）には、あらかじめ以下の操作で換算料金を設定しておく必要があります。
換算用の料金設定は、電力会社の料金に合わせて手動で設定するほか、Web モニタリングサービス（☞ 59 ～ 83 ページ）をご利用の方は、当社ウェブサイトの設定を使用することもできます。
設定を変更すると、当月 1 日から現在までの電気料金換算データを再計算します。当月中であれば何度でも再計算されますが、前月以前の電気料金換算データは再計算されませんのでご注意ください。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 料金換算 をタップする

料金換算の設定画面が表示されます。

2 料金換算設定方法を選ぶ

［簡易設定］にタップすると電気料金換算の簡易設定画面が表示されます。
Web モニタリングサービス（☞ 59 ～ 83 ページ）をご利用のときは、［詳細設定（Web サイトで設定）］をタップした後、当社 Web サイトの設定手順に従って設定してください。（☞ 77 ページ）

- 戻る ：設定のトップ画面に戻ります。

3 換算値を入力して、 決定 をタップする

買電料金および売電料金を設定できます。
買電料金は最大 4 つの時間に分けて設定することができます。
変更したい値の入力枠をタップすると設定画面に移行するので、値を入力し、 決定 をタップします。

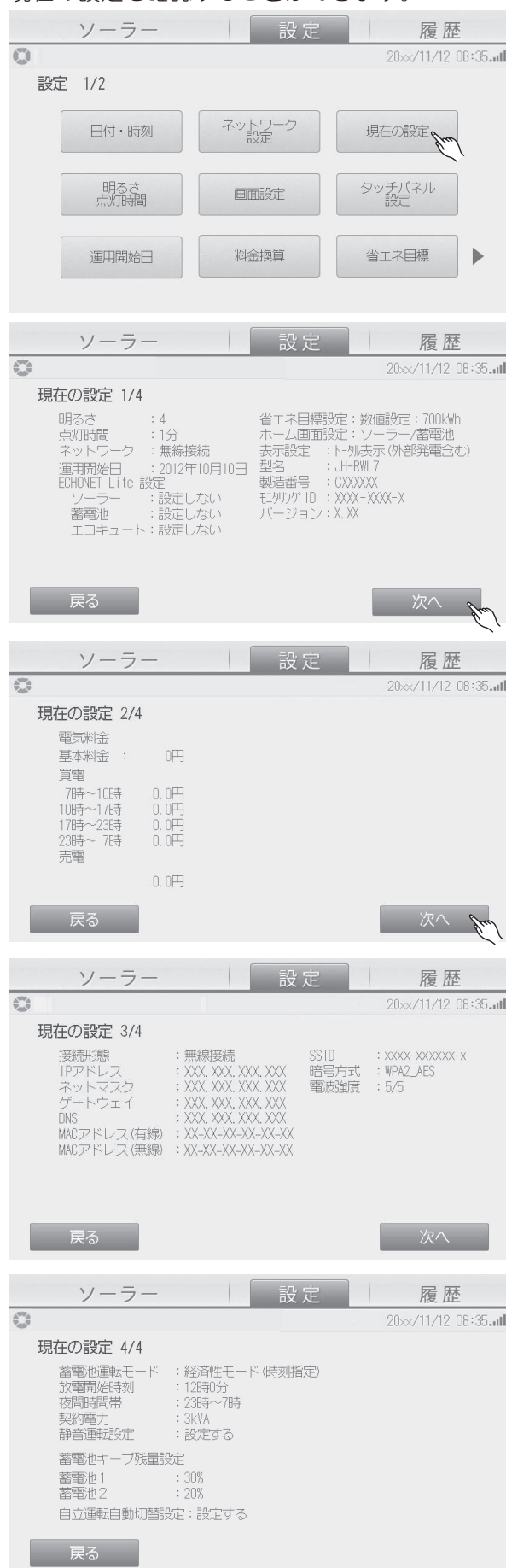
※時間区分を減らす（たとえば、4 区分から 3 区分に減らす）場合は、 初期化 にタップして、入力数値を全て消してから入力しなおしてください。
※時間区分は 24 時間表示で入力してください。

- 戻る ：料金換算設定画面に戻ります。

メモ

● 換算値の設定をおこなわないと換算値は 0 のままになります。
● 時間区分に不足や基本料金、売電に入力もれがあると 決定 にタップできません。

現在の設定を見る

現在の設定を確認することができます。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 現在の設定 をタップする

現在の設定画面が表示されます。

2 設定を確認する

現在の設定の画面は 4 画面あります。
次へ をタップすると、次の画面に進みます。
最初の画面で 戻る をタップすると、設定のトップ画面へ戻ります。
蓄電池システムが接続されていない場合は、 4 画面目は表示されません。
太陽光発電システム、蓄電池システムの接続状況によって、表示内容は異なります。

有線接続をご利用の場合には、SSID、暗号方式、電波強度は表示されません。

放電開始時刻は「経済性モード（時刻指定）」以外では表示されません。
蓄電池キープ残量設定は、蓄電池が 1 台のみ接続されている場合は、「蓄電池２」が表示されません。
自立運転自動切替設定は、一体型パワーコンディショナと蓄電池を接続していない場合は、表示されません。

タッチパネルの設定をする

タッチパネルをより正確に動作させるため、タッチパネルの位置補正をおこないます。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で タッチパネル設定 をタップする

タッチパネル設定の画面が表示されます。

2 画面の指示に従って、十字ポイントをタップする

十字ポイントを最後の「中央」までタップすると、設定のトップ画面に戻ります。
タッチパネルの位置補正をおこなうので、正確に十字の中心をタップしてください。

省エネ目標を設定する

省エネナビを利用するときの省エネ目標の設定をおこないます。
1 ヶ月の目標消費量を設定します

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 省エネ目標 をタップする

省エネ目標設定画面が表示されます。

2 省エネ目標の設定方法を選択して、ボタンをタップする

［前月の消費量］または［前年同月の消費量］をタップすることで過去の消費量を目標消費量に設定することができます。
前月や前年同月の消費量のデータを使用しない場合には、［数値設定］を選択して、希望の目標値を設定できます。
選択したボタンの枠が青色に変わります。

※前月の消費量データがない場合は［前月の消費量］は選択できません。
前年同月の消費量データがない場合は［前年同月の消費量］は選択できません。

- 戻る ：設定のトップ画面に戻ります。

ソーラー　設定　履歴
連系運転中　20xx/11/12 08:35
省エネ目標設定
1800 kwh
7 8 9
4 5 6
1 2 3
0 . ← 消去
戻る　決定

3 ［数値設定］をタップした場合は、省エネの目標値を入力して 決定 をタップする

入力枠をタップし、テンキーで目標値を入力し、決定 をタップする。

- 決定 ：設定内容を反映して、前画面に戻ります。
- 戻る ：設定内容を反映せずに、省エネ目標設定画面に戻ります。

ECHONET Lite の設定をする

太陽光発電システムと蓄電池システムに対して、ECHONETLite 対応機器からの制御を受け付けるように設定をします。
なお、設定内容に関係なく、ECHONETLite 対応機器で、ソーラー、蓄電池の情報は表示できます。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で▶をタップして設定画面 2/2 へ移動し、ECHONET Lite 設定 をタップする

- ◀：設定画面 1/2 に戻ります。

2 ECHONET Lite 対応機器からの制御を有効にするか、しないかを選択して 決定 をタップする

初期設定では、すべて［設定しない］に設定されています。
蓄電池の ECHONET Lite 設定を［設定する］から［設定しない］に変更すると、蓄電池運転モードは「経済性モード（自動）」に移行します(☞ 53 ページ)。

- 決定：設定内容を反映して、設定画面 2/2 に戻ります。
- 戻る：設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻ります。

※太陽光発電システム、蓄電池システムがそれぞれ接続されていない場合は、各設定項目が表示されません。

※ ECHONETLite 設定を有効にすると、当社製クラウド HEMS（JHRTP4 ／ RTP5）などの ECHONETLite 対応機器から制御することができます（2014 年 7 月時点）。
その場合、マルチエネルギーモニタでおこなった設定が変更される場合があります。
詳しい制御内容等は、対応機器の取扱説明書を参照してください。

ただし、ECHONETLite 対応機器からの制御指示に対し、状況によっては、指示通りに動かない場合があります。
例）売電中の蓄電池放電など本システムの動作として矛盾する指示や、本システムが対応していない機能など

● ECHONETLite 対応機器で、情報の表示や制御をおこなうためには、あらかじめネットワークの設定（☞ 63 ～ 67 ページ）をする必要があります。

蓄電池運転モードを設定する

蓄電池運転モードを設定します。

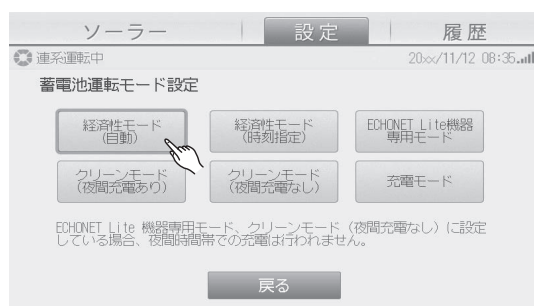
1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で▶をタップして設定画面 2/2 へ移動し、［蓄電池運転モード設定］をタップする

- ◀：設定画面 1/2 に戻ります。

2 蓄電池運転モードを選択する

選択すると、外枠が青色に変わり、蓄電池モードが設定され、設定画面 2/2 に戻ります。
蓄電池運転モード（☞ 23 ページ）には下記の６つのモードがあります。

- ●経済性モード（自動）
- ●経済性モード（時刻指定）
- ●ECHONET Lite 機器専用モード
- ●充電モード
- ●クリーンモード（夜間充電あり）
- ●クリーンモード（夜間充電なし）

- ［戻る］：設定画面 2/2 に戻ります。

※ 初期設定では、「経済性モード（自動）」に設定されています。
※ ECHONETLite 機器専用モードに変更すると、当社製蓄電池システムは待機状態となります。ECHONET Lite 対応機器から、充電・放電の操作をおこなうことができます。
※ ECHONETLite 機器専用モードに変更すると、蓄電池の ECHONETLite 設定が「設定する」に変更されます（☞ 52 ページ）。

3 ［経済性モード（時刻指定）］をタップした場合は、蓄電池の放電開始時刻を設定する

「時」、「分」の入力枠にそれぞれタップし、24 時間表示で時刻をテンキーで入力し、［決定］をタップします。
夜間時間帯内の時刻は設定できません。
夜間時間帯が 23 時～ 7 時の場合、放電開始時刻には 7 時 01 分～ 22 時 59 分が設定可能です。

- ［決定］：設定内容を反映して、設定画面2/2 に戻ります。
- ［戻る］：設定内容を反映せずに、前画面に戻ります。

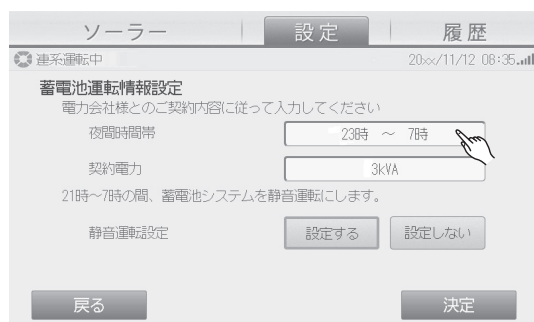
メモ

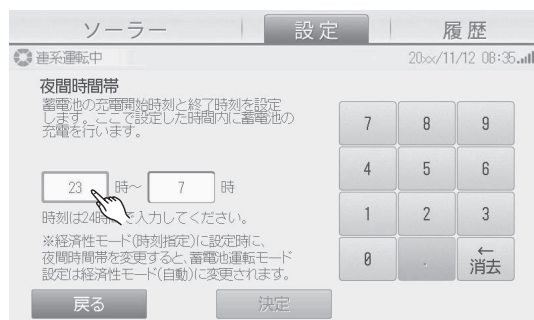
- ●一体型パワーコンディショナをお使いの場合、蓄電池運転モードを切り替えると、一時的に発電電力が 0kW になります。
- ●蓄電池運転モードを充電モードに設定しているときに、マルチエネルギーモニタが再起動すると、経済性モード（自動）に変更されます。

蓄電池運転情報を設定する

電力会社とのご契約に従って、夜間時間帯と契約電力を入力します。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ▶ をタップして設定画面 2/2 へ移動し、 蓄電池運転情報設定 をタップする**

- ◀ ：設定画面 1/2 に戻ります。

2 **「夜間時間帯」の入力枠をタップする**

夜間時間帯の入力画面に移行します。

3 **電力会社とのご契約内容に従って、夜間時間帯を 24 時間表示で入力する**

開始時刻枠にタップし、開始時刻を入力します。終了時刻枠にタップし、終了時刻を入力します。開始および終了時刻が入力できれば、 決定 をタップし、前画面に戻ります。

- 戻る ：設定内容を反映せずに、前画面に戻ります。

蓄電池の夜間時間帯を短く設定すると、蓄電池の充電が十分におこなわれない場合があります。蓄電池の充電を十分おこなうためには、夜間時間帯の充電開始時刻を、電力会社とのご契約内容に合わせてください。

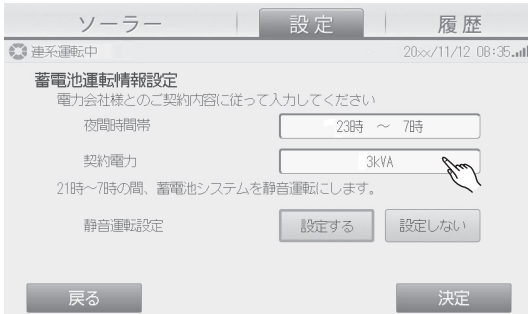
ご注意

蓄電池運転モードを経済性モード（時刻指定）に設定後に、夜間時間帯を変更すると、蓄電池運転モードは経済性モード（自動）に変わり、経済性モード（時刻指定）の放電開始時刻は消去されますのでご注意ください。

4 「契約電力」の入力枠をタップする

契約電力が未設定か、変更が必要な場合は、入力枠にタップし、契約電力設定画面に移行します。
夜間時間帯のみ変更する場合は、 決定 をタップし、設定画面 2/2 に戻ります。

- 戻る ：設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻ります。

ソーラー
設定
履歴
連系運転中
20xx/11/12 08:35
契約電力設定
ご契約内容を入力してください。
kVA
1～50の値を入力してください。
A（アンペア）契約のお客様は、kVAに換算して入力してください。
例）10A=1kVA
7 8 9
4 5 6
1 2 3
0 . ← 消去
戻る
決定

5 契約電力枠にタップし、テンキーで契約電力を入力する

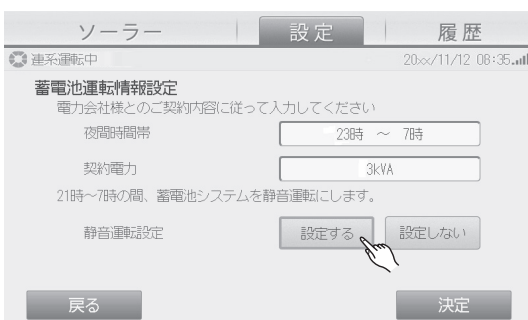
入力範囲は 1 ～ 50kVA です。
A（アンペア）契約のお客様は kVA に換算して入力してください。（例 10A → 1kVA）

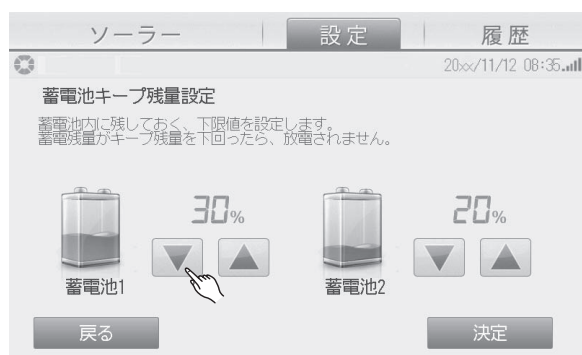
- 決定 ：設定内容を反映して前画面に戻ります。
- 戻る ：設定内容を反映せずに、前画面に戻ります。

※契約内容と異なる値を入力すると、充電されにくくなったり、ブレーカーが落ちる恐れがあります。

6 21 時～ 7 時までは蓄電池システムを静音運転にするか、しないかを設定する

静音運転ではパワーコンディショナのファンの回転数を抑えた運転をおこないます。静音運転にすると、充電が十分にできない場合があります。
初期設定では「設定する」に設定されています。

- 決定 ：設定内容を反映して、設定画面 2/2 に戻ります。
- 戻る ：設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻ります。

蓄電池キープ残量を設定する

非常時に備えて、残しておく蓄電池残量を設定します。
ただし、蓄電池実容量診断中は、蓄電池キープ残量の設定によらず、0%まで放電をおこないます。
(☞57 ページ)

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で▶をタップして設定画面2/2へ移動し、[蓄電池キープ残量設定]をタップする

- ◀：設定画面 1/2 に戻る

2 蓄電池に残しておく下限値を設定する

[▲][▼]をタップすると、10%刻みで上下します。
設定範囲は 0 ～ 100%です。初期設定では 20%に設定されています。100%に設定すると、放電はしません。
蓄電池が 1 台のみ接続されている場合は蓄電池 2 は表示されません。

- [▲]：10%刻みで増加します
- [▼]：10%刻みで減少します
- [決定]：設定内容を反映し、設定画面 2/2 に戻る
- [戻る]：設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻る

● 蓄電池キープ残量を設定していても、蓄電池保護のため、設定した蓄電池キープ残量より前に放電を停止する場合があります。

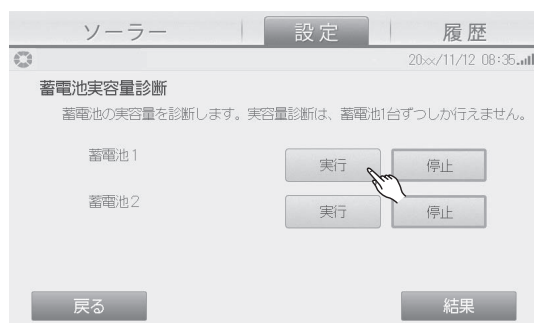
蓄電池の実容量を診断する

蓄電池の容量が減っている可能性がないか確認できます。

ご注意

◆診断をおこなうと、蓄電池運転モード（☞ 53 ページ）の設定内容によらず、すべて放電したのち、満充電します。そのため、電力会社の契約で昼間の割高な電力から充電することもあります。
また、蓄電池キープ残量設定によらず、0%まで放電をおこないます。

◆診断中の蓄電池が接続されているパワーコンディショナを停止しないでください。診断が中止します。

◆ご家庭の電気使用量が少ない（多い）場合に、放電（充電）時間がそれぞれ 48 時間以上おこなわれると、診断を中止します。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ▶ をタップして設定画面 2/2 へ移動し、［蓄電池 実容量診断］をタップする**

・◀ ：設定画面 1/2 に戻ります。

2 **診断したい蓄電池を選び、[実行] をタップする**

診断中の蓄電池には､「診断中」と表示されます。
診断をキャンセルする場合は、[停止] をタップしてください。
初期設定では、すべて [停止] に設定されています。
1 台の蓄電池が「診断中」の場合は他の蓄電池は診断できません。
蓄電池が 1 台のみ接続されている場合は、「蓄電池 2」は表示されません。

- ［実行］：蓄電池の実容量診断をおこないます。
- ［停止］：蓄電池の実容量診断を停止します。
- ［結果］：診断結果を表示します。
- ［戻る］：設定画面 2/2 に戻ります。

	診断日	結果
蓄電池 1	20XX/11/15	良好
蓄電池 2	20XX/01/15	良好

3 **［結果］をタップして、診断結果を確認する**

診断をおこなった日にちと､結果が表示されます。
蓄電池が 1 台のみ接続されている場合は、「蓄電池 2」は表示されません。

◆診断結果

良好： 蓄電池の容量は正常範囲内です。

要点検： 蓄電池の容量が減っている可能性があります。
修理相談センター（☞ 108 ページ）にご連絡ください。

診断中： 診断をおこなっている途中です。

診断失敗／診断中止：
診断を失敗／中止しました。もう一度おこなう場合は、前ページに戻り、実行してください。

- ［戻る］：前画面に戻ります。

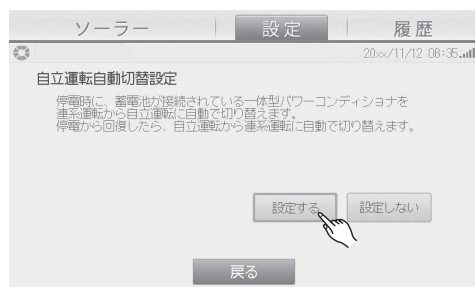
自立運転の自動切り替えを設定する

停電時に、連系運転と自立運転を自動で切り替える設定をおこないます。
一体型パワーコンディショナと蓄電池を接続している場合のみ設定できます。

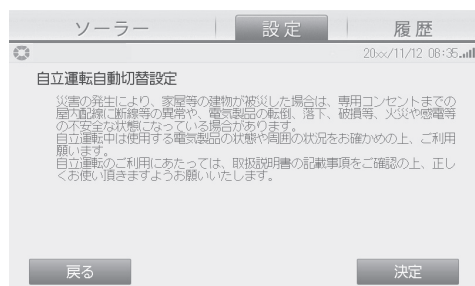
ご注意

◆専用コンセントには、自動で給電された場合に不安定になる可能性がある機器は接続しないでください。
◆蓄電池残量がなくなったときなど電力供給が停止した場合は、安全のため機器の電源をお切りください。
蓄電池より電力が供給されますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給が停止します。その後、停電が復旧した場合や翌朝日の出とともに太陽光発電がはじまると、自動的に電力が供給されます。
◆自立運転の注意事項（☞ 89 ～ 90 ページ）をよくお読みになってご使用ください。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ▶ をタップして設定画面 2/2 へ移動し、［自立運転 自動切替設定］をタップする

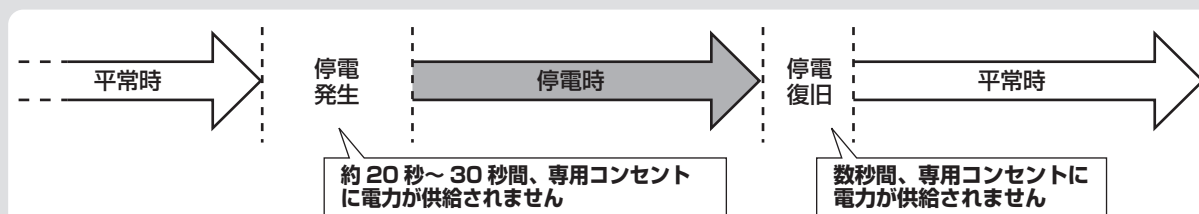
- ◀：設定画面 1/2 に戻ります。

2 自動切り替え設定をおこなう場合は［設定する］、おこなわない場合は［設定しない］をタップする

自立運転の自動切り替えをおこなっている間は、［設定しない］を選択できません。

- ［戻る］：前画面に戻ります。

3 ［設定する］をタップした場合は、自立運転の注意事項（☞ 89 ～ 90 ページ）をよくお読みになって、［決定］をタップする

- ［決定］：設定内容を反映して、設定画面 2/2 に戻ります。
- ［戻る］：設定を反映せずに、前ページに戻ります。

ご注意

◆ 自立運転自動切り替えを設定した場合でも、運転モードの自動切り替えにより、一時的に専用コンセントに電力が供給されない時間があります。

※専用コンセント以外のコンセントは、停電時はお使いいただけません。

メモ

● 自立運転の自動切り替えを設定した後に、蓄電池を追加・交換した場合は、再度、自動切り替え設定をおこなってください。

Webモニタリングサービスを使う

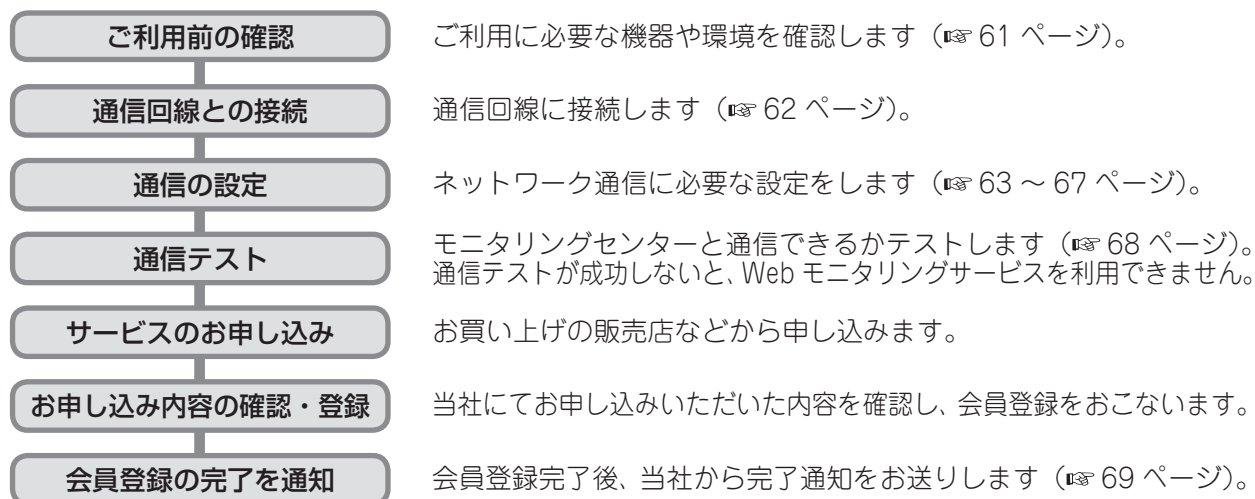
Web モニタリングサービスを使う

Web モニタリングサービスとは

**Web モニタリングサービスをお申し込みいただくと、ご家庭とモニタリングセンターの間で自動通信がおこなわれ、定期的なシステムチェックにより、万一の故障などにも、すばやい対応が受けられます。
太陽光発電システムをお使いの場合は、サービスをご利用いただくと、パソコンやテレビ（「AQUOS City」または「AQUOS.jp」対応）の画面で詳細な履歴を見る、携帯電話（スマートフォンはのぞく）で外出先から発電量をチェックする、お好きな画像をマルチエネルギーモニタの待ち受け画像にするなど、この製品の楽しみかたが広がります。
Web モニタリングサービスのご利用には、利用申し込み（無料）が必要です。契約やサービスの詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。**

- 通信回線との接続および設定は、お客様ご自身でおこなっていただくか、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- Web モニタリングサービスに使用する機器の購入費、設置工事費、通信費などについては、お客様負担となります。
- Web モニタリングサービスのご利用※には、別途、シャープ 10 年保証制度または 15 年保証制度への加入が必要です。保証制度は太陽光発電システム、蓄電池システムが対象になります。
- Web モニタリングサービスは、当社の太陽光発電システム、蓄電池システムが対象になります。
- お客様の通信環境によっては、通信が確立せず Web モニタリングサービスをご利用いただけない場合があります。
- モバイル回線では、Web モニタリングサービスはご利用いただけません。有線のブロードバンド回線をご利用ください。常時（24 時間）インターネットに接続できる環境をご準備いただくことが必要です。
- 運用開始後、2 年経過してから Web モニタリングサービスの会員登録が完了した場合、登録完了日より 2 年以上前の履歴データは、Web モニタリングサービスのサイトには反映されません。できるだけ早くお申込みされることをおすすめします。

※ シャープ販売店以外で購入されたお客様は、ご購入先販売店の申し込み方法をご確認ください。申し込みに関しては審査が必要となります。

■ご利用までの流れ

メモ

- PLC アダプター（高速電力線通信アダプター）をご使用になると、通信速度が低下したり、接続できなくなる場合があります。

ご利用前の確認

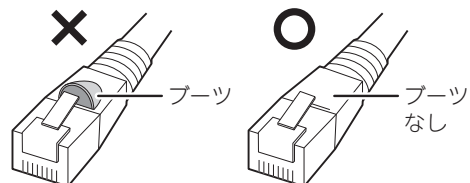
Web モニタリングサービスのご利用には、通信回線の接続や、通信機器の準備が必要です。ご利用の前に、以下の機器や環境が整っているかをご確認ください。

ブロードバンド回線が必要です。
光回線、ADSL、ケーブル TV ネットワークなど、常時接続のブロードバンド回線が必要です。
ダイヤルアップ回線では、Web モニタリングサービスはご利用になれません。
接続機器としてブロードバンドルーターが必要です。ケーブル TV ネットワークをご利用のときは、パソコン以外の機器による回線接続が認められていない場合があります。このような場合やご不明のときは、ケーブル TV のプロバイダーにお問い合わせください。
●ブロードバンドルーターや無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの設定方法に関しては、各ブロードバンドルーターのメーカーへお問い合わせください。

無線 LAN の場合：無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが必要です。
無線 LAN を利用するためには、無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが必要になります。無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧いただき設置・設定をおこなってください。無線 LAN 対応ブロードバンドルーターは、安定したワイヤレス接続のために、動作確認済み機種の無線 LAN 対応ブロードバンドルーターおよび中継器のご使用をおすすめします。
ただし、すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。次のような場合は、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり通信速度が遅くなることがあります。
- コンクリート、鉄筋、金属が使われている構造物での利用
- 障害物の近くへの設置
- 同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉
- 電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ

動作確認済み機種一覧は当社ホームページに記載しています。
（http://www.sharp.co.jp/sunvista/select/monitoring/taiou_kishu_ichiran.html）
※無線 LAN を利用される場合は、LAN ケーブルは必要ありません。

●ネットワーク設定が必要です。
無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが AOSS または WPS、WPS PIN 方式に対応しているときは、無線接続を自動設定できます（☞ 63 ～ 64 ページ）。
無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが手動設定のときは、各値を手動で入力します（☞ 63 ～ 67 ページ）。

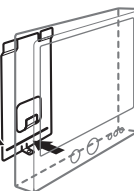
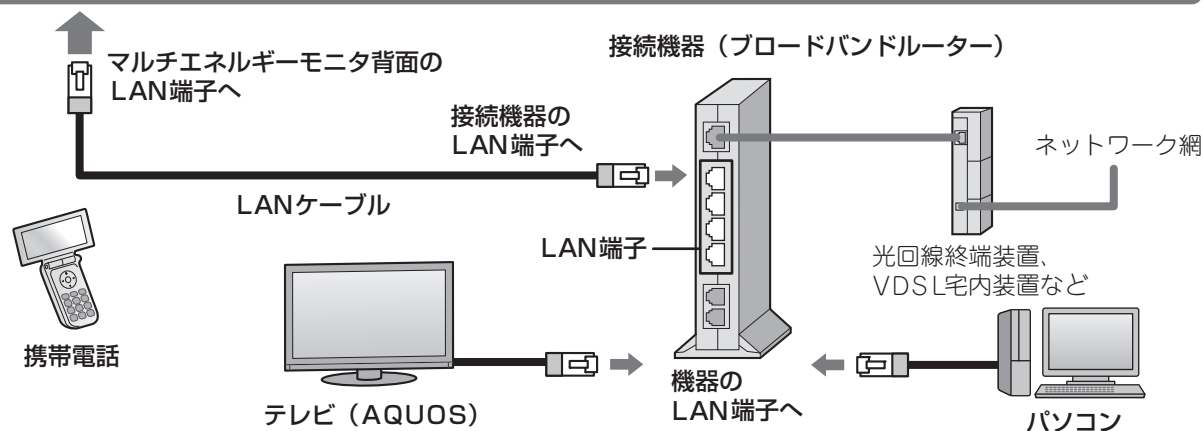
有線 LAN の場合：ブロードバンドルーターと LAN ケーブルが必要です。
マルチエネルギーモニタとブロードバンドルーターの接続用に、LAN ケーブルが必要です。LAN ケーブルは市販品をお買い求めください。また、以下の条件を満たす LAN ケーブルをお使いください。
- カテゴリー 5 ／ 5e ／ 6 ／ 6e ／ 7 のストレートケーブルであること
- 長さが 15m 以上のときは単線タイプを使用すること
- ブーツ（コネクタの保護カバー）がついていないこと

●ネットワーク設定が必要です。
ブロードバンドルーターが DHCP 設定のときは、自動設定で接続できます（☞ 63 ～ 67 ページ）。
ブロードバンドルーターが手動設定のときは、各値を手動で入力します（☞ 63 ～ 67 ページ）

Web サイト閲覧条件および、テレビ、携帯電話の Web モニタリングサービス動作確認済み機種一覧は当社ホームページを確認してください。
（http://www.sharp.co.jp/sunvista/select/monitoring/taiou_kishu_ichiran.html）

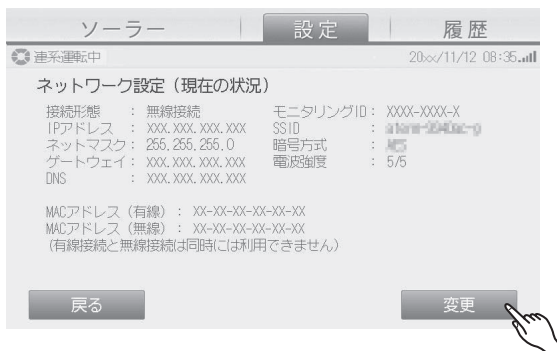
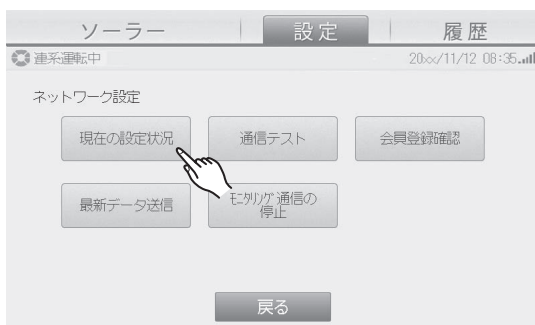
通信回線に接続する

Web モニタリングサービスをご利用の際は、マルチエネルギーモニタを通信回線に接続してください。有線で接続される場合は、マルチエネルギーモニタと通信回線を LAN ケーブルで接続してください。ご利用のサービスに応じて、パソコンやテレビの接続も必要になります。
下図は一般的な接続例です。接続機器の種類や形状、接続する端子の名称、配線パターンなどは、お客様の環境と異なることがあります。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

- **携帯電話はフルブラウザ対応の機種をお使いください。**
- **携帯電話サイトのご利用時は、パケット通信料が高額になることがありますので、定額料金サービスのご利用をおすすめします。**
- **携帯電話サイトの動作確認は、当社製フルワイド VGA 液晶の携帯電話でおこなっています。お使いの携帯電話によっては、正しく表示されないことがあります。**
- **テレビ・携帯電話の動作確認済み機種は、当社カタログまたはホームページをご覧ください。**

メモ

- マルチエネルギーモニタを無線 LAN でネットワークに接続する場合は、マルチエネルギーモニタとブロードバンドルーター間の LAN ケーブルは必要ありません。
- 無線 LAN をご利用の場合は、無線 LAN 対応ブロードバンドルーターをご用意ください。

通信に必要な設定をする

マルチエネルギーモニタを通信回線に接続したら、以下の操作で通信に必要な設定をしてください。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ネットワーク設定 をタップする**

ネットワーク設定のメニュー画面が表示されます。

2 **現在の設定状況 をタップする**

設定状態によって選択できる項目数が変わります。

- 戻る ：設定のトップ画面に戻ります

3 **変更 をタップする**

ネットワーク設定の現在の状況が表示されます。設定状態により表示される項目数は変わります。
電波強度は 5 段階で 5/5 のように表示し、有線接続の場合は非表示となります。
［ 変更 ］をタップすると接続形態の選択画面になります。

- 戻る ：ネットワーク設定の画面に戻ります

① AOSS の場合

マルチエネルギーモニタの AOSS をタップしてから、お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの AOSS ボタンをランプが点滅するまで押し続けます。ランプが点滅したらボタンから手をはなします。

- 戻る ：ネットワーク設定（現在の状況）の画面に戻ります。

通信が開始され、しばらくして、「設定されました」が表示されれば、設定完了です。

確認 をタップすると、ネットワーク設定（現在の状況）画面に戻ります。

② WPS の場合

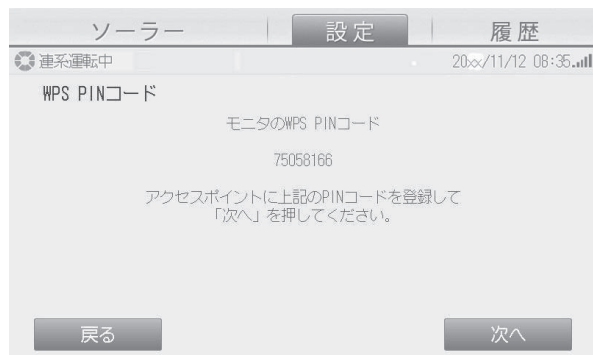
マルチエネルギーモニタの［WPS］をタップしてから、お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの WPS ボタンをランプが点滅するまで押し続けます。ランプが点滅したらボタンから手をはなします。
通信が開始され、しばらくして、「設定されました」が表示されれば、設定完了です。
［確認］をタップすると、ネットワーク設定（現在の状況）画面に戻ります。

※お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの取扱説明書で対応している接続方法を確認してください。

※「WPS」はらくらく無線スタートにも対応しています。接続方法は無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの取扱説明書を確認してください。

③ WPS PIN 方式の場合

マルチエネルギーモニタの［WPS PIN方式］をタップしてから、画面に表示されているモニタの WPS PIN コードをお手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターに設定します。次に、［次へ］をタップします。通信が開始され、しばらくして､「設定されました」が表示されれば、設定完了です。
［確認］をタップすると、ネットワーク設定（現在の状況）画面に戻ります。

※お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの取扱説明書で接続方法を確認してください。

- 接続形態を有線⇒無線、または無線⇒有線に変更する場合、確認画面「無線（有線）接続に変更すると設定が完了するまでは通信ができなくなります。よろしいですか？」が表示されるので[実行]をタップしてください。
- 「通信に失敗しました」というメッセージが表示されたら無線 LAN 対応ブロードバンドルーターとの接続に失敗しました。お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが AOSS または WPS に対応しているかを確認し、無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの電源を入れなおして［再試行］をタップしてください。何度も失敗するようでしたら、別の接続方法をお試しください。
- AOSS や WPS で自動設定する場合は、マルチエネルギーモニタの［AOSS］または［WPS］ボタンをタップ後、６０秒以内にお手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルータの［AOSS］または［WPS］ボタンを押し始めてください。

④無線接続の手動設定または、有線接続の場合

1 [手動] をタップした場合、SSID の設定方法の選択画面が表示される

[有線接続] を選択した場合は、手順 8 に移動します。

• 戻る ：ネットワーク設定（現在の状況）の画面に戻ります。

2 SSID の設定方法を選ぶ

[SSID検索（自動）]をタップする
→手順 3 へ移動します。
[手動]をタップする
→手順 4 へ移動します。
アドレス設定へ をタップする
→手順 8 へ移動します。

• 戻る ：接続形態の画面に戻ります。

3 お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの SSID を選択する

→手順 5 へ移動します。

◀ 前の 5 件が表示されます。

▶ 次の 5 件が表示されます。

• 戻る ：無線接続の画面に戻ります。

4 お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの SSID を入力し、決定 をタップする

入力枠をタップし、キーボードで SSID を入力します。
→手順 5 へ移動します。

• 戻る ：無線接続の画面に戻ります。

メモ

●SSID 検索（自動）でお手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの SSID が見つからない場合は、SSID を手動で設定してください。

5 お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの暗号化方式を選ぶ

[WEP] [TKIP (WPA)] [AES (WPA2)] をタップする
→手順 7 へ移動します。
左図の WEP の設定は 64bit となります。
128bit をご利用の場合は 詳細 をタップしてください。

暗号化なし をタップする
→手順 8 へ移動します。

詳細 をタップする
→手順 6 へ移動します。

- 戻る：前画面に戻ります。

ソーラー　設定　履歴
連系運転中　20xx/11/12 08:35
暗号化設定（詳細）
WEP 64bit　WPA TKIP　WPA AES
WEP128bit　WPA2 TKIP　WPA2 AES
戻る

6 お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの暗号化方式（詳細）を選ぶ

- 戻る：暗号化設定に戻ります。

7 暗号を入力して 決定 をタップする

左の画面は「WEP」を選んだ場合の画面です。ほかの項目でも操作は共通です。
入力枠をタップし、キーボードで値を入力し、決定 をタップします。

[大文字] のキーをタップすると、[大文字]、[小文字]、[記号] に順番に切り替わり、その他のキーもそれに対応して変化します。
[ASCII] のキーにタップすると、[ASCII]、[hex] に順番に切り替わり、その他のキーもそれに対応して変化します。
ASCII では 10 進数とアルファベット 26 文字が入力でき、hex では 16 進数入力になります。

- 戻る：暗号化設定に戻ります。

● 「通信に失敗しました」というメッセージが表示されたらルーターとの接続に失敗しました。お手持ちのルーターの電源を入れなおして［再試行］をタップしてください。何度も失敗するようでしたら、別の接続方法をお試しください。

8 アドレスの設定方法を選ぶ

［手動（アドレス設定）］をタップする
→手順 9 へ移動します。

［自動（DHCP)］をタップする
→通信に必要な IP アドレスなどが自動で設定され、ネットワーク設定（現在の状況）画面に戻ります。

- 戻る ：接続形態の画面に戻ります。

9 設定する項目を選ぶ

※アドレス設定（手動）の設定項目は、IP アドレス→ネットマスク→ゲートウェイ→ DNS の順に遷移にします。
一度設定項目を選択したら、DNS まで設定してください。

- 決定 ：設定内容を反映してアドレス設定に戻ります。
- 戻る ：アドレス設定に戻ります。

10 項目を入力して、 決定 をタップする

左の画面は「IP アドレス」を選んだ場合の画面です。
入力枠をタップし、テンキーで値を入力し、 決定 をタップします。
ネットマスク、ゲートウェイ、DNS も同様の方法で入力します。

- 戻る ：前画面に戻ります。

11 すべて設定したら、アドレス設定（手動）画面で 決定 をタップする

「設定されました」と音声でおしらせし、ネットワーク設定（現在の状況）画面に戻ります。
初期化 をタップすると、初期設定に戻ります。
IP アドレス：192.168.0.100
ネットマスク：255.255.255.0
ゲートウェイ：0.0.0.0
DNS：0.0.0.0

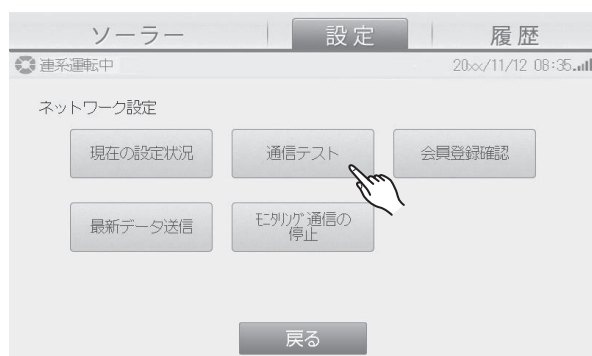
※初期設定状態のままでは通信しないでください。

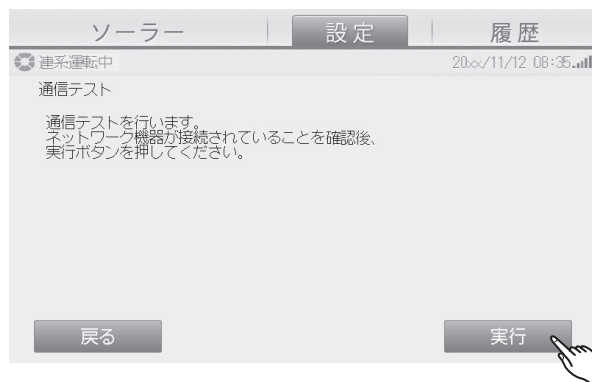
- 戻る ：アドレス設定に戻ります。

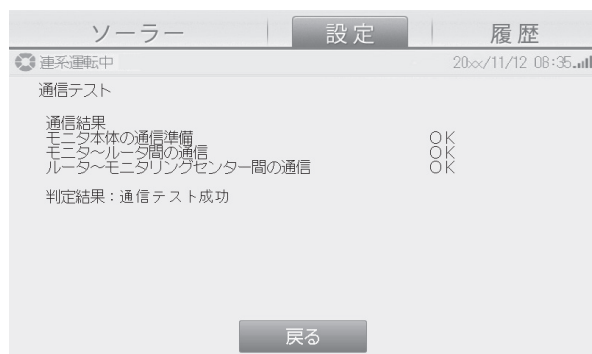
通信テストをおこなう

通信の設定が終わったら、以下の操作で通信テストをしてください。
通信テストが成功しないと会員登録が完了しません。「サービスのお申し込み」（☞ 60 ページ）をおこなう前に通信テストを実施してください。

1 **設定のトップ画面で ネットワーク設定 をタップする**

ネットワーク設定のメニュー画面が表示されます。

2 **通信テスト をタップする**

- 戻る ：設定のトップ画面に戻ります

3 **ネットワーク機器が接続されていることを確認後、 実行 をタップする**

- 戻る ：ネットワーク設定の画面に戻ります

4 **通信テスト結果が表示されますので、内容を確認してください**

「判定結果：通信テスト成功」と表示されたら、ネットワーク通信は正常におこなわれており、Web モニタリングサービスを利用できる状態になっています。
「判定結果：通信テスト失敗」と表示されたときは、画面に表示される案内に従ってください。また、「通信ができないときは」（☞ 74 ページ）を確認してください。

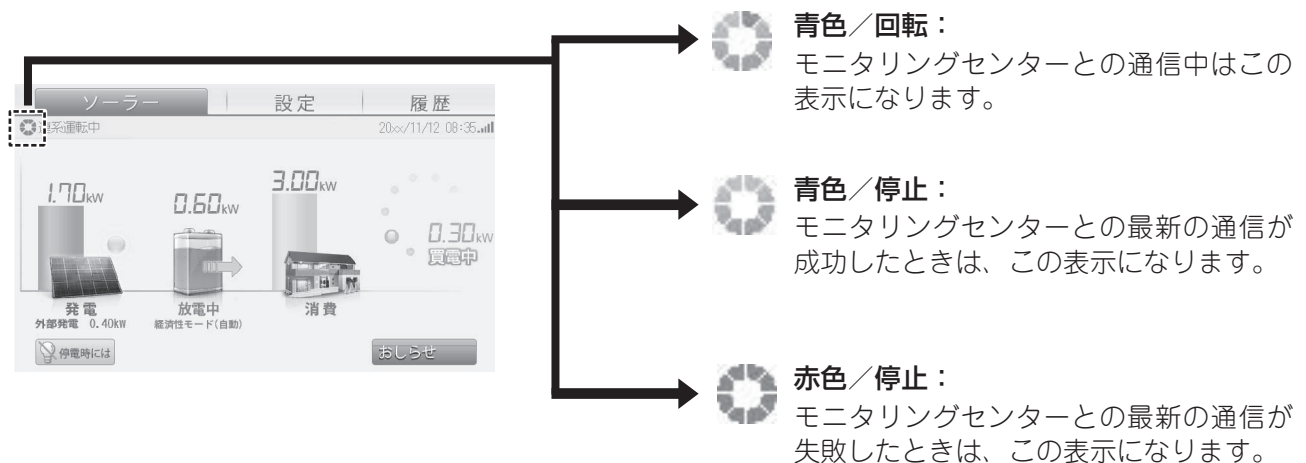
- 戻る ：前画面に戻ります

会員登録完了のおしらせが届いたら

接続と設定をしたあと、当社でお客様の会員登録が完了すると、マルチエネルギーモニタに登録完了のおしらせが届きます。25 ～ 26 ページの操作で内容をご確認ください。
登録完了後は、ご家庭とモニタリングセンターの間で自動通信がおこなわれ、6時間ごとにお客様のシステムの最新データが当社に送信されるようになります。利用できるサービスについては、以下をご覧ください。

- パソコンでできること（☞ 76 ～ 77 ページ）
- テレビ（AQUOS）でできること（☞ 78 ページ）
- 携帯電話でできること（☞ 79 ページ）

■モニタリング通信アイコンの表示について

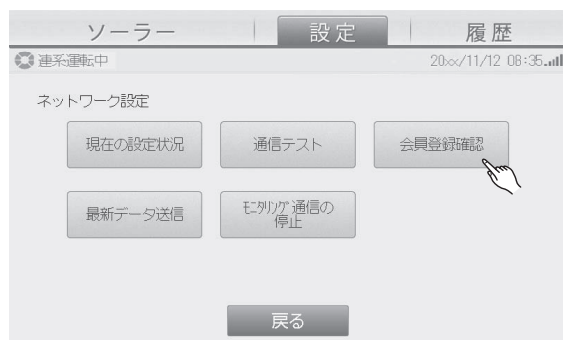
モニタリング通信アイコンの表示は、通信状態を表しています。
※ Web モニタリングサービスの会員登録が未登録の場合は、モニタリング通信アイコンは表示されません。Web モニタリングサービスのお申し込み方法は、☞ 60 ページをご確認ください。

- 通信テストが成功しても、通信機器や回線状況によっては、通信が安定せずモニタリングセンターとの自動通信に失敗する場合があります。
- 常時（24 時間）インターネットに接続できる環境をご準備いただく事が必要です。
  ルーターの節電機能でインターネットを使用しない時間帯に LAN の機能を停止する等の設定をした場合、6 時間ごとの定期通信ができないことがあります。
  また、節電機能で LAN の機能を停止する等の設定をした場合、モニタリングセンターでエラー情報が受信できず、点検などのご案内や対応ができないことがあります。

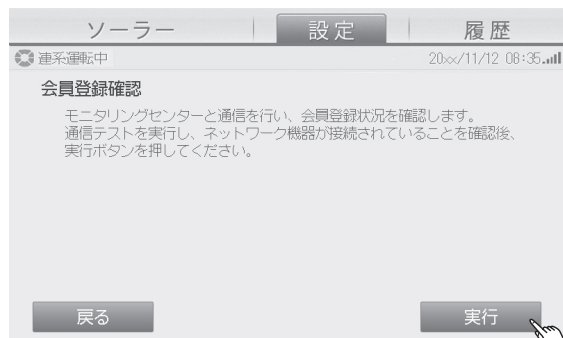
もくじ
はじめに
各部の名前とはたらき
システムを使う
発電実績
設定する
Webモニタリングサービス
このようなときは
索引

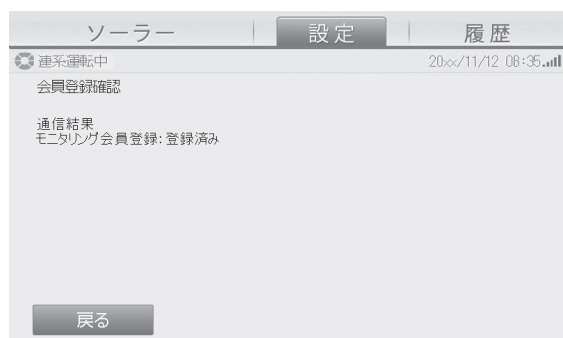
会員登録の状態を確認する

Web モニタリングサービスのお申し込み後に、モニタリングセンターで会員登録が完了しているか確認したいときは、以下の操作で確認できます。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ネットワーク設定 をタップする

ネットワーク設定のメニュー画面が表示されます。

2 会員登録確認 をタップする

会員登録確認画面が表示されます。

3 画面の内容を確認して 実行 をタップする

会員登録確認が実行されます。

4 結果を確認する

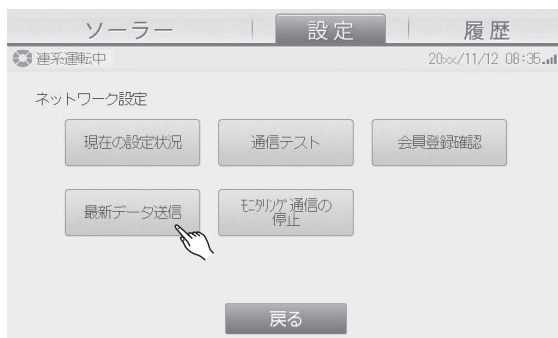
「モニタリング会員登録：登録済み」と表示されたときは、会員登録手続きは完了しています。

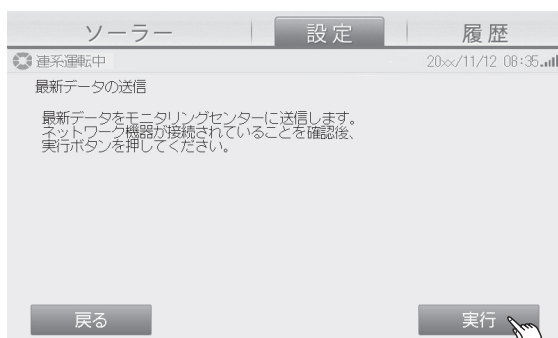
「モニタリング会員登録：未登録」と表示されたときは、画面の案内に従ってください。

最新データをモニタリングセンターに送信する

マルチエネルギーモニタに記録されている最新のデータを、手動操作でモニタリングセンターに送信できます。
通常は 6 時間ごとに自動送信されますが、必要なときは以下の操作で送信してください。
また、この操作をすると、モニタリングセンターの各種履歴が最新状態に更新されます。
最新データをモニタリングセンターに送信すると、直近の自動送信がされない場合があります。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ネットワーク設定 をタップする

ネットワーク設定のメニュー画面が表示されます。

2 最新データ送信 をタップする

最新データの送信画面が表示されます。

3 画面の内容を確認して 実行 をタップする

最新データが送信されます。

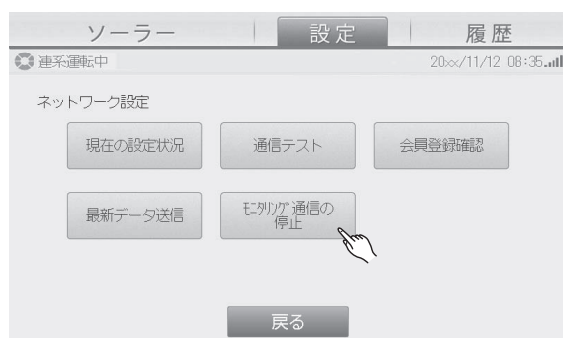
4 結果を確認する

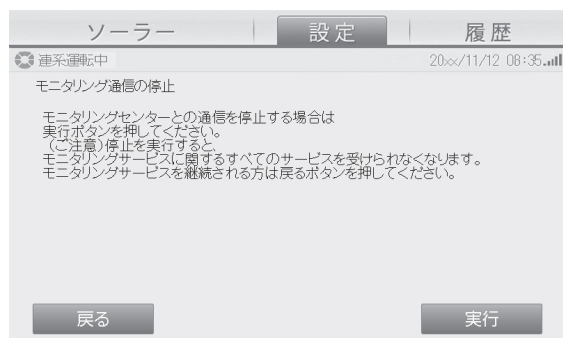
「最新データを送信しました」と表示されたら、送信は成功しています。
「データ送信に失敗しました」と表示されたときは、通信テストをおこない、通信状態に問題がないか確認してください。(☞68 ページ)

モニタリング通信を停止する

モニタリングセンターとの自動通信を停止します。停止しますと、Web モニタリングサービスに関するすべてのサービスが受けられなくなります。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ネットワーク設定 をタップする**

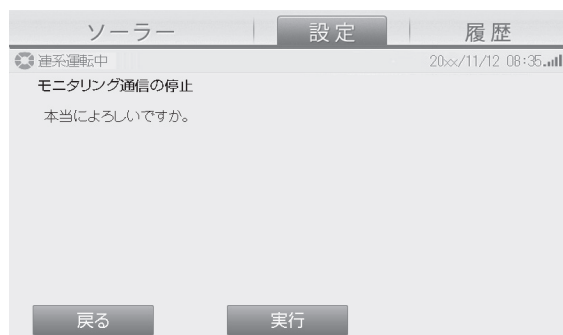
ネットワーク設定のメニュー画面が表示されます。

2 **モニタリング通信の停止 をタップする**

確認画面が表示されます。

3 **画面の内容を確認して 実行 または 戻る をタップする**

モニタリングセンターとの通信を停止する場合は 実行 をタップしてください。

> **ご注意**
>
> 停止を実行するとモニタリングサービスに関する全てのサービスを受けられなくなります。モニタリングサービスを継続される方は 戻る をタップしてください。

4 **画面の内容を確認して 実行 または 戻る をタップする**

- 実行 ：自動通信の停止を実行して設定のトップ画面に戻る
- 戻る ：実行せずに設定のトップ画面に戻る

無線 LAN 接続ができないときは

無線接続ができないときは、以下の内容をご確認ください。

白の矢印（⇨）は「はい」、黒の矢印（➡）は「いいえ」を示します。

無線 LAN の電波強度アイコンで、アンテナ は十分立っていますか？（☞ 21 ページ）
電波強度アイコンが非表示の場合は、無線接続に設定してください。（☞ 63 ～ 67 ページ）

➡ 無線 LAN 対応ブロードバンドルーターをマルチエネルギーモニタに近付けるか、中継器など（☞ 61 ページ）を利用し電波強度アイコンのアンテナが 5 本立つようにしてください。

⇩

お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターは AOSS に対応していますか？

⇨ AOSS の設定をおこなってください。（☞ 63 ページ）

⬇

お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターは WPS に対応していますか？

⇨ WPS の設定をおこなってください。（☞ 63 ～ 64 ページ）

⬇

お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターは WPS PIN 方式に対応していますか？

⇨ WPS PIN 方式の設定をおこなってください。（☞ 63 ～ 64 ページ）

⬇

無線接続の手動設定より設定していますか？

➡ 無線接続の手動設定をおこなってください。（☞ 65 ～ 67 ページ）

⇩

お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの SSID が、マルチエネルギーモニタに設定されている SSID と合っていますか？モニタの設定内容は現在の設定よりご確認ください。（☞ 63 ページ）

➡ 自動または手動設定にて、お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの SSID を設定してください。（☞ 65 ページ）

⇩

お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターと同じ暗号化方式（WEP など）および、暗号がマルチエネルギーモニタに設定されていますか？
マルチエネルギーモニタの設定内容は現在の設定よりご確認ください。（☞ 63 ページ）

➡ お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターと同じ暗号化方式および、暗号をモニタに設定してください。（☞ 66 ページ）

⇩

お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターは DHCP 設定に対応していますか？

⇨ 再度、マルチエネルギーモニタのアドレス設定を自動（DHCP）に設定（☞ 67 ページ）してください。アドレスを手動で設定している場合は、設定しているアドレスをメモ帳などにメモしてください。

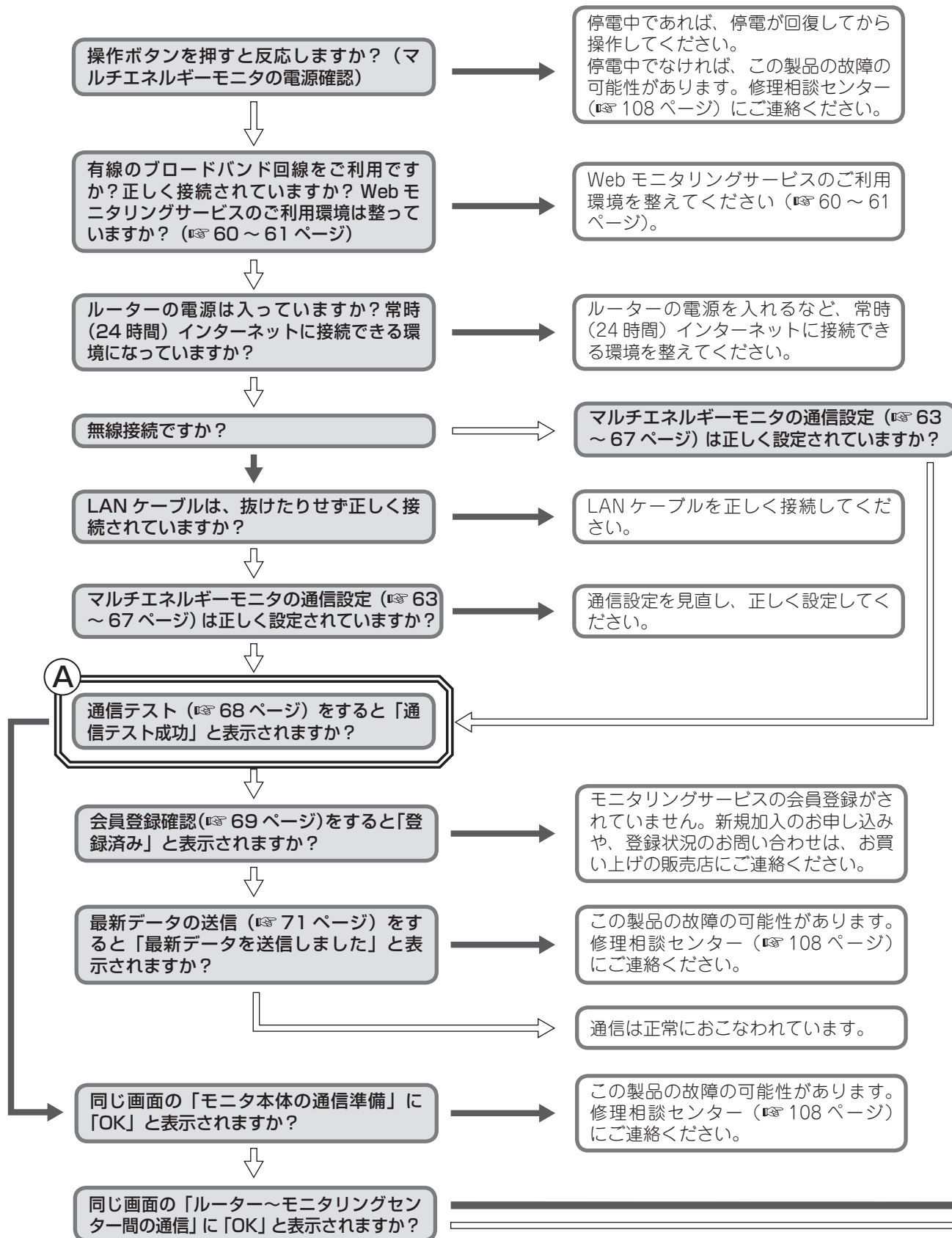
➡ アドレスを手動で設定してください。（☞ 65 ～ 67 ページ）

⇩

本書 74 ページの Ⓐ「通信テスト」（☞ 68 ページ）をすると「通信テスト成功」と表示されますか？」へ移動してください。

通信ができないときは

通信ができないときは、以下の内容をご確認ください。

白の矢印（⇒）は「はい」、黒の矢印（➡）は「いいえ」を示します。

無線LAN接続ができないときは（☞73ページ）をご確認の上、正しく設定してください。

ネットワークサービスに問題があります。ご契約のインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。

パソコンでインターネット視聴やメール送受信はできますか？

→ **接続機器（ブロードバンドルーターなど）は正しく設定されていますか？故障していませんか？**

接続機器（ブロードバンドルーターなど）は、複数回線で接続可能な設定になっていますか？

→ 設定を見直してください。接続機器の操作が分からない場合や故障の場合は、接続機器のメーカーにお問い合わせください。

お使いのインターネットサービスプロバイダーのサーバー、またはモニタリングセンターのサーバーは、定期メンテナンスの期間中ではありませんか？（モニタリングサーバーの定期メンテナンス期間はモニタリングセンターからのおしらせ（☞26ページ）で通知します）

→ **接続機器（ブロードバンドルーターなど）は正しく設定されていますか？故障していませんか？**

定期メンテナンス期間が終了してから操作してください。

モニタリングセンターのサーバーに障害が発生している可能性があります。モニタリングセンター※にご連絡ください。

接続機器（ブロードバンドルーターなど）が正しく設定されていないか、故障している可能性があります。設定を見直してください。接続機器の操作が分からない場合や故障の場合は、接続機器のメーカーにお問い合わせください。

※ WEBモニタリングサービス加入済みのお客様へ送付している「WEBモニタリングサービス登録完了のご案内」に記載の電話番号にご連絡ください。未加入のお客様は、本サービスへの登録が必要となりますので、ご販売店にサービス加入についてご相談ください。

パソコンでできること

Web モニタリングサービスのパソコン用サイト（https://solar-monitor.sharp.co.jp/）では、以下のような機能が使用できます。

- 今日の発電実績の表示、過去の履歴の表示、省エネナビの表示
- 発電状況を表示できる「宅内モニタ」
- 発電状況を診断した「発電診断レポート」の表示
- 電気料金換算設定の利用
- お好きな待ち受け画像のアップロード
- 履歴データのダウンロード

待ち受け画像をアップロードする

お好きな画像を待ち受け画像表示用にアップロードできます。
アップロード後は、マルチエネルギーモニタで待ち受け画面の設定をしてください（☞45 ～ 46 ページ）。

パソコン用サイトのトップページから……

省エネナビを使う

今月の省エネ率を確認したり、省エネ目標を設定したりできます。

発電診断レポートを見る

発電結果を診断したレポートを見られます。

	20XX 年 1 月	20XX 年 2 月	20XX 年 3 月	20XX 年 4 月	20XX 年 5 月	20XX 年 6 月	20XX 年 7 月	20XX 年 8 月	20XX 年 9 月	20XX 年 10 月	20XX 年 11 月	20XX 年 12 月
発電量[kWh]	226 (257)	207 (304)	--- (395)	--- (382)	--- (408)	--- (328)	--- (437)	--- (386)	--- (314)	--- (320)	--- (271)	--- (297)
消費量[kWh]	1,011 (1,044)	625 (1,097)	--- (1,045)	--- (935)	--- (761)	--- (728)	--- (781)	--- (522)	--- (693)	--- (751)	--- (850)	--- (920)

宅内モニタを見る

宅内モニタは、ご家庭内のネットワークを利用して発電実績などのデータを確認できる機能です。
※宅内モニタについては、ご家庭内のネットワークを利用するため、インターネットに接続していなくてもご利用になれますが、外出先のパソコンではご利用になれません。

＜現在の状況＞

＜現在の状況＞ページでは、10 秒間隔でデータを更新します。
接続エラーなどで更新されない場合は、Web ブラウザにて手動で更新してください。
ほかにも、今日の実績、これまでの実績、発電量ランキングを確認できます。

電気料金換算設定を利用する

電気料金換算を設定することで、消費量、売電量、買電量を電気料金に換算して確認できます。
電気料金換算の設定は、「マイページ」→「履歴データ」→「電気料金換算」→「設定の照会 / 変更へ」から設定できます。
※ Web サイトで電気料金換算の設定後、マルチエネルギーモニタの「電気料金換算」で、料金計算方法を「詳細設定（Web サイトで設定）」に設定する（☞ 48 ページ）と、Web サイトで設定した内容にて消費量、売電量、買電量の各値を電気料金に換算して確認できます。

＜電気料金換算値照会 / 変更＞

- サイト内にある上記以外の機能やサービスについては、サイトの説明をご覧ください。また、機能やサービスは、予告なく変更されることがあります。
- パソコン用サイトからの画像のアップロードは当日の夜間におこないます。ルーターの節電機能でインターネットを使用しない時間帯に LAN の機能を停止する等の設定を利用されている場合は節電機能を解除してください。
- サイトに画像をアップロードしたあと、マルチエネルギーモニタに持ち受け画像として設定できるのは翌日以降になります。
- サイトの表示は、太陽光発電システムをお使いの場合のみ利用できます。また、蓄電池システムの情報は表示されません。そのため、蓄電池システムをお使いのお客様は、マルチエネルギーモニタのトップ画面の消費電力の値と、宅内モニタの消費電力の値が異なることがあります。

テレビ（AQUOS）でできること

Web モニタリングサービスのテレビ用サイト（https://solar-monitor.sharp.co.jp/）からは、以下のような機能が使用できます。

- 今日の発電実績の表示、過去の履歴の表示、省エネナビの表示
- 発電状況を表示できる「宅内モニタ」
- 発電状況を診断した「発電診断レポート」の表示

また、「AQUOS City」または「AQUOS.jp」からもアクセスすることができます。

テレビ用サイトのトップページから……

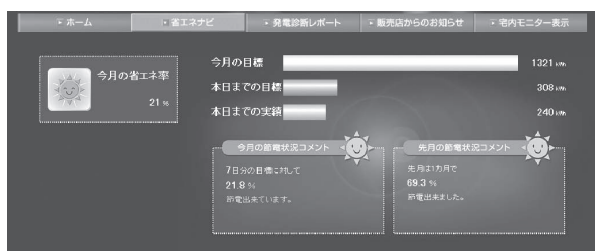
宅内モニタを見る

宅内モニタは、ご家庭内のネットワークを利用して発電実績などのデータを確認できる機能です。

＜現在の状況＞

＜現在の状況＞ページでは、60 秒間隔でデータを更新します。
接続エラーなどで更新されない場合は、Web ブラウザにて手動で更新してください。
ほかにも、今日の実績、これまでの実績、発電量ランキングを確認できます。

省エネナビを見る

今月の省エネ率を確認できます。

発電診断レポートを見る

発電結果を診断したレポートが見られます。

メモ

- ●サイト内にある上記以外の機能やサービスについては、サイトの説明をご覧ください。また、機能やサービスは、予告なく変更されることがあります。
- ●対応機種は、「AQUOS City」または「AQUOS.jp」対応のテレビです。動作確認済み機種は、当社カタログまたはホームページをご覧ください。
（http://www.sharp.co.jp/sunvista/select/monitoring/taiou_kishu_ichiran.html）
- ●サイトの表示は、太陽光発電システムをお使いの場合のみ利用できます。また、蓄電池システムの情報は表示されません。そのため、蓄電池システムをお使いのお客様は、マルチエネルギーモニタのトップ画面の消費電力の値と、宅内モニタの消費電力の値が異なることがあります。

携帯電話でできること

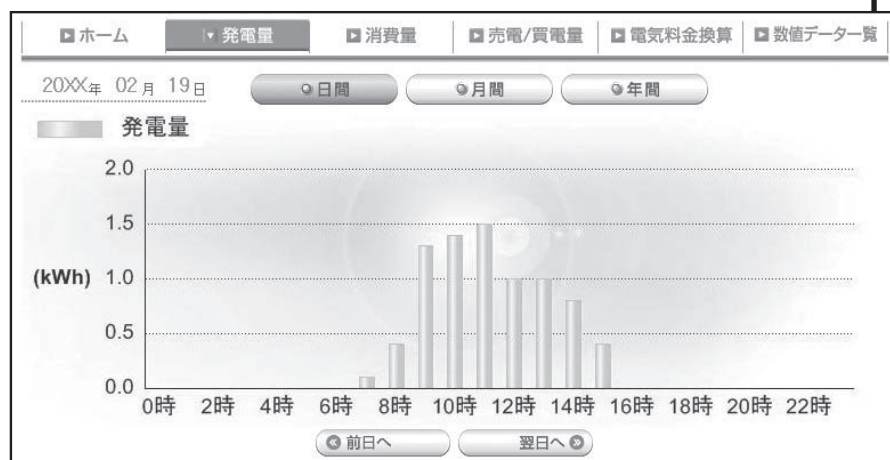
Web モニタリングサービスの携帯電話用サイト（https://solar-monitor.sharp.co.jp/）からは、今日の実績や履歴が手軽に確認できます。

携帯電話用サイトのトップページから……

実績を見る

ホーム画面では、今日の実績が確認できます。

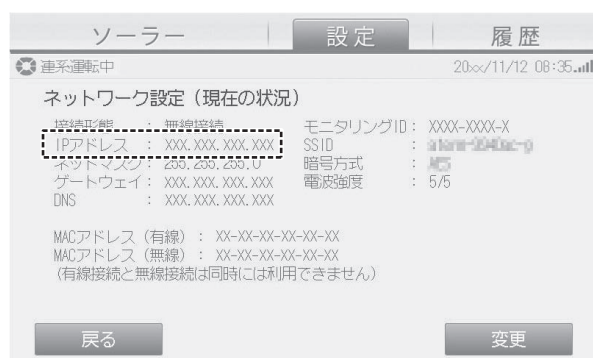
各種の履歴を見る

発電量、消費量、売電／買電量の履歴を確認できます。

- サイト内にある上記以外の機能やサービスについては、サイトの説明をご覧ください。また、機能やサービスは、予告なく変更されることがあります。
- 携帯電話はフルブラウザ対応の機種をお使いください。携帯電話サイトの動作確認は、当社製フルワイドVGA 液晶の携帯電話でおこなっています。お使いの携帯電話によっては、正しく表示されないことがあります。（☞ 62 ページ）
- パケット通信料が高額になることがありますので、定額料金サービスのご利用をおすすめします。
- 携帯電話から確認できるデータは、６時間ごとの自動通信でモニタリングセンターに送信されたデータです。現在のデータは確認できません。
- サイトの表示は、太陽光発電システムをお使いの場合のみ利用できます。また、蓄電池システムの情報は表示されません。

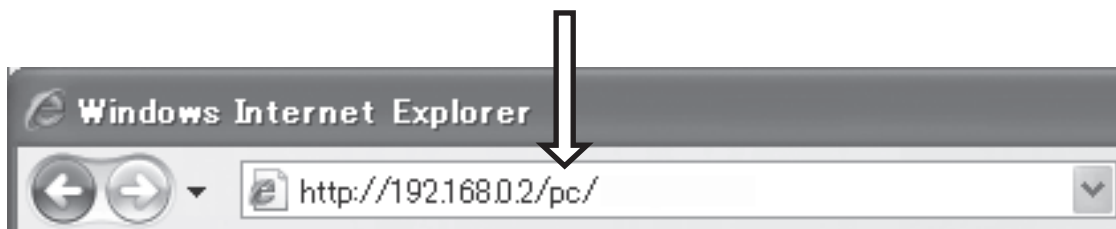
宅内モニタを見る

宅内モニタは、ご家庭内のネットワークを利用して、パソコンおよび「AQUOS City」または「AQUOS.jp」対応のテレビ（動作確認済み機種一覧☞ 61 ページ）で発電量などを確認できる機能です。表示できる項目は Web モニタリングサービスのサイトと一部重複していますが、数値を見ることができます。
宅内モニタはパソコン用サイトやテレビ用サイトから表示できますが、IP アドレスを直接入力して表示することもできます（通常はサイトからご利用ください）。
お使いになる機器は、あらかじめ接続しておいてください（☞ 62 ～ 67 ページ）。

通信設定が「自動設定（DHCP)」になっているときは、ブロードバンドルーターによって IP アドレスが自動取得されるため、一度確認した IP アドレスが変わることがあります。「自動設定（DHCP)」でお使いのときは、宅内モニタをお使いになるたびに、IP アドレスを確認してください。
なお、通信設定を「手動設定」にして IP アドレスを入力すると（☞ 65 ～ 67 ページ)、自動的に変わることはありません。ただし、手動設定にはブロードバンドルーターの設定も必要になるため、ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧のうえで設定してください。

パソコンおよびテレビ（AQUOS）で見る

1 **「通信に必要な設定をする」(☞ 63 ページ）の操作 1 ～ 3 をおこない、表示される「IP アドレス」の数値をメモする**

2 **パソコンまたはテレビのブラウザを立ち上げ、URL（アドレス）欄に以下のアドレスを入力する。**

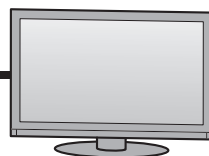
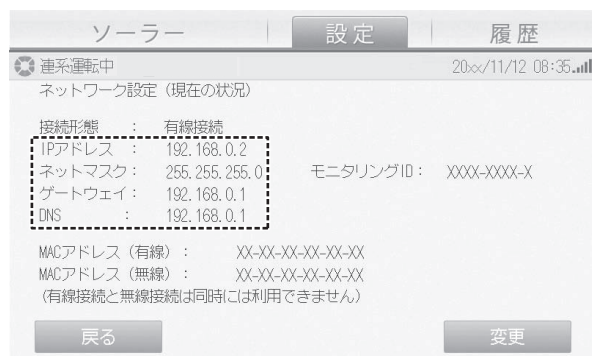
パソコン用アドレス：http://XXX.XXX.XXX（「IP アドレス」の数値）/pc/
テレビ用アドレス　：http://XXX.XXX.XXX（「IP アドレス」の数値）/tv/

入力例（IP アドレスが「192.168.0.2」のとき）

アドレスを正しく入力すると、宅内モニタが表示されます。操作は画面の案内に従ってください。

メモ

● 宅内モニタは、太陽光発電システムをお使いの場合のみ利用できます。また、蓄電池システムの情報は表示されません。

LAN ケーブルで直結して見るには

パソコンおよび「AQUOS City」または「AQUOS.jp」対応のテレビ（動作確認済み機種一覧☞ 61 ページ）では、ブロードバンドルーターなどを経由せず、マルチエネルギーモニタを LAN ケーブルで直結して宅内モニタを見ることもできます。
表示画面については、パソコンでできること（☞ 76 ～ 77 ページ）、テレビ（AQUOS）でできること（☞ 78 ページ）をご覧ください。

1 **接続が終わったら、「通信に必要な設定をする」（☞ 63 ～ 67 ページ）で、「有線接続」の「手動（アドレス設定）」より、各値を以下のように設定する**

- IP アドレス：192.168.0.2
- ネットマスク：255.255.255.0
- ゲートウェイ：192.168.0.1
- DNS：192.168.0.1

2 **パソコンおよびテレビの LAN 設定画面（名称は異なることがあります）で、各値を以下のように設定する**

- IP アドレス：192.168.0.3
- ネットマスク：255.255.255.0
- ゲートウェイ：192.168.0.1
- DNS：192.168.0.1
- プロキシ：使用しない

機器の設定方法は、パソコンおよびテレビの取扱説明書や、ご利用のプロバイダーや回線業者から送られてくる資料などをご覧ください。

3 **ブラウザを立ち上げ、URL（アドレス）欄に 80 ページの手順 2 に記載しているアドレスを入力する（http://192.168.0.2/tv/ など）**

アドレスを正しく入力すると、宅内モニタが表示されます。操作は画面の案内に従ってください。

メモ

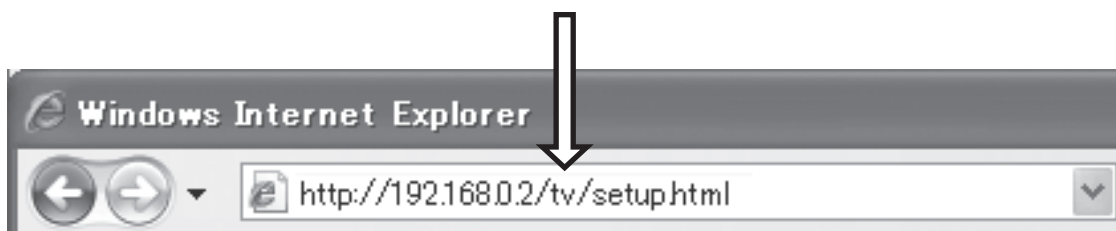
- 手順 2 でマルチエネルギーモニタおよびパソコンまたはテレビの設定をおこなうとき、IP アドレスの末尾以外は同じ値を入力してください。

  例：
  マルチエネルギーモニタ：　192.168.0.2
  パソコンまたはテレビ：　192.168.0.3
  また、他の値も設定することができますが、その際はお客様ご自身で動作を確認された上でご使用ください。
- ファイヤーウォールを有効にしている場合など、パソコンの設定によっては接続できないことがあります。

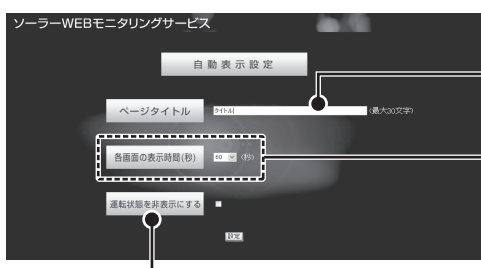
スライドショーを見る

宅内モニタで表示できる画面の一部をスライドショーとして見ることができます。
パソコンまたはテレビのみ閲覧可能です。携帯電話は閲覧できません。
パソコンおよびテレビともスライドショーで見ることができる画面構成は同じです。

1 80 ページを参考にパソコンまたはテレビのブラウザを立ち上げ、URL（アドレス）欄に以下のアドレスを入力する

パソコン用アドレス：http://XXX.XXX.XXX.XXX（「IP アドレス」の数値）/pc/setup.html
テレビ用アドレス　：http://XXX.XXX.XXX.XXX（「IP アドレス」の数値）/tv/setup.html

入力例（IP アドレスが「192.168.0.2」のとき）

アドレスを正しく入力すると、宅内モニタが表示されます。操作は画面の案内に従ってください。

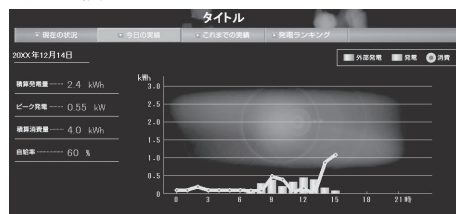
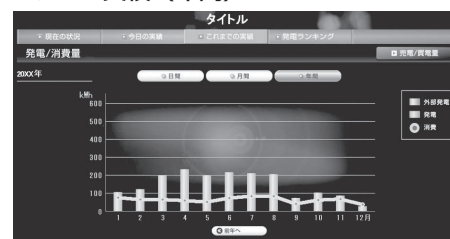
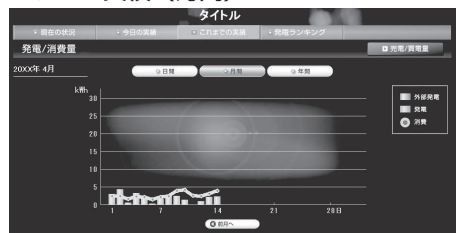
2 設定画面のタイトル、各画面の表示時間、運転状態の表示 / 非表示の設定をおこなう

3 設定を押す

スライドショーが開始されます。
下記 5 つの画面が手順 2 で設定した各画面の表示時間ごとに切り替わり表示されます。

<現在の状況>

<今日の実績>

<これまでの実績（月間）>

<発電ランキング>

<これまでの実績（年間）>

メモ

- ●スライドショー実行中に Web ブラウザでブックマークをおこなうと、手順 2 の設定が保持されます。以後ブックマークで呼び出すと、保持された設定に従ってスライドショーが再開されます。
- ●スライドショーでは、手順 2 で設定した「各画面の表示時間」間隔でデータを更新します。接続エラーなどで更新されない場合は、Web ブラウザにて手動で更新してください。
- ●Web モニタリングサービスでは、蓄電池システムの情報は表示されません。

このようなときは

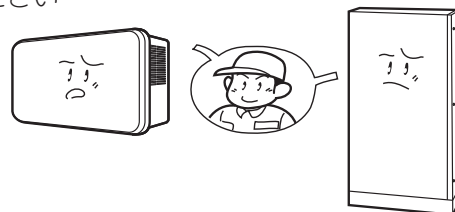
お手入れのしかた

太陽光発電システム、蓄電池システムを長年ご使用いただくため、以下の要領でお手入れをお願いします。

ご注意

◆太陽電池モジュールは、屋根の上など高所に設置されることが多く、点検やお手入れは特に危険ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

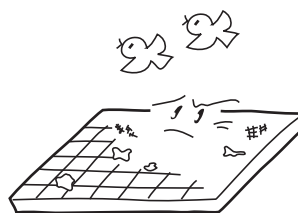
パワーコンディショナ、蓄電池のお手入れ

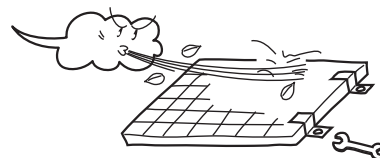
- お手入れの際は、必ずパワーコンディショナの運転を停止してください(☞ 87 ページ)。連続運転のままでのお手入れは危険です。
- 日常のお手入れ（パワーコンディショナ本体通気口のほこり取り、表面の清掃）以外は、お買い上げの販売店に依頼してください。

マルチエネルギーモニタのお手入れ

- 汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。その後、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。液晶画面を拭くときは、あまり強く押さえないでください。故障の原因になります。
- マルチエネルギーモニタの内部には電子部品が入っていますので、水をかけないでください。
- 洗剤およびベンジン・シンナー等は使用しないでください。

太陽光発電システムの保守・メンテナンス

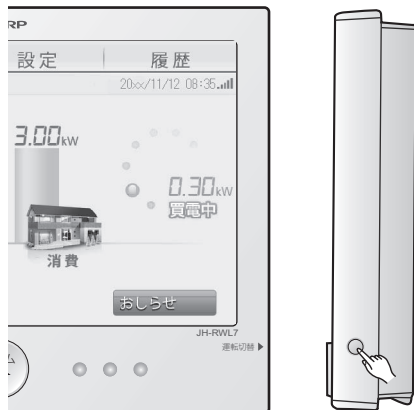
太陽電池モジュールのガラス表面の清掃

- 通常の汚れは、発電には問題ありませんが、鳥のふん、火山灰、油煙などがつき、ガラス表面が著しく汚れた場合は、発電効果が低下して、発電量が少なくなります。この場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

台風シーズンの前後に

- 台風シーズンの前後や、地震、強風の後は、架台などの固定ネジにゆるみや異常がないかお買い上げの販売店にご相談ください。

保守・メンテナンス

- 太陽光発電システムは、定期的な点検をおこなうことをおすすめします。メンテナンスの内容については、お買い上げの販売店にご相談ください。

運転を停止 / 開始する

手動で運転の停止／開始ができます。点検などで一時的に運転を停止したいときは、以下の操作をしてください。
また、自立運転（☞ 88 ～ 91 ページ）を開始／停止するときも、以下の操作をしてください。

1 右側面の 運転切替ボタン を押す

※運転切替ボタンがロックされている場合は、ロックを解除してから操作してください（☞ 15 ページ）。

※運転モードの自動切り替えをおこなっている間は、設定画面を表示できません（☞ 58 ページ）。切り替えが終了するまで、しばらくお待ちください。

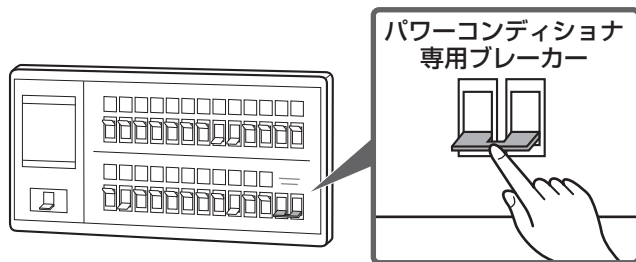
2 運転を停止するときは 停止 、運転を開始するときは 運転 をタップする

停止や開始には、ボタンをタップしてから数秒～数十秒かかります。

全パワーコンディショナのボタンは、太陽電池パワーコンディショナのみ接続している場合に表示されます。

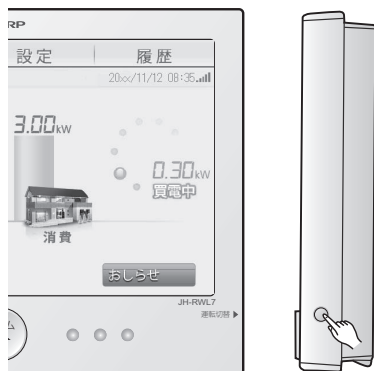
※蓄電池パワーコンディショナを自立、太陽電池パワーコンディショナを連系にしている場合には、太陽電池パワーコンディショナの [運転] は選択できません。

● 万一、パワーコンディショナから煙、異音、異臭などが発生したときは、下記手順 1、2 の操作をおこなって、パワーコンディショナを緊急停止してください。

1 ご家庭の分電盤内のパワーコンディショナ専用ブレーカーを切る

2 お買い上げの販売店、または修理相談センター（☞ 108 ページ）に連絡する

お客様による再起動はおこなわないでください。

パワーコンディショナを再起動する

エラーなどでパワーコンディショナの再起動が必要なときは、以下の操作で再起動してください。
ただし、太陽電池パワーコンディショナの再起動は太陽光発電中（日中）のみ可能です。

1 右側面の 運転切替ボタン を押す

※運転切替ボタンがロックされている場合は、ロックを解除してから操作してください（☞ 15 ページ）。

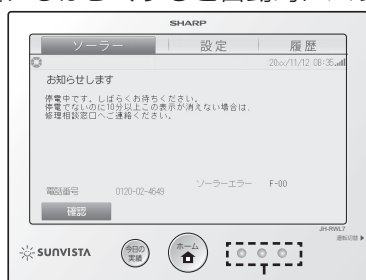
※運転モードの自動切り替えをおこなっている間は、設定画面を表示できません（☞ 58 ページ）。切り替えが終了するまで、しばらくお待ちください。

2 解 除 をタップする

「点検」と表示されているパワーコンディショナの 解 除 をタップしてください。

パワーコンディショナが「手動停止中」になるので、 運転 をタップしてください。パワーコンディショナが再起動します。

停電したときは

電力会社の停電などによって外部からの電力供給がなくなると、パワーコンディショナの運転は停止し、ディスプレイにエラーメッセージを表示します（太陽光発電システムのみ設置している場合は、夜間を除く）。
停電が回復後、しばらくすると自動的にパワーコンディショナの運転を開始します。

停電が発生したことをディスプレイに表示します。

停電中は運転状態表示ランプが緑色点滅または消灯します。

■停電時に太陽光発電または蓄電池の電力を使用することができます（自立運転）（☞ 89 ～ 92 ページ）

停電中に自立運転に切り替えると、太陽光発電で発電した電力や蓄電池の電力を使用することができます。
自立運転の自動切り替えを設定している場合は、切り替え操作不要です（☞ 58 ページ）。

マルチエネルギーモニタ画面の 停電時には をタップすると停電時の操作方法が表示されます。

※太陽電池パワーコンディショナを自立運転とした場合は、自立運転用コンセントに発電電力が供給されます。
蓄電池パワーコンディショナ、または一体型パワーコンディショナを自立運転とした場合は、専用コンセントに電力が供給されます。

ご注意

◆自立運転の注意事項（☞ 89 ～ 91 ページ）をよくお読みになってご使用ください。

太陽光発電システム、蓄電池システムを両方お使いの場合

自立運転では、太陽光発電で発電した電気や蓄電池に貯めた電気を専用コンセントに供給します。余った電気を電力会社に売ることはできません。
自立運転をおこなうときは、以下の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

自立運転のご注意

- **自立運転は、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。停電が回復したときは、運転モードを連系運転に切り替えてください（☞ 92 ページ）。**
  ただし、一体型パワーコンディショナをお使いの場合で、自立運転の自動切り替えを設定しているときは、切り替え操作不要です（☞ 58 ページ）。
- **太陽電池モジュールが発電していないときは蓄電池より電力を供給します。**
  夜間など発電できないときも蓄電池残量があれば、自立運転できます。
- **専用コンセントを使用してください。**
  自立運転では、専用コンセントのみに電力が供給されます。停電時にその他のコンセントは使用できません。
- **パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。**
  自立運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転中より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- **合計 1500W までの電気機器が使用できます。**
  専用コンセントで使用できる電力は最大で 1500W までです。消費電力が 1500W までの電気機器をご使用ください。モータで作動する機器（掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）や運転開始時に大きな電流が流れる機器、アースを必要とする電気機器は使用できない場合があります。
- **使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。**
  天候の変化などで発電電力が不安定になると蓄電池から電力供給されますが、蓄電池残量がなくなると発電電力のみ使用するため電力供給が不安定になります。また、発電電力が低下し蓄電池残量がない場合は、自動的に自立運転を停止します。デスクトップパソコン等の情報機器および周辺機器、電子レンジ等の調理器具などは、途中で電源が切れると、データの損傷や食品損傷および故障の原因となる可能性があります。
- **自立運転時の発電量と専用コンセントからの消費量は積算されません。**
  自立運転時に太陽光発電した電力量と専用コンセントで消費した電力量は履歴表示には反映されません。
- **蓄電池パワーコンディショナをお使いの場合は、日中太陽電池モジュールで発電した電力が蓄電池に充電されている状態でも、トップ画面では放電中と表示されます。**
  そのため、自立運転中は、放電中と表示されていても蓄電池残量が増えることがあります。

⚠ 警告

専用コンセントに以下の製品をつながないでください。

●人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
●灯油やガスを用いた暖房機器
自立運転時の発電電力は天候により変動します。発電電力が専用コンセントにつないだ電気機器の消費電力より小さい時は蓄電池から電力を補いますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受ける恐れがある機器はご使用にならないでください。
また、自動で給電された場合に不安定になる可能性がある機器を接続しないでください（自立運転の自動切り替えを設定している場合）。

メモ

- 専用コンセントの設置場所はお買い上げの販売店・工事店にご確認ください。
- 専用コンセントには平常時は電力会社からの電力が供給されます。停電時には自立運転により電力が供給されます。
- 蓄電池システムを設置されている場合は、蓄電池システムと連携している太陽光発電システムの自立運転は使用できません。そのため、自立運転用コンセントも設置できません。

蓄電池システムのみをお使いの場合

自立運転では、蓄電池に蓄えた電力を専用コンセントに供給します。
自立運転をおこなうときは、以下の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

自立運転のご注意

●**自立運転は、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。停電が回復したときは、運転モードを連系運転に切り替えてください（☞ 92 ページ）。**
ただし、一体型パワーコンディショナをお使いの場合で、自立運転の自動切り替えを設定しているときは、切り替え操作不要です（☞ 58 ページ）。

●**専用コンセントを使用してください。**
自立運転では、専用コンセントのみに電力が供給されます。停電時にその他のコンセントは使用できません。

●**パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。**
自立運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転中より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。

●**合計 1500W までの電気機器が使用できます。**
専用コンセントで使用できる電力は最大で 1500W までです。消費電力が 1500W までの電気機器をご使用ください。
モータで作動する機器（掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）や運転開始時に大きな電流が流れる機器、アースを必要とする電気機器は使用できない場合があります。

●**使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。**
蓄電池より電力が供給されますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給を停止します。
デスクトップパソコン等の情報機器および周辺機器、電子レンジ等の調理器具などは、途中で電源が切れると、データの損傷や食品損傷および故障の原因となる可能性があります。

●**自立運転時の発電量と専用コンセントからの消費量は積算されません。**
自立運転時に専用コンセントで消費した電力量は履歴表示には反映されません。

⚠ 警告

専用コンセントに以下の製品をつながないでください。

●人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
●灯油やガスを用いた暖房機器
自立運転時には、蓄電池より電力を供給しますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給を停止します。
途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受ける恐れがある機器はご使用にならないでください。
また、自動で給電された場合に不安定になる可能性がある機器を接続しないでください（自立運転の自動切り替えを設定している場合）。

メモ

●専用コンセントの設置場所はお買い上げの販売店・工事店にご確認ください。
●専用コンセントには平常時は電力会社からの電力が供給されます。停電時には自立運転により電力が供給されます。

太陽光発電システムのみをお使いの場合

自立運転では、太陽光発電で発電した電気を自立運転用のコンセントに供給します。余った電気を電力会社に売ることはできません。自立運転では、発電した電力が自立運転用のコンセントに接続されている機器の消費電力より大きな場合のみ運転することができます。
自立運転をおこなうときは、以下の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

自立運転のご注意

- **自立運転は、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。停電が回復したときは、運転モードを連系運転に切り替えてください（☞ 92 ページ）。**
- **太陽電池モジュールが発電していないときは使用できません。**
  夜間など発電できないときは、自立運転できません。
- **自立運転用コンセントまたは専用コンセントを使用してください。**
  自立運転では、自立運転用コンセントまたは専用コンセントのみに発電電力が供給されます。停電時にその他のコンセントは使用できません。
- **パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。**
  自立運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転中より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- **発電電力より消費電力が小さな機器を使用してください。**
  太陽光発電で発電した電力よりも自立運転用コンセントまたは専用コンセントに接続した機器の消費電力が大きな場合、自立運転できません。
  自立運転用コンセントまたは専用コンセントで使用できる電力は最大で 1500W までです。消費電力が 1500W までの電気機器をご使用ください。
  モータで作動する機器（掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）や運転開始時に大きな電流が流れる機器、アースを必要とする電気機器は使用できない場合があります。
- **使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。**
  太陽光発電で発電した電力のみを使用するため天候の変化などで発電電力が不安定になることがあります。発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。
  デスクトップパソコン等の情報機器および周辺機器、電子レンジ等の調理器具などは、途中で電源が切れると、データの損傷や食品損傷および故障の原因となる可能性があります。
- **自立運転が自動停止した翌日は、手動で自立運転を開始してください（☞ 92 ページ）。**
  自立運転していると、日の入りとともに自動的に運転を停止しますが、翌朝に日の出を迎えても自動的に運転を開始しません。自立運転を行う場合は、手動で自立運転を開始してください。
- **自立運転時の発電量と自立運転用コンセントまたは専用コンセントからの消費量は積算されません。**
  自立運転時に太陽光発電した電力量と自立運転用コンセントまたは専用コンセントで消費した電力量は履歴表示には反映されません。

⚠ 警告

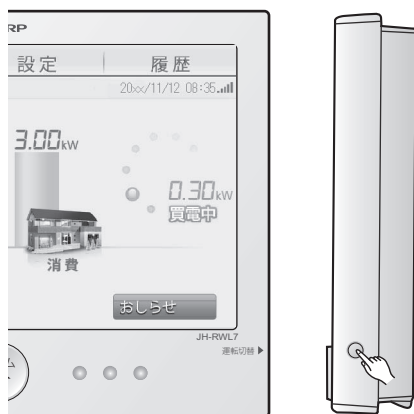
自立運転用コンセントまたは専用コンセントに以下の製品をつながないでください。

●人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
●灯油やガスを用いた暖房機器
自立運転時の発電電力は天候により変動します。発電電力が自立運転用コンセントまたは専用コンセントにつないだ電気機器の消費電力より小さい時は、運転を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受ける恐れがある機器はご使用にならないでください。

メモ

- 自立運転用コンセントまたは専用コンセントの設置場所はお買い上げの販売店･工事店にご確認ください。
- 自立運転用コンセントまたは専用コンセントを設置するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 自立運転用コンセントは平常時は電力が供給されません。専用コンセントには平常時は電力会社からの電力が供給されます。停電時に自立運転した場合には、自立運転用コンセントまたは専用コンセントに電力が供給されます。

運転モードを切り替える

以下の操作で運転モードを自立運転に切り替えたり、連系運転に戻すことができます。

1 **右側面の 運転切替ボタンを押す**

※運転切替ボタンがロックされている場合は、ロックを解除してから操作してください（☞ 15 ページ）。

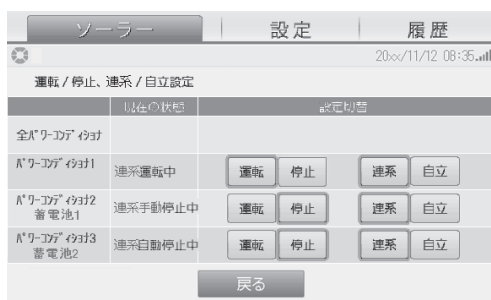
※運転モードの自動切り替えをおこなっている間は、設定画面を表示できません（☞ 58 ページ）。切り替えが終了するまでしばらくお待ちください。

ソーラー　設定　履歴

20xx/11/12 08:35

運転 / 停止、連系 / 自立設定

	現在の状態	設定切替			
全パワーコンディショナ					
パワーコンディショナ1	連系運転中	運転	停止	連系	自立
パワーコンディショナ2 蓄電池1	連系手動停止中	運転	停止	連系	自立
パワーコンディショナ3 蓄電池2	連系自動停止中	運転	停止	連系	自立

戻る

2 **自立運転にするときは、［自立］をタップする**

自立運転に切り替わります。

連系運転にするときは、［連系］をタップする

連系運転に戻ります。

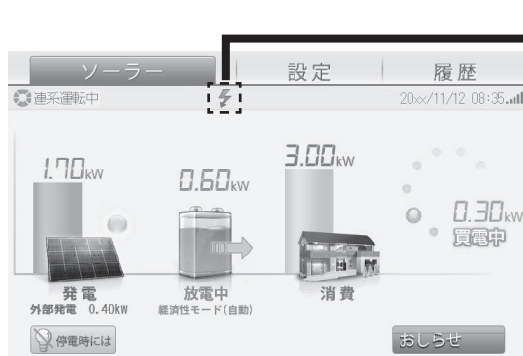
3 **［運転］をタップする**

それぞれの運転モードを開始します。

停止や開始には、ボタンをタップしてから数秒〜数十秒かかります。

- 停電から復帰したら、必ず連系運転に戻してください。ただし、自立運転の自動切り替えを設定している場合は、切り替え操作不要です（☞ 58 ページ）。
- 太陽電池パワーコンディショナをお使いのとき、自立に切り替わるまで２分程度かかる場合があります。
- お使いのシステムの接続機器によっては太陽電池パワーコンディショナの［自立］が非表示になる場合があります。
- 蓄電池を２台設置している場合、蓄電池を接続したパワーコンディショナの一方を自立運転に切り替えると、他の１台も自立運転に切り替わります。連系運転の切り替えも同様です。
- 蓄電池パワーコンディショナを自立運転に切り替えると、蓄電池システムと連携している太陽電池パワーコンディショナが連系運転中の場合は連系手動停止になります。
- 蓄電池システムと連携している太陽電池パワーコンディショナを連系運転に戻す場合、蓄電池パワーコンディショナを先に連系運転に戻す必要があります。

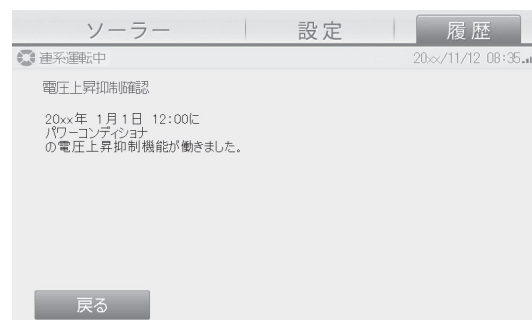
電圧アイコン が表示されたら

家庭内に供給される電圧が高くなりすぎると、家庭内の電気機器に悪影響を与えることがあります。マルチエネルギーモニタに電圧アイコンが表示されたときは、電圧の上昇を防ぐため、パワーコンディショナの出力を一時的に抑えています。
この表示が出たときは、通常は故障ではありません。電圧が正常に戻ると、表示は消えます。

電圧アイコン：
電圧の上昇を防ぐため、出力を抑えています。電圧は周辺世帯の電力使用量、売電時の出力上昇などによって変動することがあります。

■電圧抑制の履歴を確認するには

電圧上昇抑制機能が動作した日時を確認できます（最新の 1 件のみ）。

履歴のトップ画面から 電圧上昇抑制 をタップすると、動作した日時が表示されます。

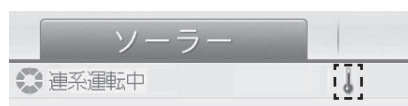
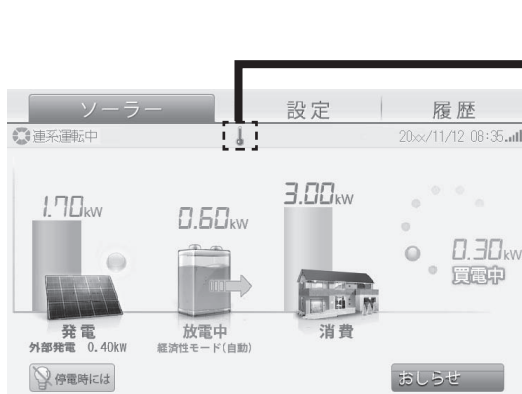
⇒

■電圧上昇とは

朝夕食時など、多くの家庭が一斉に水道の水を使うと水圧が下がり水の流れが弱くなるように、電力会社から供給されている電力も、多くの家庭が一斉に電力を使うと電力会社で規定された範囲内で電圧が低くなったり、逆に電力の使用量が減ると電圧が高くなったりすることがあります。
一方、水が水位の高い所から低い所に流れるように、電力も電圧の高い所から低い所に流れるため、電力会社へ売電する場合、パワーコンディショナの出力電圧は電力会社側の電圧よりも高くなります。
このことから、電力会社側の電圧が高くなったときに売電する場合は、パワーコンディショナの出力電圧もさらに高くなります。
このようなさまざまな要因が重なりパワーコンディショナの出力電圧が高くなりすぎると、ご家庭内の電気機器の破損、寿命低下を引き起こす恐れがあるため、パワーコンディショナは出力電圧を監視し設定電圧値以上高くならないように出力を一時的に抑制する保護機能を備えています。
電圧上昇抑制機能を動作させる設定電圧値は、パワーコンディショナの屋内配線による電圧上昇値などを考慮して、電力会社との協議のうえで決定されます。

メモ

- 電圧アイコンが頻繁に表示されたり、長時間消えないときは、お買いあげの販売店または修理相談センター（☞ 108 ページ）にご相談ください。
- 一体型パワーコンディショナをお使いの場合、電圧アイコンが表示されると、蓄電池の充電がはじまることがあります。これは、売電することができない発電電力を蓄電池に充電することで、電力を有効活用しています。

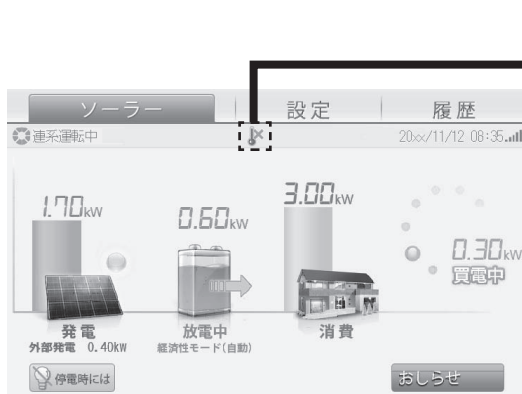
温度アイコン が表示されたら

パワーコンディショナ内部の温度が高くなりすぎると、パワーコンディショナに悪影響を与えることがあります。マルチエネルギーモニタに温度アイコン が表示されたときは、温度の上昇を防ぐため、パワーコンディショナ出力を一時的に抑えています。
この表示が出たときは、通常は故障ではありません。温度が正常に戻ると、表示は消えます。

温度アイコン：
パワーコンディショナ内部の温度上昇を防ぐため、出力を抑えています。

メモ

● 温度アイコンが頻繁に表示されたり、長時間消えないときは、修理相談センター（☞ 108 ページ）にご相談ください。

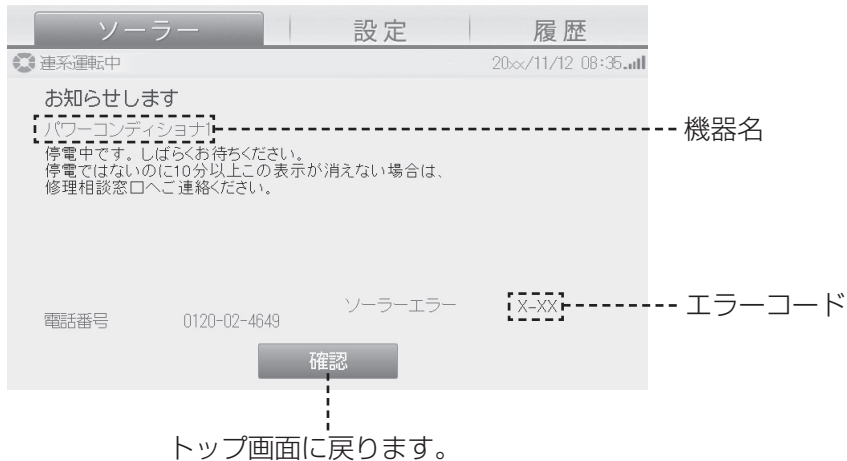
温度範囲外アイコン が表示されたら

蓄電池内部の温度が動作温度範囲を外れた状態で充放電をおこなうと、蓄電池に悪影響を与えることがあります。マルチエネルギーモニタに温度範囲外アイコン が表示されたときは、温度が動作温度範囲に入るまで、一時的に、充電または放電を停止しています。この表示が出たときは、通常は故障ではありません。温度が正常に戻ると、表示は消えます。自立運転時には、温度範囲外アイコン は表示されず、エラー表示されます。

温度範囲外アイコン：
蓄電池の温度が動作範囲外になると、パワーコンディショナの充電または放電を停止します。充電時と放電時では動作温度範囲が異なるため、 が表示されても、放電をおこなう場合があります。

メモ

● 温度範囲外アイコンが頻繁に表示したり、長時間消えないときは、修理相談センター（☞ 108 ページ）にご相談ください。

「お知らせします」と表示されたら

マルチエネルギーモニタに「お知らせします」と表示され、以下のような画面が表示されたときやタブに⚠が表示されているときは、何らかのエラーが発生しています。画面に表示される対処法に従って、ご対応ください。
修理相談センター（☞108 ページ）にエラーをご連絡いただくときは、エラーメッセージの末尾に表示されるエラーコード（アルファベットと 2 桁の数字）（☞101 〜 106 ページ）と「お知らせします」の下に表示される機器名を合わせておしらせください。

蓄電池を接続したパワーコンディショナのエラーの場合にも、「ソーラーエラー」と表示されます。

もくじ
はじめに
各部の名前とはたらき
システムを使う
発電実績
設定する
Webモニタリングサービス
このようなときは
索引

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

	こんなときに	確認してください	ページ
マルチエネルギーモニタ	トップ画面上部に電圧アイコンが表示される	パワーコンディショナの保護機能により出力電圧が設定電圧以上高くならないように一時的に出力を抑制している状態です。通常は故障ではなく、電圧が正常に戻ると表示は消えます。なお、パワーコンディショナの電圧上昇抑制機能を動作させる設定電圧は電力会社との協議によって決められています。	93
	トップ画面上部に温度アイコンが表示される	パワーコンディショナの保護機能により温度が高くならないように一時的に出力を抑制している状態です。通常は故障ではなく、温度が正常に戻ると表示は消えます。	94
	トップ画面上部に温度範囲外アイコンが表示される	蓄電池の保護機能により、蓄電池の温度が動作温度範囲外になると、パワーコンディショナの充電または放電を停止します。通常は故障ではなく、温度が動作温度範囲内になると、表示は消えます。	94
	トップ画面左上に運転状態表示がない	パワーコンディショナを複数台設置しているときは、トップ画面左上に運転状態は表示されません。各パワーコンディショナの運転状態はマルチエネルギーモニタの運転状態表示ランプで表示します。	20、24
	トップ画面の消費電力が大きい	消費電力は、総発電電力（発電電力＋外部発電電力）と売買電力および充放電電力から計算しています。 画面中央部の発電電力、消費電力、売買電力、充放電電力だけでなく、外部発電電力も計算式に含まれますのでご注意ください。 なお本機は発電電力に外部発電電力を含んだ総発電電力表示が可能です。その総発電電力と売買電力をもとに計算される消費電力も正しく表示されます。 ただし、発電電力量をもとに計算される以下の項目に関しては外部発電量は含まれません。 （積算発電量、CO_2 削減量換算、成木換算、石油換算、自家消費量、自家消費量料金換算、ピーク発電）	−
	ピーク発電の履歴でパワーコンディショナの定格出力以上の値が表示される	気象や日照条件、設置条件によって、瞬間的に発電量がパワーコンディショナの定格出力以上となります。 このとき、パワーコンディショナで定格出力以上であることを感知して、通常の出力範囲へ抑制しますが、瞬間的な発電量をピーク発電として記録することがあります。通常は故障ではありません。	−
	トップ画面で消費量が瞬間的に大きく変動する	気象や日照条件、設置条件によって、瞬間的に発電電力が変動することがあります。通常はその変化に合わせて、売買電力、消費電力が変化します。マルチエネルギーモニタとの通信のタイミングによっては発電電力は変化し、売買電力は変化しない場合があります。消費電力は発電電力と売買電力から計算しているため、瞬間的に消費電力が大きく変動したように表示されることがあります。通常は故障ではありません。	−
	運用開始日がすでに設定されている	運用開始日は、設置工事時に時刻設定された日を記憶しています。運用開始日は変更できます。	44
	「お知らせします」と表示される	何らかのエラーが発生しています。画面の指示に従ってください。また本書にエラーメッセージ、エラーコードの一覧表が記載されています。	95、101 ～ 106

	こんなときに	確認してください	ページ
マルチエネルギーモニタ	マルチエネルギーモニタの画面に輝点や黒点が出る	マルチエネルギーモニタのディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合はあります。また、見る角度によっては、色ムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	9
	マルチエネルギーモニタが再起動する	マルチエネルギーモニタの安定動作をはかるために、定期的に再起動をおこないます。お客様のデータは保持されています。	－
	ディスプレイ内のボタンを押してもなかなか反応しない	保護フィルムが貼ってある場合は、はがしてください。タッチパネルが汚れている場合は、お手入れをしてください。それでも反応しない場合は､「タッチパネル設定」をおこなってください。タッチパネルの位置補正をします。	86 50
	無線 LAN 機能が利用できない	無線 LAN の設定が正しいか確認してください。	63 ～ 67
		ルーターと他のネットワーク機器が正しく接続されているか確認してください。	－
		無線LANの電波の強さが十分か確認してください。	21
		電子レンジや冷蔵庫などからの電磁波がルーターの電波に影響しないようにはなして設置してください。	－
		ルーターが IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n、で動作しているか確認してください。ルーターの動作を確認する方法については、ルーターに付属の取扱説明書を確認するか、メーカーにお問い合わせください。	－
		ひかり回線など IPv6 を利用されている場合、まれに無線 LAN が接続できなくなることがあります。これは映像や音声の大量のデータを利用するアプリケーションと同時に利用したときに、通信機器が処理しきれないためです。詳しくはお使いのルーターのメーカー､またはご利用のネットワークプロバイダにお問い合わせください。	－
	無線接続を自動で設定したい	AOSS または WPS で無線接続をおこなってください。	63 ～ 64
	無線接続を手動で設定したい	AOSS または WPS に対応していないルーターに接続する場合は手動で設定してください。	65 ～ 67
	トップ画面の消費電力と履歴の消費量の値が異なる	トップ画面の消費電力と履歴の消費量では計算式が異なるため、蓄電池システムを設置されている場合、トップ画面に表示される消費電力と履歴の消費量の値が異なることがあります。履歴の消費量は総発電量（発電量＋外部発電量）と売電量と買電量から計算しています。 ・消費量＝（発電量＋外部発電量）＋買電量－売電量	20 ～ 21 30 ～ 32
	マルチエネルギーモニタの消費電力と宅内モニタの消費電力の値が違う	蓄電池システムを設置されている場合、マルチエネルギーモニタのトップ画面の消費電力と宅内モニタの消費電力の値が異なることがあります。 宅内モニタ及び Web モニタリングサービスでは、蓄電池システムの情報は表示されません。 宅内モニタの消費電力は、総発電電力（発電電力＋外部発電電力）と売買電力から計算しています。 ・売電時消費電力＝（発電電力＋外部発電電力）－売電電力 ・買電時消費電力＝（発電電力＋外部発電電力）＋買電電力	77

	こんなときに	確認してください	ページ
マルチエネルギーモニタ	自立運転にすると、トップ画面の発電電力が 0kW になる	蓄電池パワーコンディショナをお使いの場合、自立運転では、トップ画面の発電電力表示は 0kW になります。専用コンセントにつないだ機器を動作させると、消費電力＝放電電力としてトップ画面に表示されます。 また、自立運転用コンセントにつないだ機器を動作させたときは、消費電力＝発電電力としてトップ画面に表示されます。	89 ～ 91
	自立運転中、太陽電池モジュールで発電した電力が蓄電池に充電されていても充電中と表示されない	蓄電池パワーコンディショナをお使いの場合、自立運転にすると、消費電力＝放電電力としてトップ画面に表示されるため、太陽電池モジュールで発電した電力が蓄電池に充電されている状態でも、トップ画面では放電中と表示されます。そのため、自立運転中は、放電中と表示されていても蓄電池残量が増えることがあります。	−
	履歴が表示されない	履歴データは、1 日 1 回データ集計をおこないマルチエネルギーモニタに記録されます。そのため、その時に停電等でマルチエネルギーモニタに電力が供給されていないと、データが記録されず、履歴が表示されません。	−
		電力モニタに保存されている各電力量データや電気料金換算データなどは電力モニタの故障、パワーコンディショナの故障や長時間の停電があると正しく保存されないことがあります。 この様な時には上記データの復旧はできないことがあります。	
Web モニタリングサービス	宅内モニタが表示されない	URL（アドレス）をご確認ください。IP アドレスが間違っている場合、宅内モニタは表示されません。	80 ～ 82
		ご家庭内のネットワークを利用するため、外出先のパソコンで見ることはできません。	77
		Web ブラウザの機能で、コンテンツがブロックされ表示できない場合があります。情報バーを選択し、コンテンツを許可してください。	−
	宅内モニタの「現在の状況」が自動更新されない	パソコンでご覧の場合は 10 秒間隔、テレビでご覧の場合は 60 秒間隔で更新されますが、通信接続エラー画面が表示される場合があります。その場合は、Web ブラウザの更新機能を使って、手動で更新してください。	76 ～ 78
	携帯電話で Web モニタリングサービスのサイトが開けない	フルブラウザを使用してください。 フルブラウザについては、各携帯電話会社に確認してください。	79
その他	自立運転時にエラーが表示され、運転が停止した	自立運転用コンセントまたは専用コンセントにつないでいる機器の消費電力が大きすぎる可能性があります。自立運転用コンセントまたは専用コンセントにつながれている機器を減らすことで正常に戻ります。	−
	専用コンセントが使えない	専用コンセントにつないでいる機器の消費電力が大きすぎる可能性があります。専用コンセントで使用できる電力は最大 1500W までです。専用コンセントに接続している機器を減らしてください。 連系運転時は、専用コンセントにつながる回路ブレーカーが下りていないか確認してください。回路ブレーカーが下りていたら、接続している機器を減らした後に、回路ブレーカーをあげてください。	−

	こんなときに	確認してください	ページ
その他	パワーコンディショナの運転音が発生しない	気象や日照条件によって、パワーコンディショナの温度が上昇することで空冷ファンが動作します。温度上昇が少ない、または夜間でパワーコンディショナが停止している、などで空冷ファンが動作していない場合は、パワーコンディショナから運転音が発生しません。 通常は故障ではありません。	−
	ラジオ・テレビなどの電波の受信状態が悪い	ラジオ・テレビなど電波を利用する機器はパワーコンディショナ、蓄電池、マルチエネルギーモニタが近すぎることで受信障害を引き起こすことがあります。パワーコンディショナ、蓄電池、マルチエネルギーモニタから 3m 以上離してください。	6
	薄膜モジュールで設置直後に比べて発電量が減少した	薄膜太陽電池モジュールは、出荷直後の出力が公称値（カタログ値）に比べて 20%程度大きいという特徴があります。設置直後から約 1 ヶ月ほどで公称値へ収束いたしますので、あらかじめご了承ください。	12 追補版 （仕様）
	家電製品を使用しても蓄電池の放電電力が増えない／蓄電池から放電されない	家電製品のご使用状況によっては蓄電池から家電製品への供給電力が減少し、買電量が増加する場合があります。 一体型パワーコンディショナを含む、複数台のパワーコンディショナを接続している場合に、単相３線の各線（U相／W相）に接続されている家電製品の消費電力に差があるときは、蓄電池から放電されないことがあります。 蓄電池パワーコンディショナをお使いの場合は、単相３線の各線（U 相／ W 相）に接続されている家電製品の消費電力に差がある場合、消費電力が小さい側の相の合計消費電力が小さいほど買電量が増加します。 各線（U 相／ W 相）の配線状態は、家屋の設計･施工業者（住宅メーカーなど）にご確認ください。	−
	蓄電池残量が残っている状態でも蓄電池から放電されない	蓄電池モジュール内のセル電圧のアンバランスを検知すると、蓄電池残量が 0%以上でも放電されずに待機状態となることがあります。 蓄電池残量が 100%になるまで充電することで、蓄電池モジュール内のセル電圧のバランスを取ることができます。	−
	自立運転時に蓄電池残量が 0%になる前に放電が停止する	災害による長時間停電等により、蓄電池に数日間充電されない状態が続いた後でも、正常に蓄電池システムが起動できるように、自立運転時は蓄電池残量が 0%になる前に放電を停止する仕様になっています。	−
	充電設定していない時間帯にも関わらず、充電が開始される	蓄電池残量が少ない状態が続くと、蓄電池保護のため、自動的に充電がおこなわれる仕様になっています。	−
	消費量や発電量は変わらないのに、蓄電池の持続時間が短くなってきた気がする	蓄電池の容量が減っていないか確認してください。	57

エラーメッセージ一覧

表示されるエラーメッセージの種類は以下のとおりです。
文中の「X-XX」はエラーコード（☞ 101 ～ 106 ページ）です。実際には「d-19」や「E-21」のように、アルファベットと２桁の数字が入ります。

エラーメッセージ	対処
停電中です。しばらくお待ちください。停電ではないのに 10 分以上この表示が消えない場合は修理相談窓口へご連絡ください。 電話番号 0120-02-4649 X-XX	停電が回復してから約 5 分で自動的に運転を再開します。そのままの状態でお待ちください。 停電ではないのに約 10 分以上表示が変わらない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
10 秒間お待ちください。 自動復帰します。 X-XX	約 10 秒間そのままの状態でお待ちください。自動的に運転を再開します。
日射不足です。 しばらくお待ちください。	曇りや雨など、天候によって太陽光が不足しています。天候が回復し、太陽光が十分に戻るまでお待ちください。
外気温の低下に伴い太陽電池の出力電圧が高くなっています。 しばらくお待ちください。 気温上昇後も復帰しない場合は修理相談窓口へご連絡ください。 電話番号 0120-02-4649 X-XX	外気温が上昇するまで、しばらくお待ちください。 外気温が上昇してしばらくしてもこの表示が消えないときや、たびたび表示される場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
修理相談窓口へご連絡ください。 電話番号 0120-02-4649 X-XX	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
パワーコンディショナの温度が高くなっています。パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないかご確認ください。表示が消えない場合は修理相談窓口へご連絡ください。 電話番号 0120-02-4649 X-XX	パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認してください。 対処しても表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご相談ください。
自立運転専用コンセントまたは、専用コンセントに接続された機器の消費電力が大きすぎます。 接続されている機器を減らしてください。 X-XX	自立運転で使用できる電力よりも、機器の消費電力が大きくなっています。 自立運転用コンセントまたは、専用コンセントに接続されている機器を減らして、消費電力を下げてください。 ただし、自立運転で使用できる電力が少ない場合（発電電力が低下、または蓄電池残量が少ない場合）は、機器を減らしてもエラーが消えない場合があります。
日中に下記手順でパワーコンディショナの再起動をしてください。 1. 運転切替ボタンを押し、画面を表示する。 2. 解除ボタンを押す。（パワーコンディショナを複数台ご使用のかたは、運転状態が「点検」となっているパワーコンディショナの解除ボタンを押してください。） それでも表示が消えない場合はエラーコードを控えて修理相談窓口へご連絡ください。 電話番号 0120-02-4649 X-XX	パワーコンディショナを再起動してください。但し、太陽電池パワーコンディショナの再起動は太陽光発電中（日中）のみ可能です。(☞ 88 ページ) 再起動しても表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
センサーと通信できません。 停電でなければ修理相談窓口へご連絡ください。 電話番号 0120-02-4649 X-XX	停電であれば、回復するまでお待ちください。 停電でなければ、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
蓄電池の内部温度が充電動作温度範囲外のため一時的に、蓄電池の充電を停止しています。 X-XX	蓄電池の内部温度が充電動作温度範囲内に入るまで一時的に、蓄電池の充電を停止しています。 しばらくお待ちください。自動的に運転を再開します。
蓄電池の内部温度が動作温度範囲外のため一時的に、蓄電池の充電または放電を停止しています。 蓄電池からの放電電力は専用コンセントに供給されません。 X-XX	蓄電池の内部温度が動作温度範囲内に入るまで一時的に、蓄電池の充電または放電を停止しています。しばらくお待ちください。自動的に運転を再開します。

エラーコード一覧

エラーメッセージの最後に表示されるアルファベットと 2 桁の数字はエラーコードです。
修理相談センターにご連絡いただくときは、エラーコードと「お知らせします」の下に表示される機器名もご連絡ください。

「d-XX」という表示の場合

太陽電池に関するパワーコンディショナの異常を検出し、安全のため運転を停止しています。

エラーコード	意味	対処
d-01	パワーコンディショナ内部にある DC/DC コンバーターが一定期間動作しなかった可能性があります。	積雪などにより、30 日間発電しない状況が続くと、d-01 ～ d-05 のエラーコードが表示されます。パワーコンディショナを再起動してください。それ以外の状況で、d-01 ～ d-05 のエラーコードが表示される場合は、パワーコンディショナを再起動し、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
d-02		
d-03		
d-04		
d-05		
d-11	パワーコンディショナの出力回路に異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。	パワーコンディショナを再起動してください。(☞ 88 ページ) それでも表示が消えない場合または再発する場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
d-19	パワーコンディショナの出力回路部分に異常が発生し、回路を保護するため出力ヒューズが切れた可能性があります（連系運転時に検知）。	
d-20	パワーコンディショナ内部の温度が上昇し、回路を保護するため温度ヒューズが切れた可能性があります（連系運転時に検知）。	
d-21	パワーコンディショナの出力側に過電流が流れた可能性があります（連系運転時に検知）。	
d-22	パワーコンディショナの出力電流波形に異常を検出しました（連系運転時に検知）。 商用電源の電圧が一時的に不安定になった可能性があります。	
d-23	パワーコンディショナ内部にある出力回路部品の温度が上昇しています（連系運転時に検知）。	
d-24	パワーコンディショナの内部回路に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。	
d-25	パワーコンディショナ内部にあるスイッチング素子に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。	
d-26	パワーコンディショナ内部にある入力回路部品の温度が上昇しています（連系運転時に検知）。	
d-27	パワーコンディショナの出力回路に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。	
d-29	パワーコンディショナ内部にある冷却ファンに異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。	
d-30	パワーコンディショナ内部の温度が上昇し、回路を保護するため温度ヒューズが切れた可能性があります（自立運転時に検知）。	
d-33	パワーコンディショナ内部にある出力回路部品の温度が上昇しています（自立運転時に検知）。	
d-34	パワーコンディショナの内部回路に異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。	
d-35	パワーコンディショナ内部にあるスイッチング素子に異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。	
d-36	パワーコンディショナ内部にある入力回路部品の温度が上昇しています（自立運転時に検知）。	
d-39	パワーコンディショナ内部にある冷却ファンに異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。	
d-40	パワーコンディショナの内部メモリに異常が発見されました。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
d-45	太陽電池の絶縁抵抗が劣化している可能性があります。	太陽電池モジュール、パワーコンディショナ、ケーブルには触らないでください。エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
d-46		
d-47		

「E-XX」という表示の場合

太陽電池に関するパワーコンディショナの運転が一時的に不安定になりました。安全のため、運転を一時的に停止しています。

<table>
<tr><th>エラーコード</th><th>意味</th><th>対処</th></tr>
<tr><td>E-11</td><td>パワーコンディショナの出力回路に異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。</td><td rowspan="4">しばらく（約 10 秒間）そのままの状態でお待ちください。
自動的に運転を再開します。</td></tr>
<tr><td>E-19</td><td>パワーコンディショナの出力回路部分に異常が発生し、回路を保護するため出力ヒューズが切れた可能性があります（連系運転時に検知）。</td></tr>
<tr><td>E-21</td><td>パワーコンディショナの出力側に過電流が流れた可能性があります（連系運転時に検知）。</td></tr>
<tr><td>E-22</td><td>パワーコンディショナの出力電流波形に異常を検出しました（連系運転時に検知）。
商用電源の電圧が一時的に不安定になった可能性があります。</td></tr>
<tr><td>E-23</td><td>パワーコンディショナ内部にある出力回路部品の温度が上昇しています（連系運転時に検知）。</td><td>パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認し、温度が低下するまでお待ちください。
それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)へご連絡ください。</td></tr>
<tr><td>E-24</td><td>パワーコンディショナの内部回路に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。</td><td rowspan="2">しばらく（約 10 秒間）そのままの状態でお待ちください。
自動的に運転を再開します。</td></tr>
<tr><td>E-25</td><td>パワーコンディショナ内部にあるスイッチング素子に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。</td></tr>
<tr><td>E-26</td><td>パワーコンディショナ内部にある入力回路部品の温度が上昇しています（連系運転時に検知）。</td><td>パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認し、温度が低下するまでお待ちください。
それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)へご連絡ください。</td></tr>
<tr><td>E-27</td><td>パワーコンディショナの出力回路に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。</td><td rowspan="4">しばらく（約 10 秒間）そのままの状態でお待ちください。
自動的に運転を再開します。</td></tr>
<tr><td>E-28</td><td>パワーコンディショナの内部電圧に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。</td></tr>
<tr><td>E-29</td><td>パワーコンディショナ内部にある冷却ファンに異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。</td></tr>
<tr><td>E-31</td><td>自立運転用コンセントまたは専用コンセントに接続された機器が瞬間的に大きな電流を消費しました（自立運転時に検知）。</td></tr>
<tr><td>E-32</td><td>自立運転で使用できる電力よりも、自立運転用コンセントまたは専用コンセントに接続された機器の方が消費電力が大きくなっています。</td><td>自立運転用コンセントまたは専用コンセントに接続された機器を減らしてください。
ただし、自立運転で使用できる電力が少ない場合（発電電力が低下、または蓄電池残量が少ない場合など）は、機器を減らしてもエラーが消えない場合があります。</td></tr>
<tr><td>E-33</td><td>パワーコンディショナ内部にある出力回路部品の温度が上昇しています（自立運転時に検知）。</td><td>パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認し、温度が低下するまでお待ちください。
それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)へご連絡ください。</td></tr>
<tr><td>E-34</td><td>パワーコンディショナの内部回路に異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。</td><td rowspan="2">しばらく（約 10 秒間）そのままの状態でお待ちください。
自動的に運転を再開します。</td></tr>
<tr><td>E-35</td><td>パワーコンディショナ内部にあるスイッチング素子に異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。</td></tr>
<tr><td>E-36</td><td>パワーコンディショナ内部にある入力回路部品の温度が上昇しています（自立運転時に検知）。</td><td>パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認し、温度が低下するまでお待ちください。
それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター（☞ 108 ページ）へご連絡ください。</td></tr>
<tr><td>E-37</td><td>自立運転用コンセントまたは専用コンセントに接続された機器の消費電力が大きすぎます。接続機器を減らしてください（自立運転時に検知）。</td><td>自立運転用コンセントまたは専用コンセントに接続された機器を減らしてください。</td></tr>
</table>

エラーコード	意味	対処
E-38	パワーコンディショナの内部電圧に異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。	しばらく（約 10 秒間）そのままの状態でお待ちください。 自動的に運転を再開します。
E-39	パワーコンディショナ内部にある冷却ファンに異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。	

「F-XX」という表示の場合

停電など商用電源の異常のため、パワーコンディショナの運転を停止しました。
停電時には、太陽光発電システム、蓄電池システムともに商用電源との連系運転をすることができません。そのため、パワーコンディショナが自動停止し、電源復帰を待っています。
自立運転を開始すると、自立運転用コンセントまたは専用コンセントで使用することができます。自立運転を開始する場合は、☞ 88 ～ 91 ページをご覧ください。
停電ではないのに 10 分以上この表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター（☞ 108 ページ）へご連絡ください。

エラーコード	意味	対処
F-00	商用電源の電圧が上昇しています。	商用電源の異常が回復してから約５分で自動的に運転を再開します。そのままの状態でお待ちください。 停電ではないのに約 10 分以上表示が変わらない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。 日中に停電があると、エラーコードが履歴にのこる場合があります。
F-01	商用電源の電圧が低下しています。	
F-02	商用電源の周波数が上昇しています。	
F-03	商用電源の周波数が低下しています。	
F-04	商用電源の電圧が高くなっています。	
F-05	商用電源の停電を検出しました（電源電圧の位相変動を検出）。	
F-06	商用電源の停電を検出しました（周波数シフト方式による出力周波数低下を検出）。	
F-07	商用電源の停電を検出しました（周波数シフト方式による出力周波数上昇を検出）。	
F-08	商用電源が停電、もしくは商用電源の周波数が大幅に低くなっています。	
F-09	商用電源が停電、もしくは商用電源の周波数が大幅に高くなっています。	

「J-XX」という表示の場合

蓄電池の異常を検出し、安全のため運転を停止しました。

エラーコード	意味	対処
J-00	蓄電池コントローラが充放電禁止状態です。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
J-05	蓄電池コントローラが蓄電池モジュールを検出できません。	
J-10	蓄電池コントローラに過電流が流れた可能性があります。	
J-15	蓄電池コントローラが過放電になった可能性があります。	
J-25	蓄電池コントローラと蓄電池パワーコンディショナ間の通信に異常がおきた可能性があります。	
J-30	蓄電池コントローラ端子台の温度ヒューズが切れた可能性があります。	
J-35	蓄電池コントローラのブレーカーが切れた可能性があります。	
J-50	蓄電池コントローラと蓄電池モジュール間の通信に異常がおきた可能性があります。	
J-55	蓄電池モジュールが過電圧になった可能性があります。	
J-60	蓄電池モジュールが過放電になっている可能性があります。	
J-65	蓄電池モジュールに過電流が流れた可能性があります。	
J-70	蓄電池モジュールのセル電圧のアンバランスを検知しました。	
J-75	蓄電池モジュールの温度異常の可能性があります。	
J-80	蓄電池モジュールのアドレス設定が誤っています。	
J-90	蓄電池にその他の異常が発生した可能性があります。	
J-95	蓄電池切替機の温度ヒューズが切れた可能性があります。	
J-96	蓄電池切替機に異常がおきた可能性があります。	

「K-XX」という表示の場合

蓄電池の異常を検出し、安全のため一時的に運転を待機しています。

エラーコード	意味	対処
K-00	蓄電池コントローラが充放電禁止状態です。	しばらく（約 10 秒間）そのままの状態でお待ちください。 自動的に運転を再開します。
K-05	蓄電池コントローラが蓄電池モジュールを検出できません。	
K-10	蓄電池コントローラに過電流が流れた可能性があります。	
K-15	蓄電池コントローラが過放電になっている可能性があります。	
K-25	蓄電池コントローラと蓄電池パワーコンディショナ間の通信に異常がおきた可能性があります。	
K-30	蓄電池コントローラ端子台の温度ヒューズが切れた可能性があります。	
K-35	蓄電池コントローラのブレーカーが切れた可能性があります。	
K-50	蓄電池コントローラと蓄電池モジュール間の通信に異常がおきた可能性があります。	
K-55	蓄電池モジュールが過電圧になっている可能性があります。	
K-60	蓄電池モジュールが過放電になっている可能性があります。	
K-65	蓄電池モジュールに過電流が流れた可能性があります。	
K-70	蓄電池モジュールのセル電圧のアンバランスを検知しました。	
K-75	蓄電池モジュールの温度異常の可能性があります。	
K-80	蓄電池モジュールのアドレス設定が誤っています。	
K-85	蓄電池の内部温度が充電動作温度範囲外のため一時的に、蓄電池の充電を停止しています。	蓄電池の内部温度が充電動作温度範囲内に入るまで一時的に、蓄電池の充電を停止しています。しばらくお待ちください。自動的に運転を再開します。
K-90	蓄電池の内部温度が動作温度範囲外のため一時的に、蓄電池の充電または放電を停止しています。蓄電池からの放電電力は専用コンセントに供給されません。	蓄電池の内部温度が動作温度範囲内に入るまで一時的に、蓄電池の充電または放電を停止しています。しばらくお待ちください。自動的に運転を再開します。

「L-XX」という表示の場合

蓄電池に関するパワーコンディショナの異常を検出し、安全のため運転を停止しました。

エラーコード	意味	対処
L-00	内部回路の出力電圧に異常がおきた可能性があります。	エラーコードを控えて修理相談センター（☞ 108 ページ）にご連絡ください。
L-05	内部回路の入力電圧に異常がおきた可能性があります。（過電圧）	
L-10	内部回路の入力電圧に異常がおきた可能性があります。（過放電）	
L-15	内部回路の充電側に過電流が流れた可能性があります。	
L-20	内部回路の放電側に過電流が流れた可能性があります。	
L-25	蓄電池電力線が未接続です。	
L-27	内部回路に異常がおきた可能性があります。	
L-30	内部回路が充放電停止信号を受信しました。	
L-35	内部回路の温度に異常がおきた可能性があります。	
L-40	内部回路の通信に異常がおきた可能性があります。	
L-45	内部回路の過電流を検出しました。	
L-50	内部回路の地絡を検出しました。	
L-55	内部回路の起動に失敗しました。	
L-60	内部回路の電流センサーに異常がおきた可能性があります。	
L-80	RPR センサーが未接続です。	
L-95	内部電圧に異常がおきた可能性があります。	
L-97	パワーコンディショナによる蓄電池コントローラの自動復帰に失敗しました。	

「P-XX」という表示の場合

太陽電池または蓄電池の異常を検出しました。
異常を検出した太陽電池または蓄電池の運転は停止しますが、運転に影響しない太陽光発電システムまたは蓄電池システムは正常に動作します。

エラーコード	意味	対処
P-11	外気温が低下したため、太陽電池モジュールの出力電圧が高くなっています（連系運転時に検知）。	外気温が上昇するまで、しばらくお待ちください。外気温が上昇してしばらくしてもこの表示が消えないときや、たびたび表示される場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
P-13	外気温が低下したため、太陽電池モジュールの出力電圧が高くなっています（自立運転時に検知）。	
P-16	蓄電池コントローラが充放電禁止状態です。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
P-17	蓄電池コントローラが蓄電池モジュールを検出できません。	
P-18	蓄電池コントローラに過電流が流れた可能性があります。	
P-19	蓄電池コントローラが過放電になっている可能性があります。	
P-20	蓄電池コントローラと蓄電池パワーコンディショナ間の通信に異常がおきた可能性があります。	
P-21	蓄電池コントローラ端子台の温度ヒューズが切れた可能性があります。	
P-22	蓄電池コントローラのブレーカーが切れた可能性があります。	
P-23	蓄電池コントローラと蓄電池モジュール間の通信に異常がおきた可能性があります。	
P-24	蓄電池モジュールが過電圧になっている可能性があります。	
P-25	蓄電池モジュールが過放電になっている可能性があります。	
P-26	蓄電池モジュールに過電流が流れた可能性があります。	
P-27	蓄電池モジュールのセル電圧のアンバランスを検知しました。	
P-28	蓄電池モジュールの温度異常の可能性があります。	
P-29	蓄電池モジュールのアドレス設定が誤っています。	
P-30	切替リレーに異常がおきた可能性があります。	
P-31	切替リレーに異常がおきた可能性があります。	
P-32	専用コンセントに接続された機器の消費電力が大きすぎます。接続機器を減らしてください。	専用コンセントに接続された機器を減らして、消費電力を下げてください。
P-34	内部回路が充放電停止信号を受信しました。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
P-35	蓄電池の容量が減っている可能性があります。（蓄電池の運転は停止しません）	

「R-XX」という表示の場合

マルチエネルギーモニタの内部処理に異常を検出しました。

エラーコード	意味	対処
R-00	データを保存する際に、異常を検出しました。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
R-01	データを消去する際に、異常を検出しました。	
R-02	時刻データに異常を検出しました。	
R-03	割り込み信号に異常を検出しました。	
R-04	通信データに異常を検出しました。	
R-09	パワーコンディショナ運転切替に失敗しました。	

「S-XX」という表示の場合

売買センサー、外部発電センサー、発電センサーとマルチエネルギーモニタ間の通信に異常があります。

エラーコード	意味	対処
S-00	売買センサーとマルチエネルギーモニタ間の通信ができません。	停電の場合は、回復するまでお待ちください。停電でない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。 日中に停電があると、エラーコードが履歴にのこる場合があります。
S-01	売買センサーからの通信に異常があります。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
S-10	外部発電センサーとマルチエネルギーモニタ間の通信ができません。	停電の場合は、回復するまでお待ちください。停電でない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。 日中に停電があると、エラーコードが履歴にのこる場合があります。
S-11	外部発電センサーからの通信に異常があります。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。
S-20	発電センサーとマルチエネルギーモニタ間の通信ができません。	停電の場合は、回復するまでお待ちください。停電でない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。 日中に停電があると、エラーコードが履歴にのこる場合があります。
S-21	発電センサーからの通信に異常があります。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 108 ページ)にご連絡ください。

「U-XX」という表示の場合

蓄電池に関するパワーコンディショナの異常を検出し、安全のため一時的に運転を待機しています。

エラーコード	意味	対処
U-00	内部回路の出力電圧に異常がおきた可能性があります。	しばらく（約 10 秒間）そのままの状態でお待ちください。 自動的に運転を再開します。
U-05	内部回路の入力電圧に異常がおきた可能性があります。（過電圧）	
U-10	内部回路の入力電圧に異常がおきた可能性があります。（過放電）	
U-15	内部回路の充電側に過電流が流れた可能性があります。	
U-20	内部回路の放電側に過電流が流れた可能性があります。	
U-25	蓄電池が未接続です。	
U-27	内部回路に異常がおきた可能性があります。	
U-30	内部回路が充放電停止信号を受信しました。	
U-35	内部回路の温度に異常がおきた可能性があります。	パワーコンディショナの温度が高くなっています。パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないかご確認ください。対処しても表示が消えない場合は修理相談センター（☞ 108 ページ）へご連絡ください。
U-40	内部回路の通信に異常がおきた可能性があります。	しばらく（約 10 秒間）そのままの状態でお待ちください。 自動的に運転を再開します。
U-45	内部回路の過電流を検出しました。	
U-50	内部回路の地絡を検出しました。	
U-55	内部回路にその他異常がおきた可能性があります。	
U-60	内部回路の電流センサーに異常がおきた可能性があります。	しばらくお待ちください。自動的に運転を再開します。
U-80	RPR センサーが未接続です。	
U-95	内部回路の電圧が低下しています。	しばらく（約 10 秒間）そのままの状態でお待ちください。自動的に運転を再開します。
U-96	内部回路の電圧が上昇しています。	

保証とアフターサービス

製品の保証

●シャープ販売代理店を通じてご購入されたお客様は、同梱されております保証書の「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。シャープ販売代理店以外でご購入されたお客様は、ご購入先販売店の保証取り決めをご確認ください。
●製造番号はアフターサービス上重要なものですから、製品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
●保証期間
お買い上げの日から1年間です。
ただし、太陽電池モジュールの出力は、最大出力の下限値（最大出力の公称値の 90%）の 90%までを10 年間保証いたします。

例：ND-175AC の場合（放射照度 1000W ／ m^2、モジュール温度 25℃で測定）

最大出力の公称値	175.0W
最大出力の下限値	157.5W
最大出力の下限値の 90%	141.7W

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
●保証書の記載内容により、お買い上げの販売店または当社サービス会社が修理いたします。
くわしくは保証書をご覧ください。
●保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の点があれば、お買い上げの販売店、またはもよりのお客様相談センター（☞ 108 ページ）にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品について

当社は、この太陽光発電システムと蓄電池システムの補修用性能部品を、製造打切後、10 年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
なお、移設に要する費用は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときには

マルチエネルギーモニタの表示をご確認のうえ、分電盤内のパワーコンディショナ専用ブレーカーを切って運転を停止したあと、お買い上げの販売店もしくは修理相談センター（☞ 108 ページ）に修理をご依頼ください。お客様ご自身での修理はたいへん危険ですので、絶対におこなわないでください。
●保証期間中
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規程に従って販売店が修理させていただきます。
●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
●修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修理するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

転居や廃棄されるときは

太陽光発電システムを転居などにより別の場所に移されるとき、または廃棄されるときは、有資格者による電気工事が必要になります。また、電力会社との協議が必要になることがありますので、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
なお、移設や廃棄に要する費用は、お買い上げの販売店もしくは修理相談センター（☞ 108 ページ）にご相談ください。
蓄電池システムを転居などにより別の場所に移されるとき、取り外されるとき、リサイクルされるときは、有資格者による電気工事が必要になります。また、電力会社との協議が必要になりますので、必ずお買い上げの販売店、またはお客様相談センター（☞ 108 ページ）にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。 発信者番号を非通知にされている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

メールでのお問い合わせなど【シャープサポートページ】

http://www.sharp.co.jp/support/ ■よくあるご質問などもパソコンから検索できます。

使用方法のご相談など【お客様相談センター】おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間（年末年始を除く） ●月曜～土曜：9:00～18:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
0120 - 48 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル
0570 - 550 - 190

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電 話	FAX
06 - 6792 - 5982	06 - 6792 - 5993
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

修理のご相談など【修理相談センター】 おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間（年末年始を除く） ●月曜～土曜：9:00～20:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
0120 - 02 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル
0570 - 550 - 447

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

	電 話	FAX
東日本地区	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221

部品購入のご相談は、下記地区別窓口でも承っております。

地区別窓口
サービスセンター/テクニカルセンターなど

■受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40（祝日など弊社休日を除く）
ただし、沖縄地区は月曜～金曜：9:00～17:40（祝日など弊社休日を除く）

地区	窓口	電話番号	住所
北海道	札 幌	011-641-4685	〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北	仙 台	022-288-9142	〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27
関東	宇都宮	028-637-1179	〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41
関東	東東京	03-5855-0432	〒114-0012 北区田端新町2-2-12
関東	横 浜	045-753-4647	〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23
中部	静 岡	054-344-5781	〒424-0067 静岡市清水区鳥坂1170-1
中部	名古屋	052-332-2623	〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5
中部	金 沢	076-249-2434	〒921-8801 野々市市御経塚4-103
近畿	京 都	075-672-2378	〒601-8102 京都市南区上鳥羽管田町48
近畿	阪 神	06-6422-0455	〒661-0981 尼崎市猪名寺3−2−10
近畿	大 阪	06-6794-5611	〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
中国	広 島	082-874-8149	〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
四国	高 松	087-823-4901	〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
九州	福 岡	092-572-4652	〒812-0881 福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄	那 覇	098-861-0866	〒900-0002 那覇市曙2-10-1

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2014.07)

索引

英字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

製品登録のお願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、〈SHARP i CLUB〉でご愛用製品の登録をお願いいいたします。（登録無料）

http://iclub.sharp.co.jp/m/

スマートフォンや携帯電話はこちらから

お問い合わせ先

お問合わせの前にもう一度「故障かな?」(93ページ）をご確認ください。

メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】

シャープ　お問い合わせ

http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法のご相談など
【お客様相談センター】

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル **0120-48-4649**

携帯電話からは、ナビダイヤル **0570-550-190**

修理のご相談など
【修理相談センター】

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル **0120-02-4649**

携帯電話からは、ナビダイヤル **0570-550-447**

※非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。詳しくは、取扱説明書108ページをご覧ください。

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
エネルギーシステムソリューション事業本部　〒639-2198 奈良県葛城市薑282番1

この取扱説明書は責任ある木質資源を使用した紙を使用しています。
この取扱説明書は植物性大豆油インクを使用しています。

TINSJ1053SNZZ
14F01.0-K

太陽光発電システム・蓄電池システム

SHARP